

第Ⅱ部

世帯アセスメント集計結果

第1章 世帯アセスメント集計分析の概要

1 世帯アセスメント集計分析の目的

東日本大震災の被災者を支援するために配置されている生活支援相談員活動において、支援対象者の状態像の標準化と見守り区分の統一を目的に、平成29年度に世帯アセスメント表を作成しました。当時の生活支援相談員の支援対象全世帯に世帯アセスメント表を用いて再アセスメントを実施したことから、被災者の状況を統計的に理解するために、集計を行いました。

2 世帯アセスメントの概要

○ 世帯アセスメントの対象

生活支援相談員が支援対象としている全世帯

○ 世帯アセスメント方法

生活支援相談員による記入

(通常の生活支援相談員活動の中で把握できる項目については、既存の情報で判断し、不明な点があれば、訪問や電話等により情報収集の上、記入した。)

○ 世帯アセスメント実施期間

平成30年1月5日～6月30日

○ 世帯アセスメント実施世帯数

NO	市町村名	実施世帯数 (世帯)
1	盛岡市	8
2	宮古市	1,061
3	大船渡市	1,177
4	花巻市	178
5	北上市	199
6	久慈市	76
7	遠野市	81
8	一関市	99
9	陸前高田市	1,865
10	釜石市	2,840

NO	市町村名	実施世帯数 (世帯)
11	奥州市	93
12	滝沢市	84
13	住田町	25
14	大槌町	2,494
15	山田町	1,579
16	岩泉町	175
17	田野畑村	292
18	野田村	453
19	洋野町	32
20	もりおか復興支援センター	542
合計		13,353

3 支援度判断基準と見守り区分

大項目 A～E ごとに、小項目 1～30 の状況から支援度を決定し、得られた結果により、見守り区分を割り振っている。

図表 1 支援度判断基準と見守り区分

判断の目安	支援度	見守り区分
生活支援相談員による関与は必要ない	0	対象外
生活支援相談員による定期的な関与は不要であるが、引き続き経過の観察は必要である	1	不定期
生活支援相談員が定期的に関与し、変化があるかどうか気に掛ける必要がある	2	通常
生活支援相談員が定期的に関与し、他の支援機関と情報共有を行う必要がある	3	
生活支援相談員の観察と他機関のサービス利用・連携により、多機関多職種で関与する必要がある	4	重点

図表 2 世帯員の状況(大項目と小項目)

A 日常生活と心身の健康	
1	福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある
2	日常生活に支障が出るほどのストレスがある
3	清潔感や身だしなみへの配慮がされている
4	家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある
5	アルコール摂取が適切(量・時間・場所)である
6	気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある
7	身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある
8	世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある
9	行政情報の理解や手続ができる
B 生計の維持	
10	就労収入がある
11	就労以外の収入(年金、不動産収入、遺産等)がある
12	生活保護や親族による金銭的支援がある
13	生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない
C 社会的な関わりの維持	
14	近隣住民との関わりがある
15	1～2 週間の間に通い先(勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等)がある
16	買い物や通院等の移動手段がある
17	1～2 週間の間に訪問や交流がある(別世帯の親族、友人・知人)
18	1～2 週間の間に訪問や交流がある(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)
19	生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している
20	困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)がいる
21	困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)がいる
22	行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある
23	行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある
24	生活支援相談員訪問時に面会ができる
D 震災に起因するストレス等	
25	震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある
26	仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である
27	住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある
28	震災で失った住宅や車のローンが残っている
29	再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある
E 上記以外に生活支援相談員による支援が必要な事項 または、関係機関との調整により支援が必要な理由等	
30	自由記述

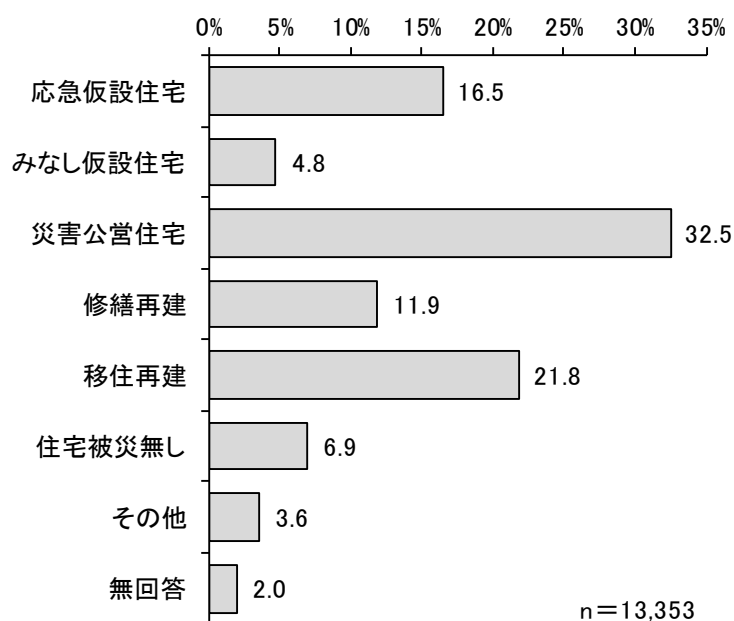
4 報告書の見方

- ・ 百分率（％）は、全て小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、合計が100％にならない場合がある。
- ・ 本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「％」で表している。
- ・ 質問に回答した世帯数（％の母数）は、グラフ内で「n=〇〇〇」と記している。

第2章 世帯アセスメント結果基本属性

(1) 住まい

- ・ 住まいは、「災害公営住宅」32.5%が最も多く、「移住再建」21.8%、「応急仮設住宅」16.5%、「修繕再建」11.9%と続いている。
- ・ 住まい別に世帯員の状況をみると、他の住まいに比べて“みなし仮設住宅（637世帯）”において、公共機関や親族等による関与がない、就労収入がない・就労以外の収入がない・生活保護や親族による金銭的支援がない、1～2週間の間に訪問や交流がない（民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等）、震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある・仮設住宅の集約の予定がある・転居先・再建先が未定であるという割合が高くなっている。（第3章総括表 106～108 ページ）



図表 3 住まい(単数回答)

図表 4 住まい／世帯構成別

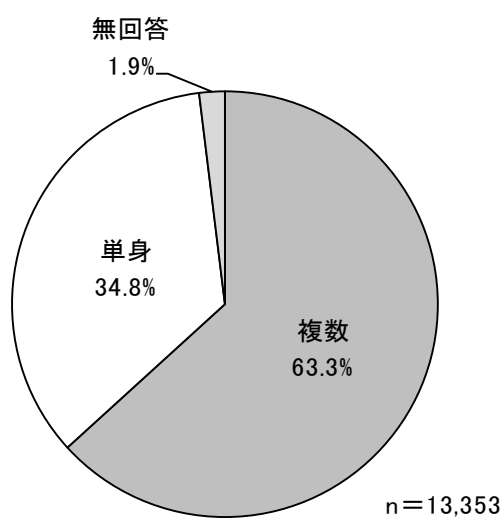
		合計	応急仮設住宅	みなし仮設住宅	災害公営住宅	修繕再建	移住再建	住宅被災無し	その他	無回答
全 体		13,353	16.5	4.8	32.5	11.9	21.8	6.9	3.6	2.0
世帯	単身	4,648	19.2	5.2	45.3	7.8	9.9	7.4	3.5	1.6
	複数	8,446	14.8	4.6	25.6	14.5	28.8	6.6	3.7	1.4
複数の場合	高齢者(65歳以上)のみ	1,805	12.5	2.7	30.6	16.8	25.3	8.5	2.2	1.4
	ひとり親(18歳未満の子がいる)	244	13.9	6.6	60.2	3.3	9.8	0.4	4.9	0.8
	高齢(65歳以上)の親とその単身の子ども	1,458	14.7	3.8	29.7	14.6	24.1	9.0	2.5	1.6
	核家族(上記以外の夫婦や親子のみ)	2,709	21.2	6.4	26.9	11.4	24.9	3.9	3.4	1.8
	どれにもあてはまらない	2,019	8.8	4.0	12.5	17.8	43.0	7.4	5.7	0.9

図表 5 住まい／単身世帯年齢別

		合計	応急仮設住宅	みなし仮設住宅	災害公営住宅	修繕再建	移住再建	住宅被災無し	その他	無回答
全 体		13,353	16.5	4.8	32.5	11.9	21.8	6.9	3.6	2.0
世帯	複数	8,446	14.8	4.6	25.6	14.5	28.8	6.6	3.7	1.4
	単身	4,648	19.2	5.2	45.3	7.8	9.9	7.4	3.5	1.6
単身の場合・年齢	20歳代以下	66	39.4	6.1	37.9	1.5	1.5	0.0	13.6	0.0
	30歳代	180	36.1	12.8	34.4	2.2	6.7	0.0	7.2	0.6
	40歳代	302	31.5	10.3	42.4	1.0	7.3	1.0	5.3	1.3
	50歳代	519	27.0	8.9	43.9	5.0	9.6	2.3	1.7	1.5
	60歳代	933	18.9	4.7	52.0	6.8	9.6	4.2	2.6	1.3
	70歳代	1,049	13.9	5.0	48.1	9.2	11.3	7.4	3.1	1.8
	80歳代	1,013	10.0	2.4	46.2	11.9	10.3	14.0	3.7	1.6
	90歳代以上	149	9.4	4.0	34.2	12.8	7.4	22.8	5.4	4.0

(2) 世帯構成

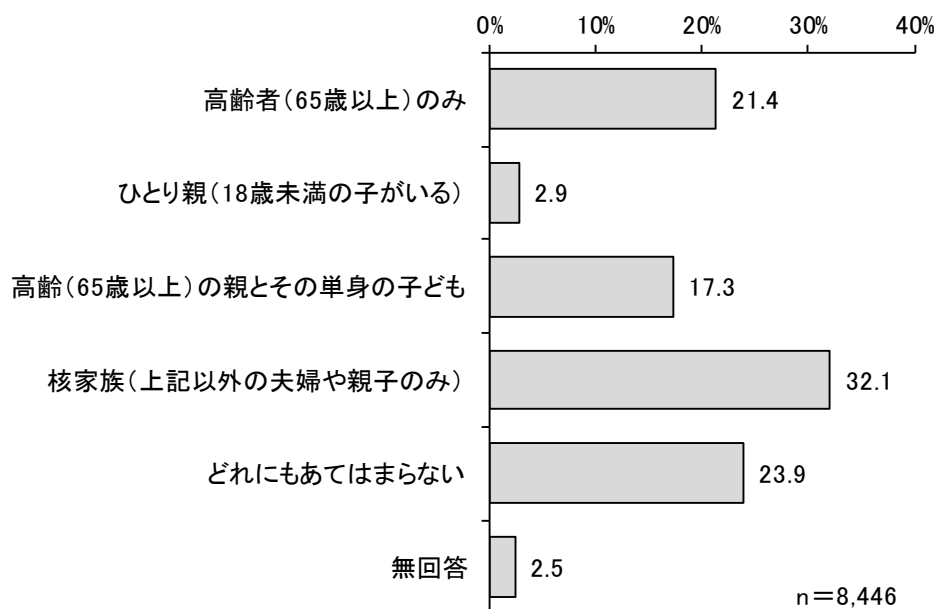
- ・ 世帯構成は、「複数」63.3%、「単身」34.8%となっており、約3.5割が単身世帯である。
- ・ 世帯構成別に世帯員の状況をみると、単身（4,648世帯）に比べて“複数（8,446世帯）”において、世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話しづらい家庭内の悩みがある、生活保護や親族による金銭的支援がない、という割合が高くなっている。
- ・ 上記以外の項目全てについては、複数に比べて“単身”のほうが「網掛け（マイナス回答）」の割合が高くなっている。（（第3章総括表109ページ）



図表 6 世帯構成(単数回答)

(3) 家族の種類＜世帯構成が複数の場合＞

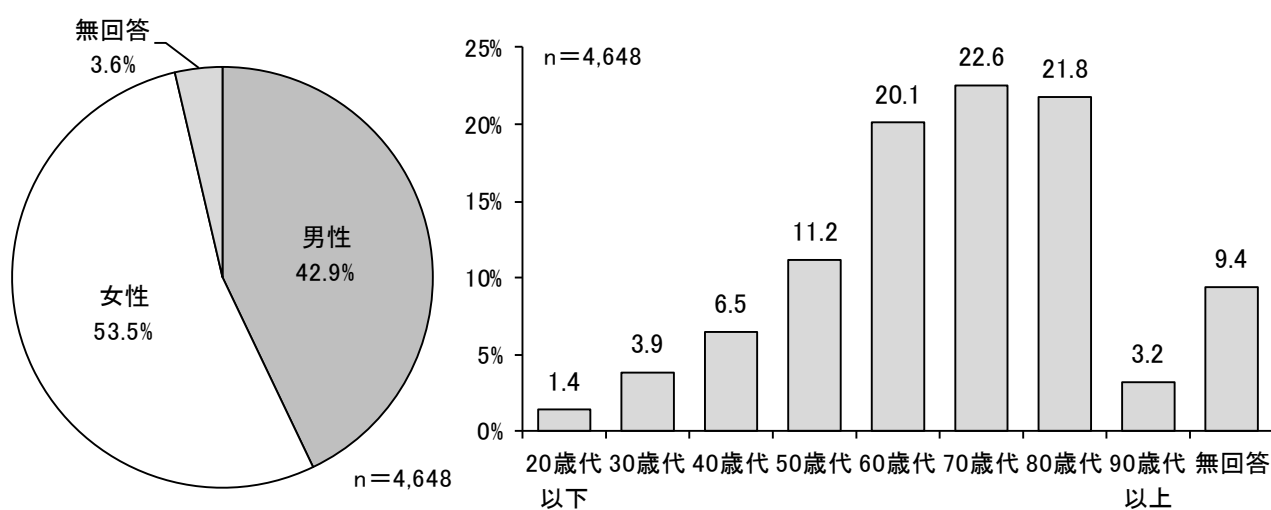
- ・ 世帯構成が複数の場合の、調査回答者 8,446 世帯の家族の種類は、「核家族（上記以外の夫婦や親子のみ）」32.1%が最も多く、次いで「高齢者（65 歳以上）のみ」21.4%で、約 2 割は「高齢者（65 歳以上）のみ」である。
- ・ 家族の種類別に世帯員の状況をみると、他の家族の種類に比べて“高齢の親と単身の子ども（1,458 世帯）”において、日常生活に支障が出るほどのストレスがある、気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある、身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある、世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人には話しづらい家庭内の悩みがあるという割合が高くなっている。
- ・ “ひとり親（244 世帯）”においては、34.0%が生活支援相談員訪問時に面会ができていない。（第 3 章総括表 110～111 ページ）



図表 7 家族の種類【世帯構成が複数の場合】(単数回答)

(4) 性別と年齢＜世帯構成が単身の場合＞

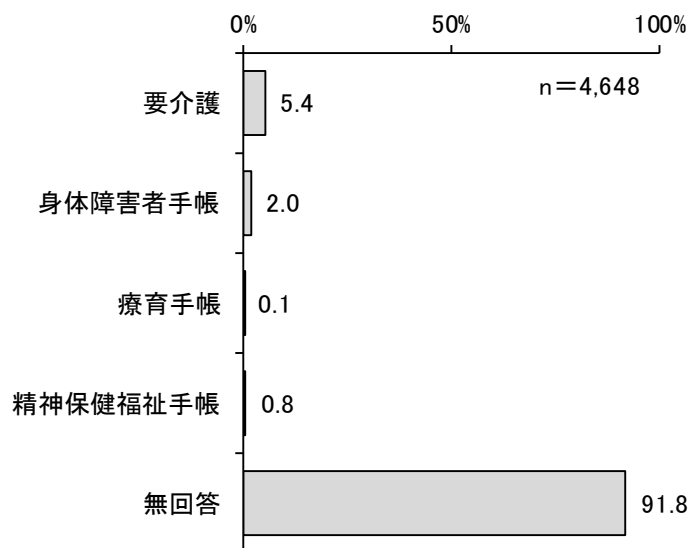
- ・ 世帯構成が単身（4,648人）の性別は、「男性」42.9%、「女性」53.5%である。
- ・ 年齢は、「60歳代」「70歳代」「80歳代」「90歳代以上」を合わせると6割を超える。
- ・ 男女別に世帯員の状況をみると、男性に比べて“女性（2,485人）”は、気分の落ち込みや不安・ストレスの項目において割合が高くなっている。女性に比べて“男性（1,994人）”は、近隣住民との関わりがない割合が高く、23.6%が生活支援相談員訪問時に面会ができていない。（第3章総括表112ページ）
- ・ 年齢別に世帯員の状況をみると、年代の低いほど、近隣住民との関わりがない割合や、震災で失った住宅や車のローンが残っている割合が高くなっている。
- ・ 年代が高くなるほど、気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある割合が高くなっている。
- ・ 80歳代以上になると行政情報の理解や手続きができなくなる割合が急に高くなっている。（第3章総括表113～116ページ）



図表 8 性別と年齢【世帯構成が単身の場合】(単数回答)

(5) 身体状況＜世帯構成が単身の場合＞

- ・ 世帯構成が単身（4,648 人）の身体状況は、「要介護」5.4%、「身体障害者手帳」2.0%、「療育手帳」0.1%、「精神保健福祉手帳」0.8%である。



図表 9 身体状況【世帯構成が単身の場合】(複数回答)

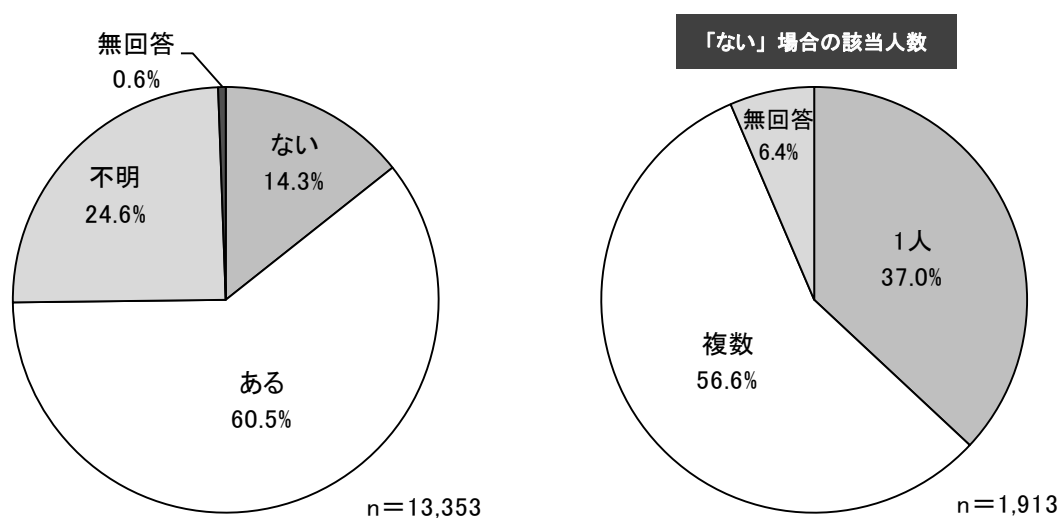
1 世帯員の状況

(1) 日常生活と心身の健康

A-1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある 「ない」場合の該当人数

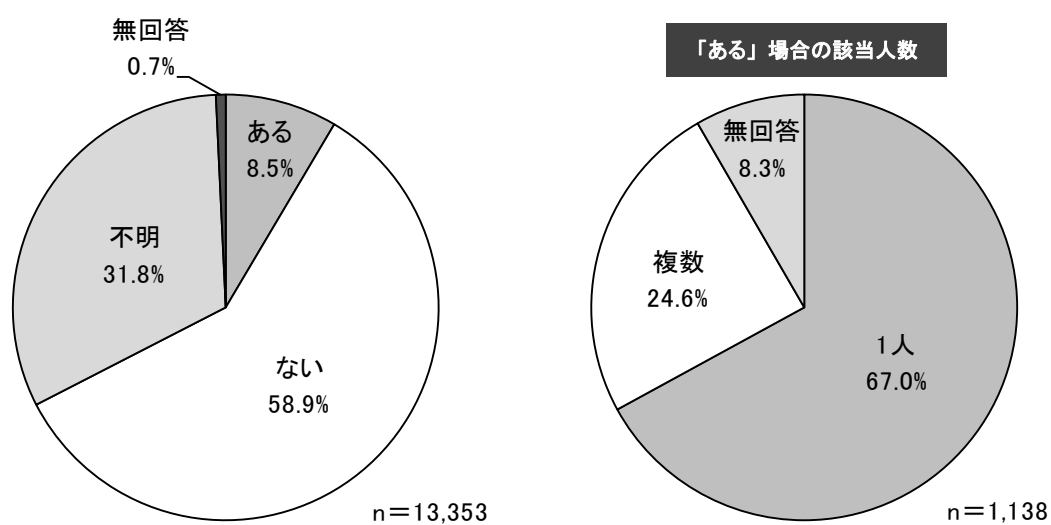
- ・ “福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある”の問に対して、「ない」と回答した世帯は 14.3%（1,913 世帯）である。そのうち、その世帯における該当人数は、「複数」が 56.6%である。

図表 10 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与（単数回答）



A-2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある 「ある」場合の該当人数

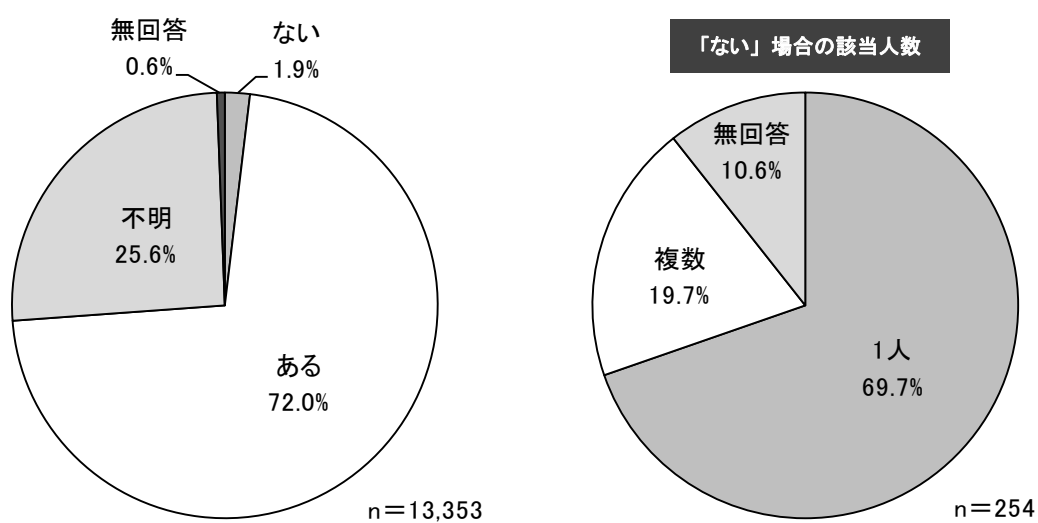
- ・ “日常生活に支障が出るほどのストレスがある” の問に対して、「ある」と回答した世帯は8.5% (1,138世帯) である。その世帯における該当人数は、「1人」が67.0% である。



図表 11 日常生活に支障が出るほどのストレス(単数回答)

A-3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている 「ない」場合の該当人数

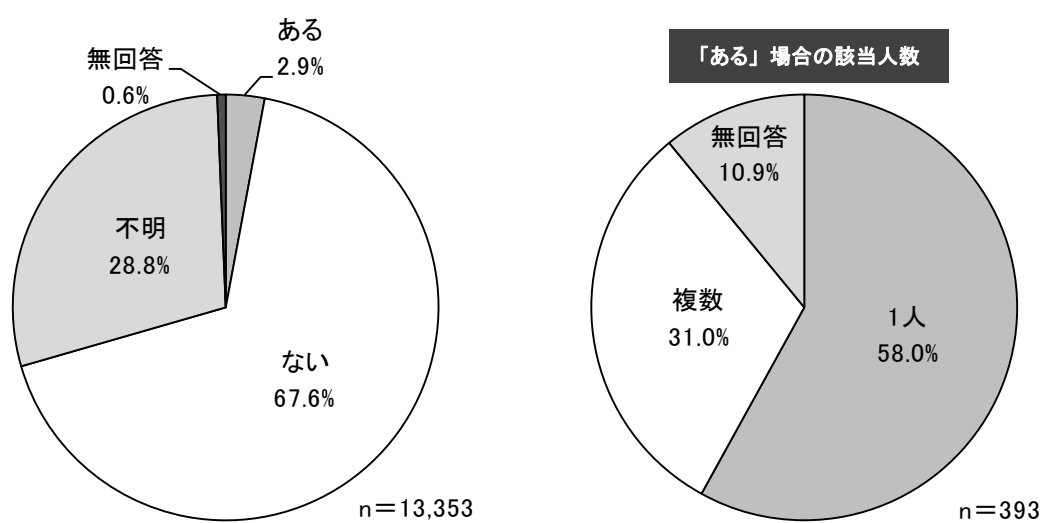
- ・ “清潔感や身だしなみへの配慮がされている” の問に対して、「ない」と回答した世帯は 1.9%（254 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 69.7% である。



図表 12 清潔感や身だしなみへの配慮(単数回答)

A-4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある 「ある」場合の該当人数

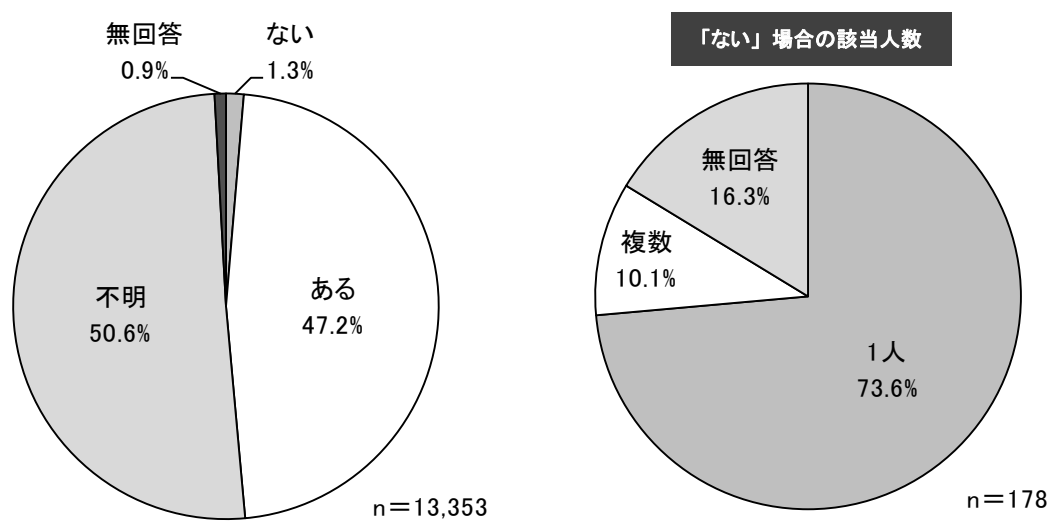
- ・ “家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある” の問に対して、「ある」と回答した世帯は2.9%（393世帯）である。その世帯における該当人数は、「1人」が58.0%である。



図表 13 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭(単数回答)

A-5 アルコール摂取が適切(量・時間・場所)である 「ない」場合の該当人数

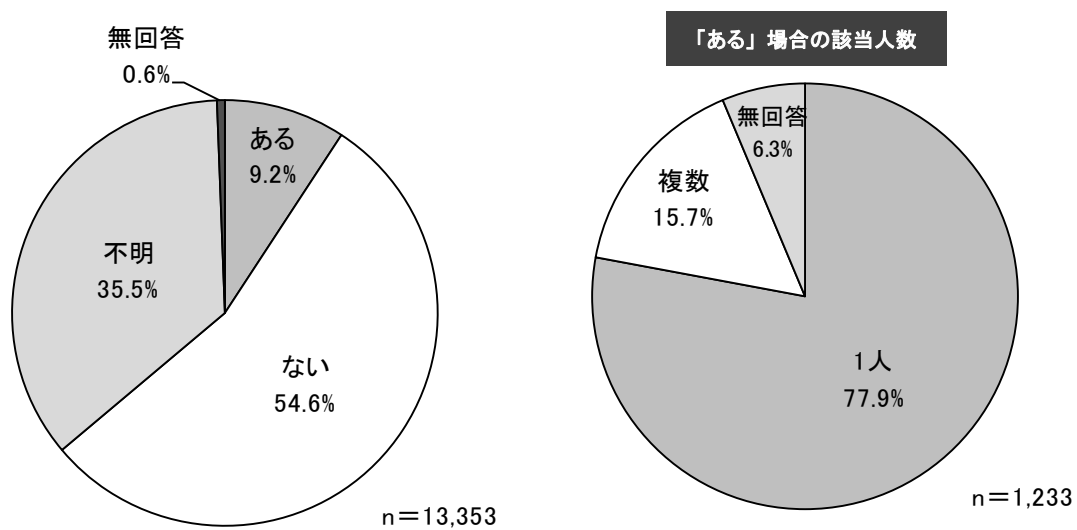
- ・ “アルコール摂取が適切（量・時間・場所）である” の問に対して、「ない」と回答した世帯は 1.3%（178 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 73.6%である。



図表 14 アルコール摂取(単数回答)

A-6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある 「ある」場合の該当人数

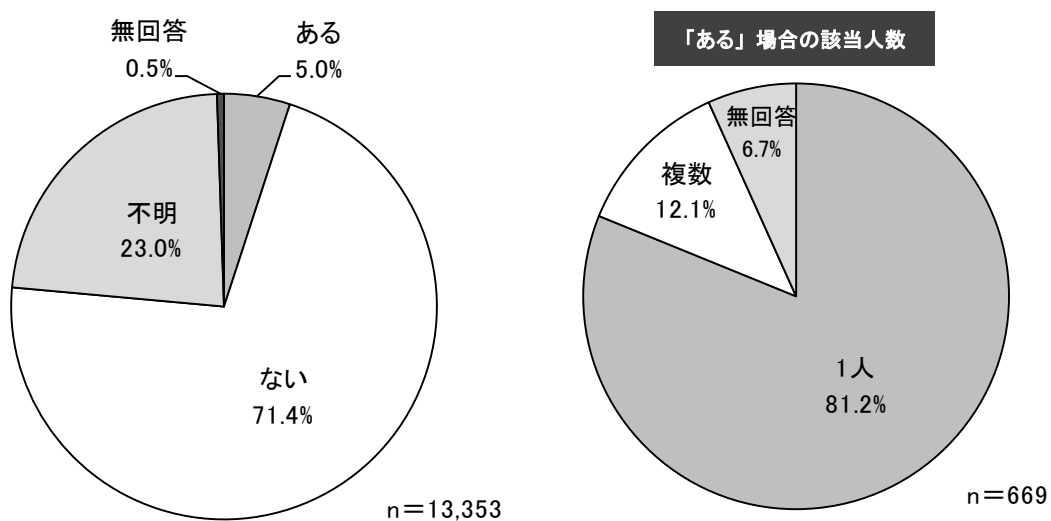
- ・ “気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある” の問に対して、「ある」と回答した世帯は 9.2%（1,233 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 77.9%である。



図表 15 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰え(単数回答)

A-7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある 「ある」場合の該当人数

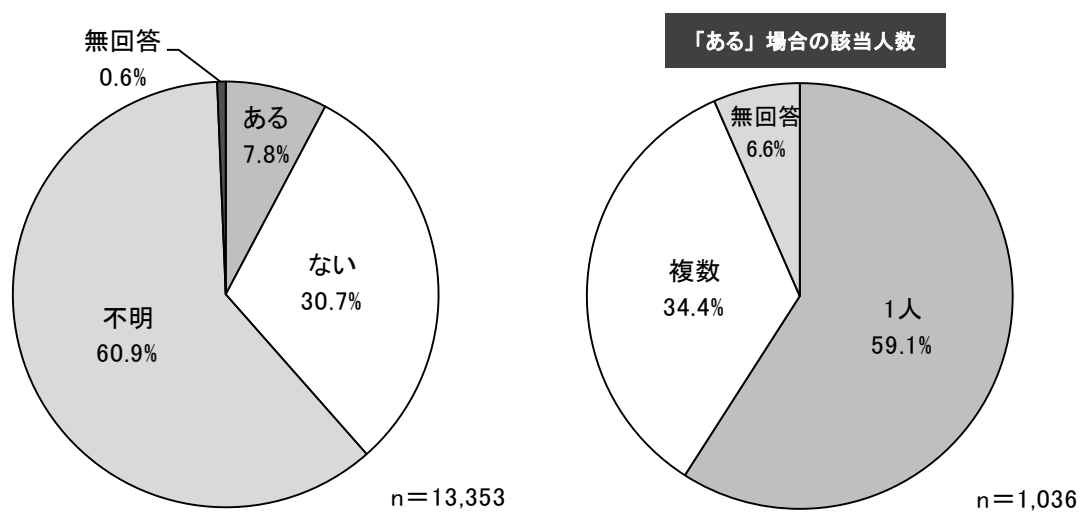
- ・ “身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある” の問に対して、「ある」と回答した世帯は 5.0%（669 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1人」が 81.2%である。



図表 16 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもり(単数回答)

A-8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話しづらい家庭内の悩みがある 「ある」場合の該当人数

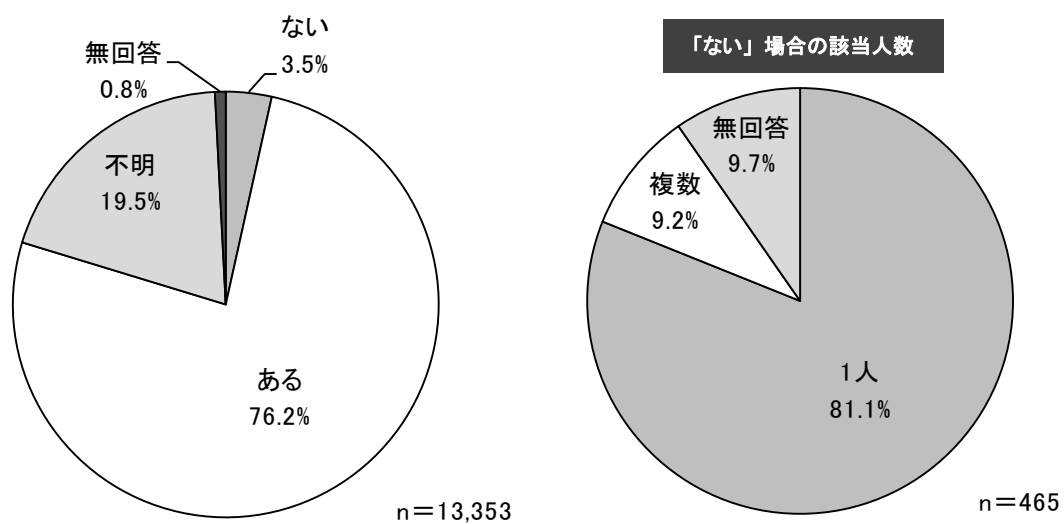
- “世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話しづらい家庭内の悩みがある”の問に対して、「ある」と回答した世帯は7.8%（1,036世帯）である。その世帯における該当人数は、「1人」が59.1%である。



図表 17 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話しづらい家庭内の悩み(単数回答)

A-9 行政情報の理解や手続きができる 「ない」場合の該当人数

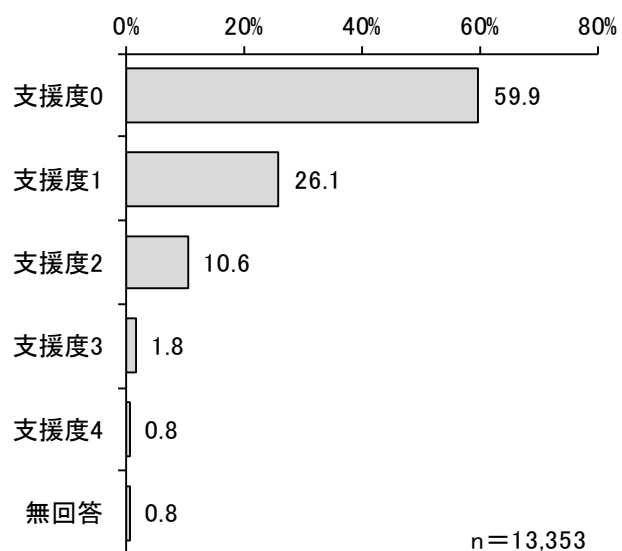
- ・ “行政情報の理解や手続きができる” の問に対して、「ない」と回答した世帯は 3.5% (465 世帯) である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 81.1% である。



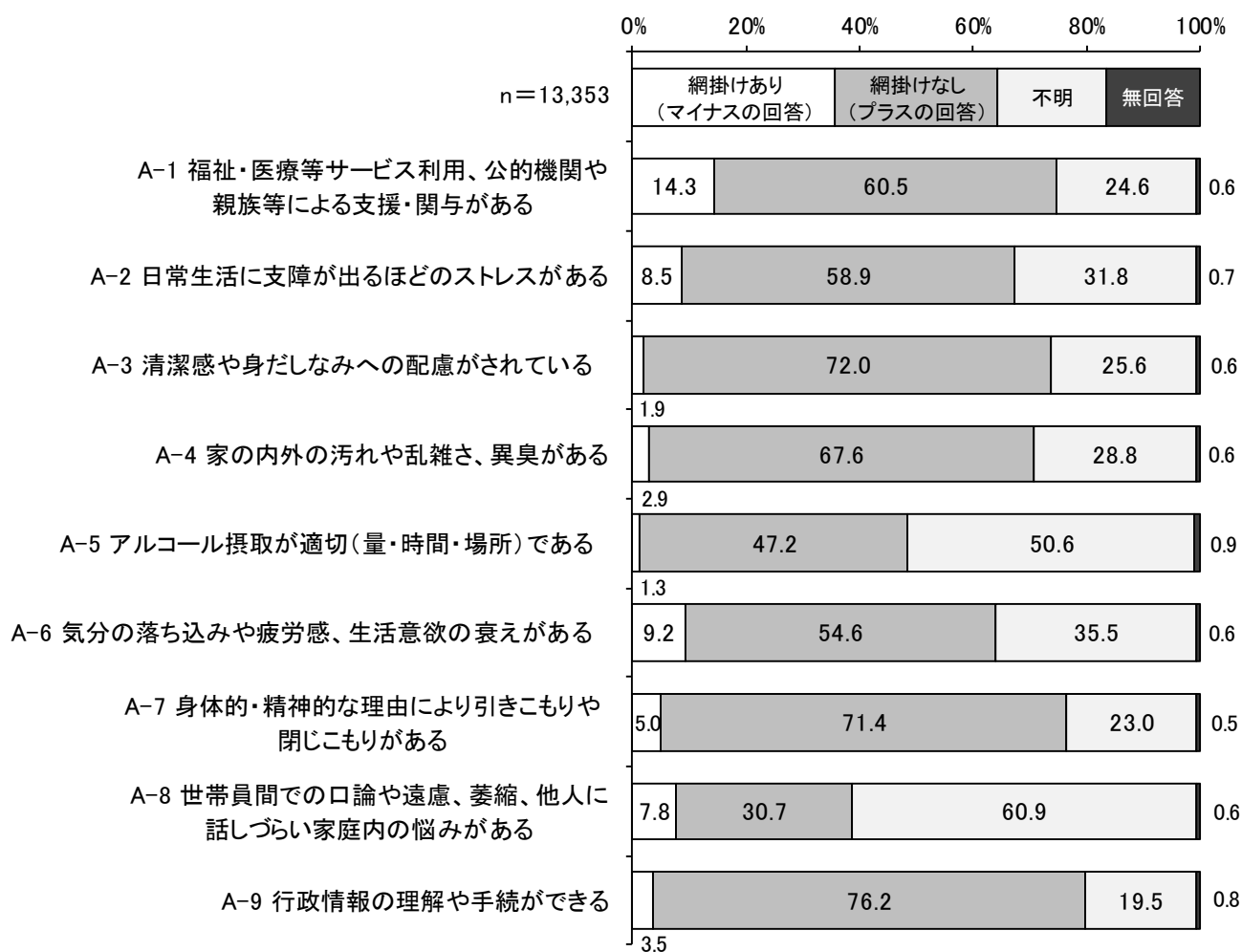
図表 18 世帯構成(単数回答)

A:日常生活と心身の健康の支援度判断

- “日常生活と心身の健康の支援度判断”は「支援度0」59.9%、「支援度1」26.1%、「支援度2」10.6%、「支援度3」1.8%、「支援度4」0.8%である。



図表 19 A:日常生活と心身の健康の支援度判断【見守り区分】(単数回答)



図表 20 A:日常生活と心身の健康のまとめ【再掲】(単数回答)

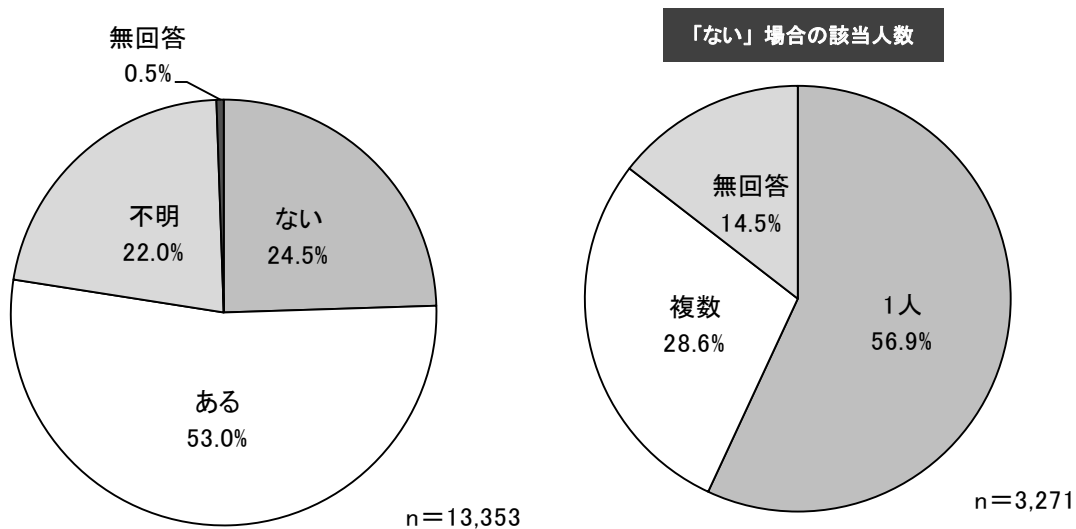
※「ある」「ない」の選択肢だが、質問に対して「プラスの回答」「マイナスの回答」に分けています

- ・『A:日常生活と心身の健康』の項目について、「網掛けあり (マイナスの回答)」が最も多いのは、“A-1 福祉・医療等サービス利用・公的機関や親族等による支援関与がある” 14.3%、次いで、“A-6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある” 9.2%と続いている。
- ・“A-5 アルコール摂取が適切 (量・時間・場所) である” “A-8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話しづらい家庭内の悩みがある” 項目については、「不明」の割合が高く、把握しづらい状況もうかがえる。

(2) 生計の維持

B-10 就労収入がある 「ない」場合の該当人数

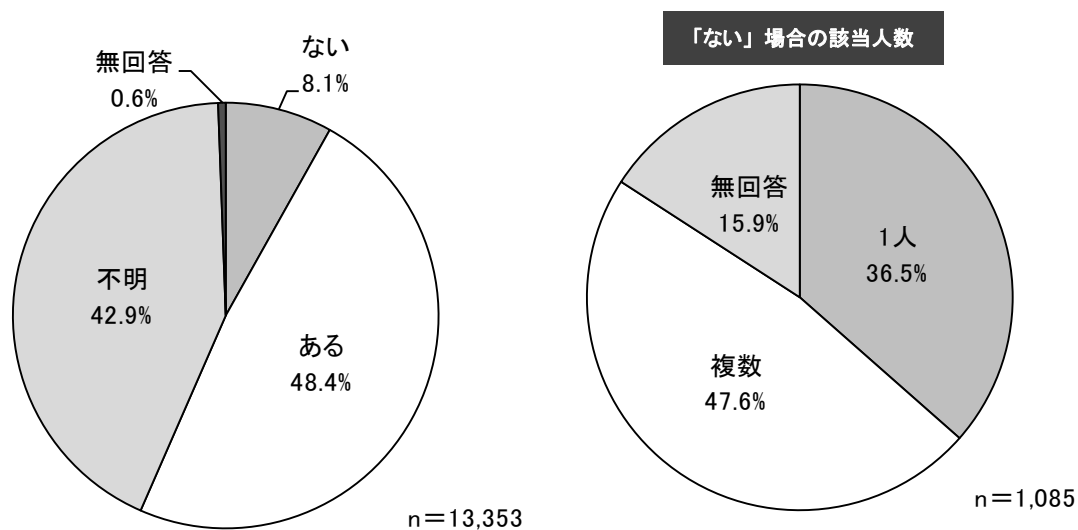
- ・ “就労収入がある” の問に対して、「ない」と回答した世帯は 24.5% (3,271 世帯) である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 56.9% である。



図表 21 就労収入(単数回答)

B-11 就労以外の収入(年金、不動産収入、遺産等)がある 「ない」場合の該当人数

- ・ “就労以外の収入（年金、不動産収入、遺産等）がある” の問に対して、「ない」と回答した世帯は 8.1%（1,085 世帯）である。その世帯における該当人数は、「複数」が 47.6%である。

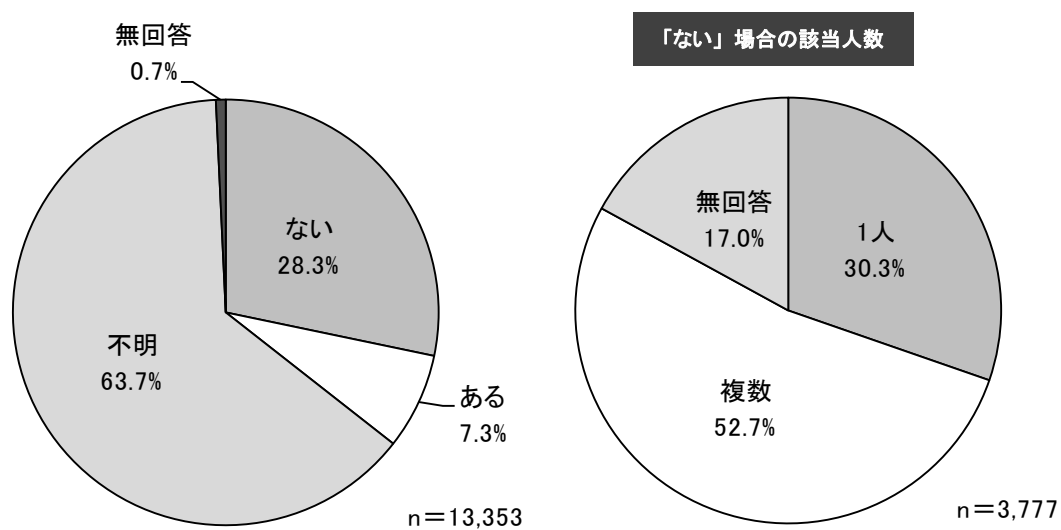


図表 22 就労以外の収入(年金、不動産収入、遺産等)(単数回答)

B-12 生活保護や親族による金銭的支援がある 「ない」場合の該当人数

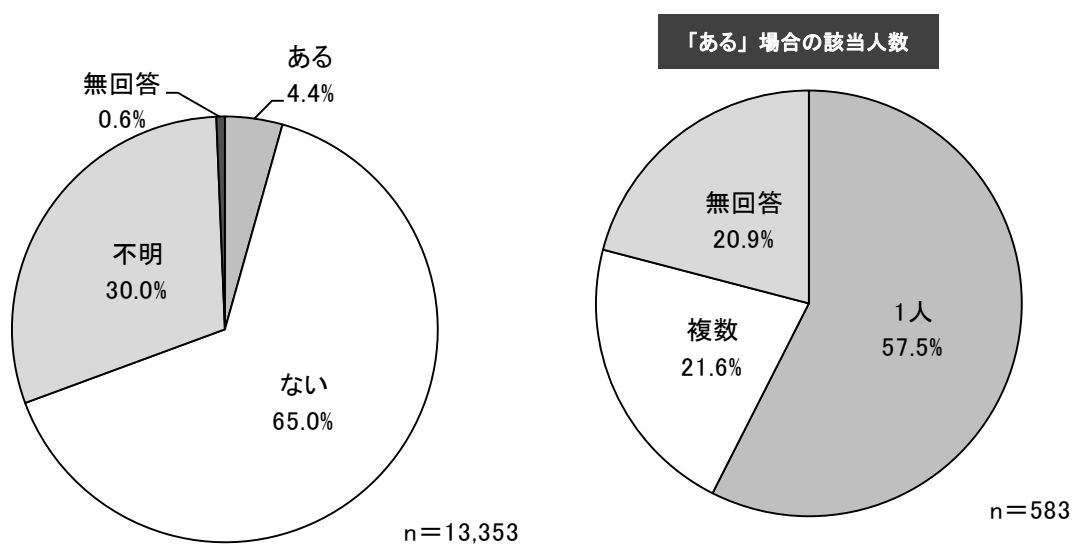
- ・ “生活保護や親族による金銭的支援がある” の問に対して、「ない」と回答した世帯は28.3%（3,777世帯）である。その世帯における該当人数は、「複数」が52.7%である。

図表 23 生活保護や親族による金銭的支援(単数回答)



B-13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない 「ある」場合の該当人数

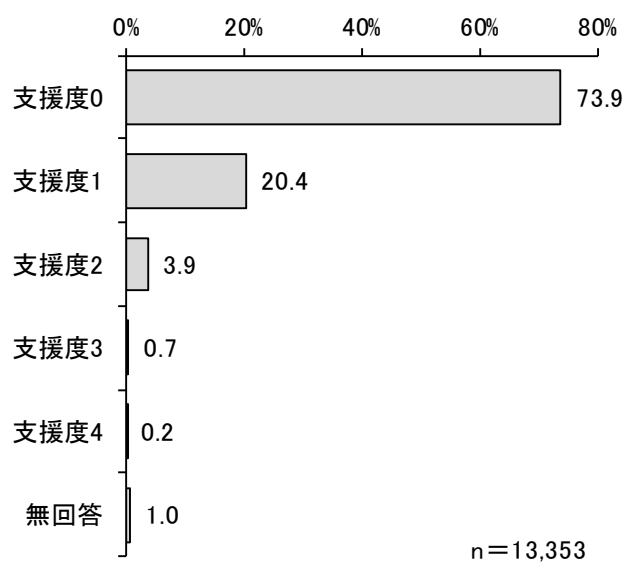
- ・ “生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない” の問に対して、「ある」と回答した世帯は 4.4%（583 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1人」が 57.5%である。



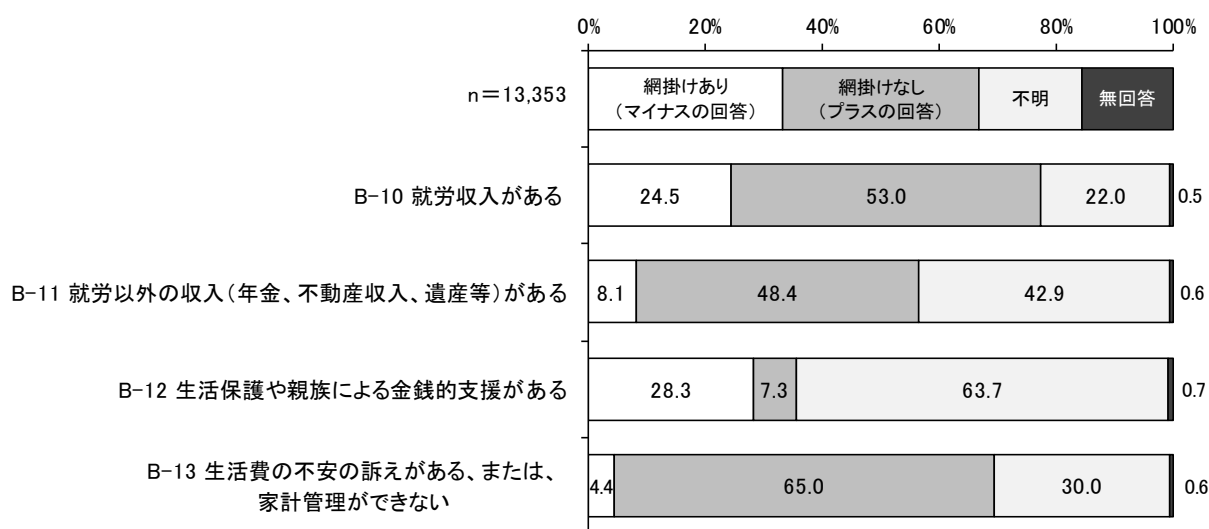
図表 24 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理(単数回答)

B:生計の維持の支援度判断

- “生計の維持の支援度判断”は「支援度0」73.9%、「支援度1」20.4%、「支援度2」3.9%、「支援度3」0.7%、「支援度4」0.2%である。



図表 25 B:生計の維持の支援度判断(単数回答)



図表 26 B:生計の維持のまとめ【再掲】(単数回答)

※「ある」「ない」の選択肢だが、質問に対して「プラスの回答」「マイナスの回答」に分けています

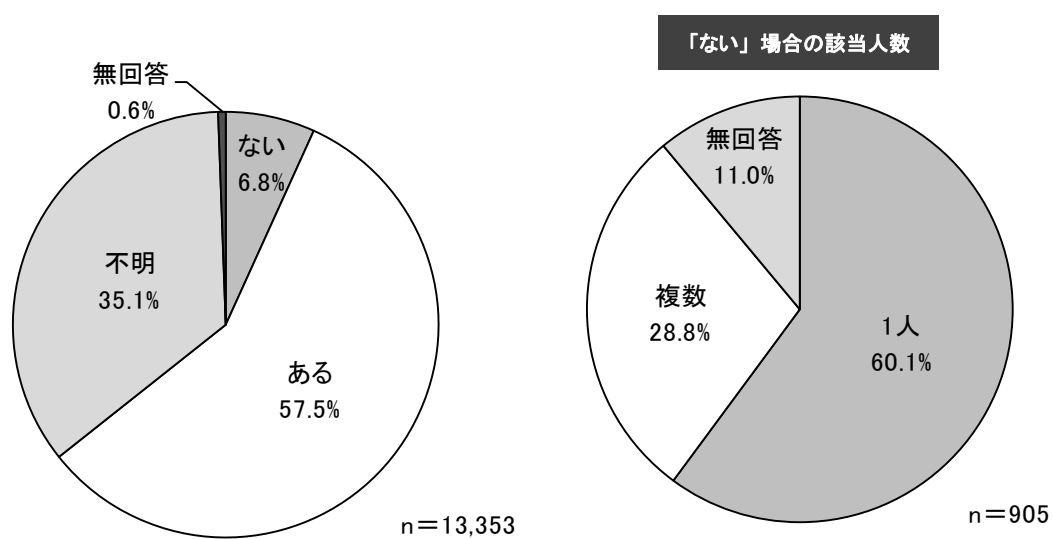
- ・『生計の維持のまとめ』の項目について、「網掛けあり（マイナスの回答）」が最も多いのは、“B-12 生活保護や親族による金銭的支援がある” 28.3%、次いで、“B-10 就労収入がある” 24.5%と続いている。
- ・“B-12 生活保護や親族による金銭的支援がある”の項目については、「不明」の割合が高く、把握しづらい状況もうかがえる。

(3) 社会的な関わりの維持

C-14 近隣住民との関わりがある 「ない」場合の該当人数

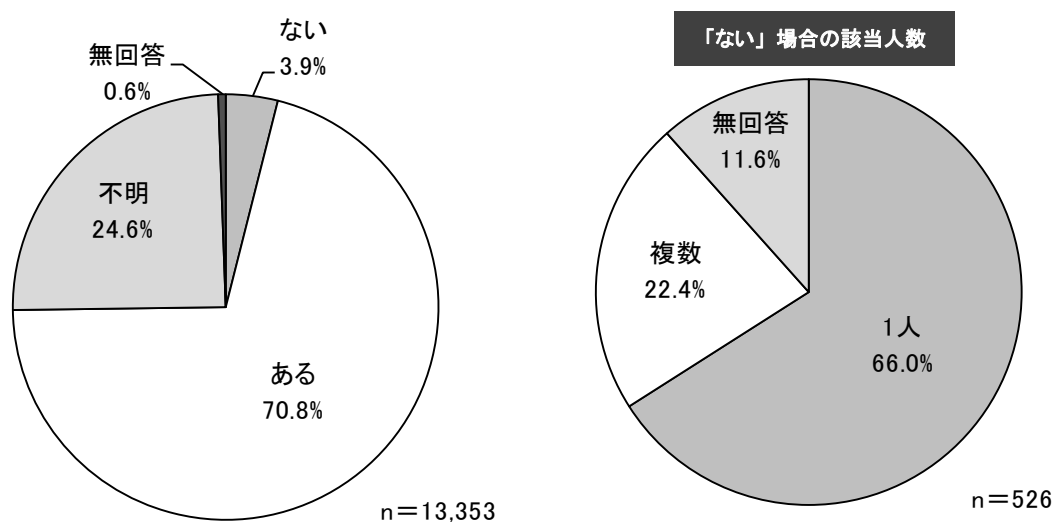
- ・ “近隣住民との関わりがある” の問に対して、「ない」と回答した世帯は 6.8% (905 世帯) である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 60.1% である。

図表 27 近隣住民との関わり(単数回答)



C-15 1～2週間の間に通い先（勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等）がある
「ない」場合の該当人数

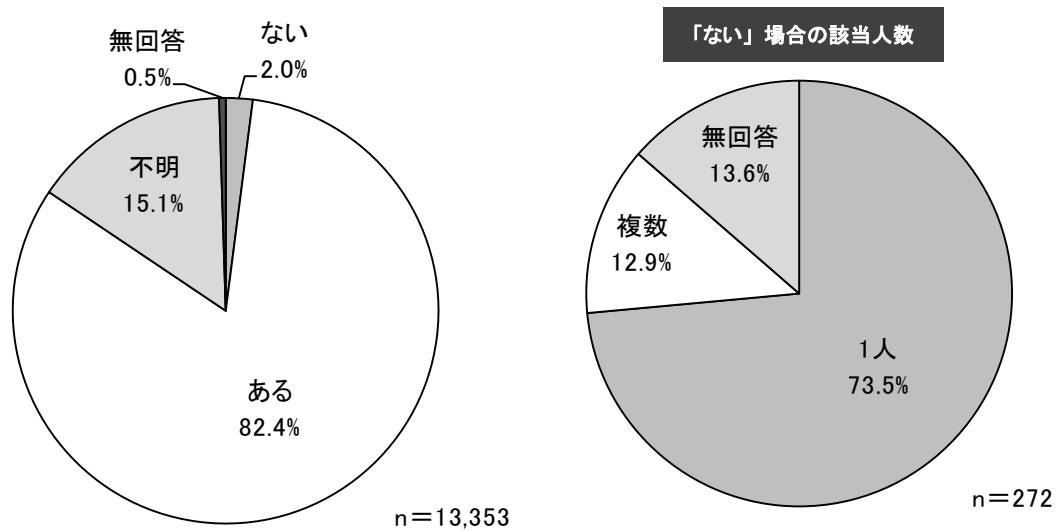
- ・ “1～2 週間の間に通い先（勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等）がある” の問に対して、「ない」と回答した世帯は 3.9%（526 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 66.0%である。



図表 28 1～2 週間の間に通い先（単数回答）

C-16 買い物や通院等の移動手段がある
「ない」場合の該当人数

- ・ “買い物や通院等の移動手段がある”の問に対して、「ない」と回答した世帯は2.0% (272 世帯) である。その世帯における該当人数は、「1 人」が73.5%である。

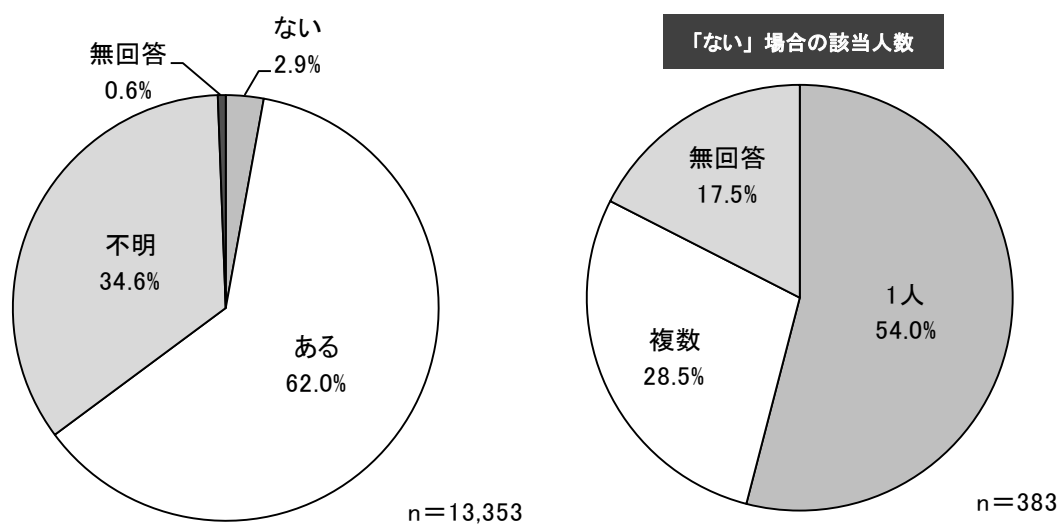


図表 29 買い物や通院等の移動手段(単数回答)

C-17 1～2週間の間に訪問や交流がある(別世帯の親族、友人・知人)
「ない」場合の該当人数

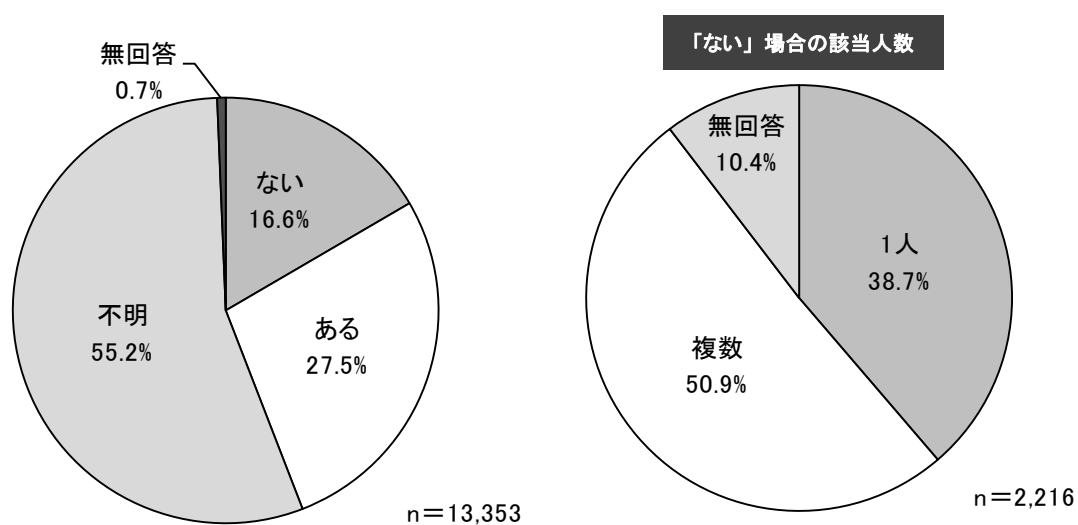
- ・ “1～2 週間の間に訪問や交流がある (別世帯の親族、友人・知人)” の問に対して、「ない」と回答した世帯は 2.9% (383 世帯) である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 54.0%である。

図表 30 1～2 週間の訪問や交流(別世帯の親族、友人・知人)(単数回答)



C-18 1～2週間の間に訪問や交流がある(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)
「ない」場合の該当人数

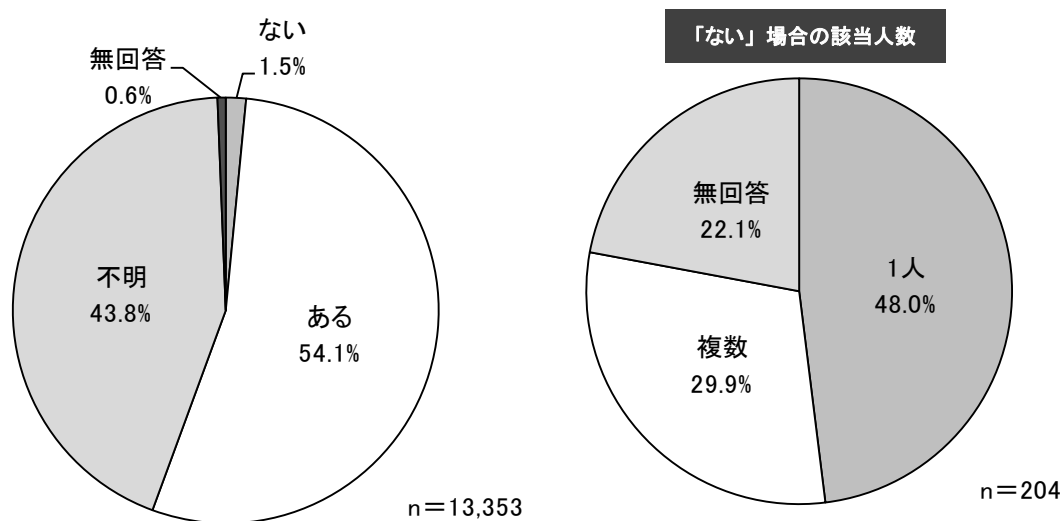
- ・ “1～2 週間の間に訪問や交流がある(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)”
の問に対して、「ない」と回答した世帯は 16.6% (2,216 世帯) である。その世帯
における該当人数は、「複数」が 50.9% である。



図表 31 1～2 週間の訪問や交流(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)(単数回答)

C-19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している
「ない」場合の該当人数

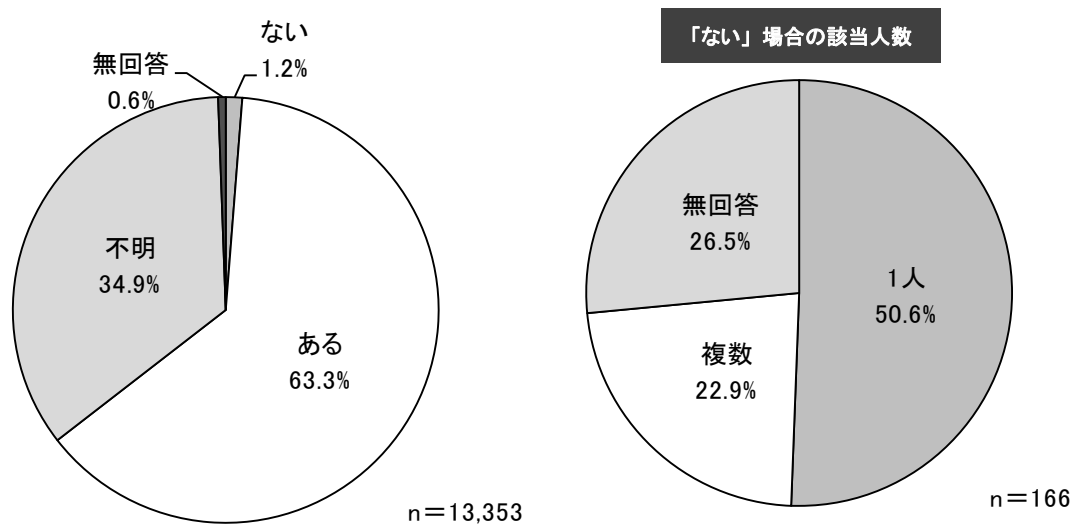
- ・ “生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している” の問に対して、「ない」と回答した世帯は 1.5%（204 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 48.0%である。



図表 32 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握(単数回答)

C-20 困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)がいる
「ない」場合の該当人数

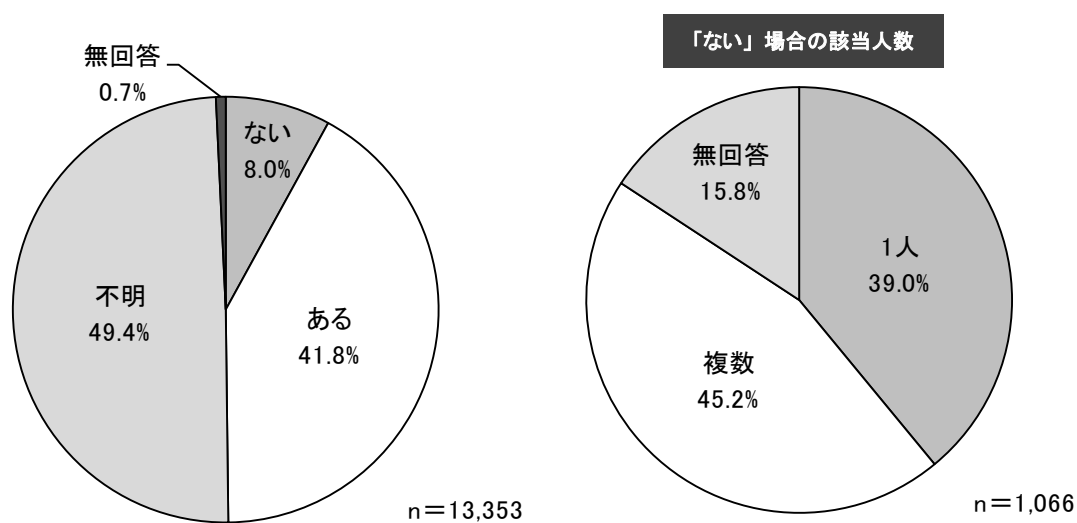
- ・ “困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)がいる” の問に対して、「ない」と回答した世帯は 1.2% (166 世帯) である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 50.6% である。



図表 33 困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)(単数回答)

C-21 困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)がいる
「ない」場合の該当人数

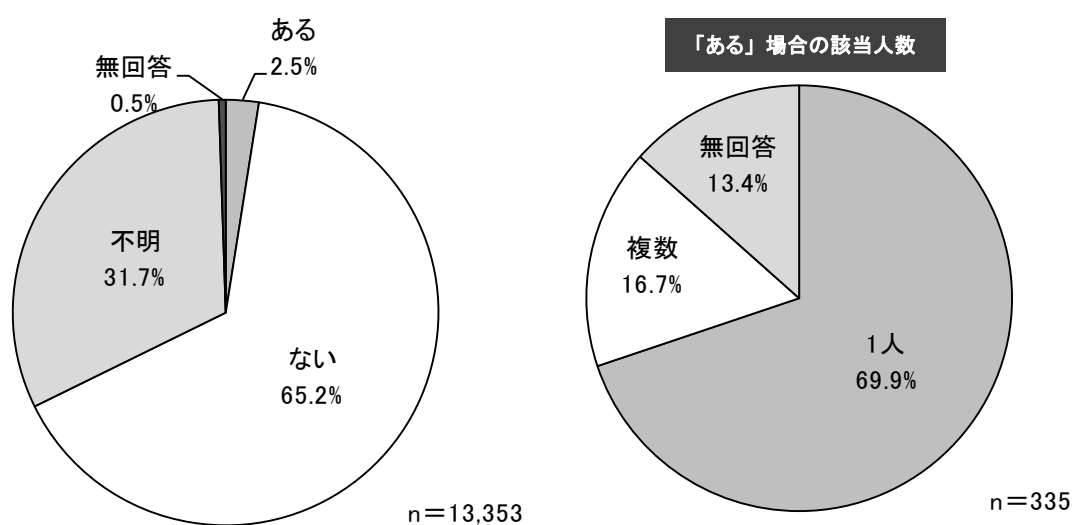
- ・ “困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等) がいる”
の問に対して、「ない」と回答した世帯は8.0% (1,066世帯)である。その世帯に
おける該当人数は、「複数」が45.2%である。



図表 34 困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)(単数回答)

C-22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある 「ある」場合の該当人数

- ・ “行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある” の問に対して、「ある」と回答した世帯は 2.5%（335 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1人」が 69.9%である。

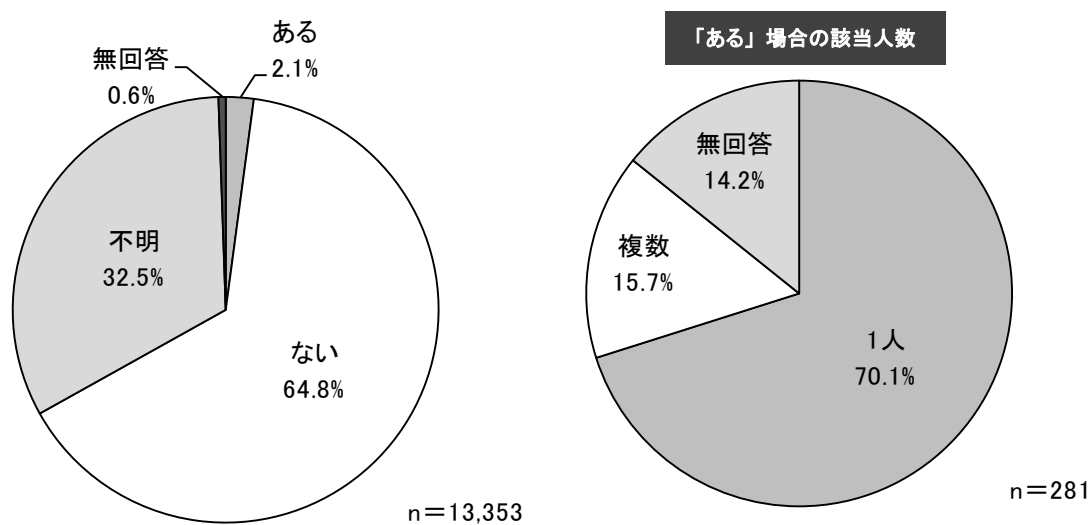


図表 35 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感(単数回答)

C-23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある 「ある」場合の該当人数

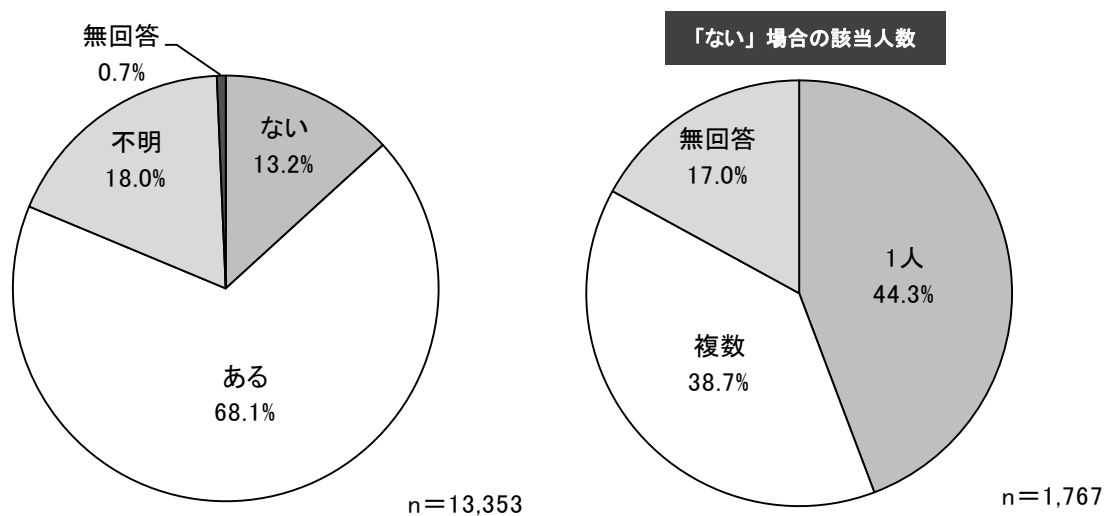
- ・ “行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある” の問に対して、「ある」と回答した世帯は 2.1%（281 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 70.1%である。

図表 36 行政や支援者等関係者に対する不信や怒り(単数回答)



C-24 生活支援相談員訪問時に面会ができる 「ない」場合の該当人数

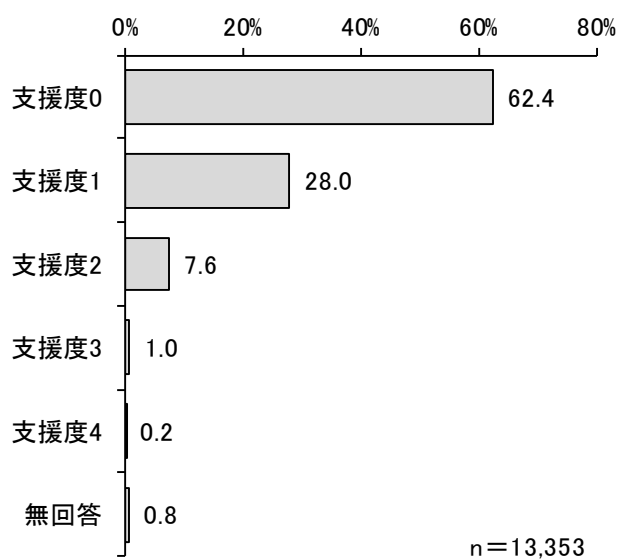
- ・ “生活支援相談員訪問時に面会ができる” の問に対して、「ない」と回答した世帯は 13.2%（1,767 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 44.3% である。



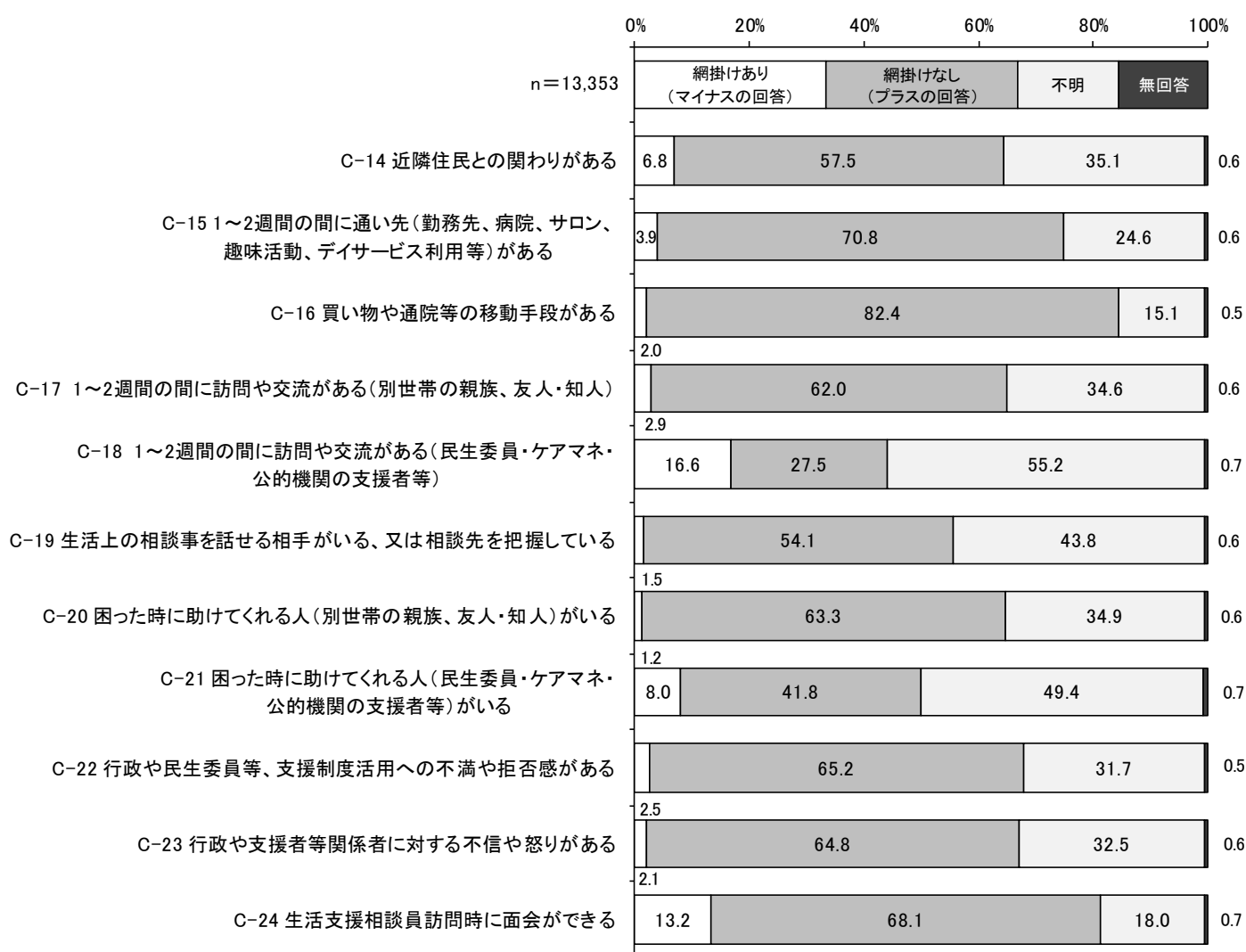
図表 37 生活支援相談員訪問時に面会ができる(単数回答)

C: 社会的な関わりの維持の支援度判断

- “社会的な関わりの維持の支援度判断”は「支援度 0」62.4%、「支援度 1」28.0%、「支援度 2」7.6%、「支援度 3」1.0%、「支援度 4」0.2%である。



図表 38 C: 社会的な関わりの維持の支援度判断【見守り区分】(単数回答)



図表 39 C:社会的な関わりの維持のまとめ【再掲】(単数回答)

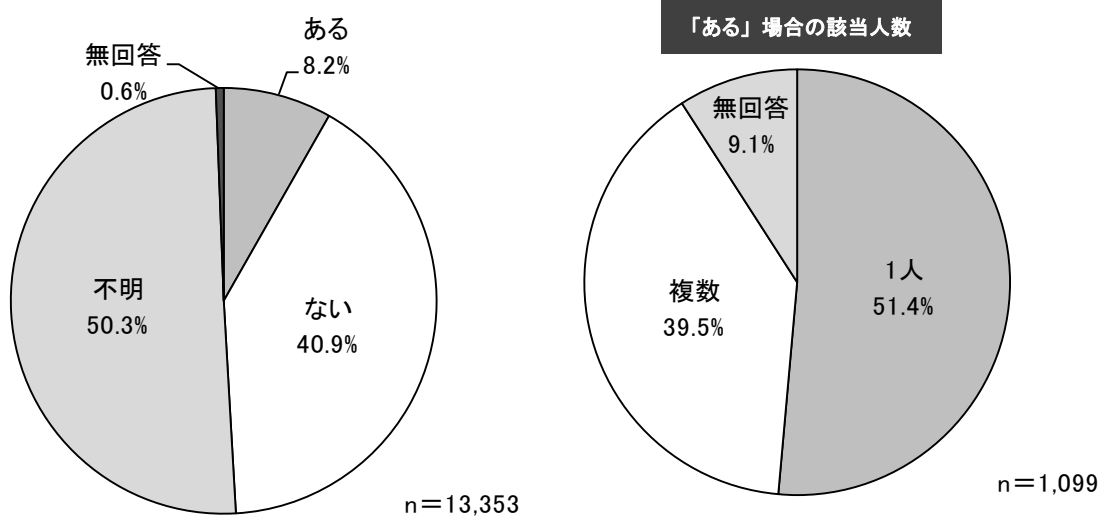
※「ある」「ない」の選択肢だが、質問に対して「プラスの回答」「マイナスの回答」に分けています

- ・『社会的な関わりの維持』の項目について、「網掛けあり (マイナスの回答)」が最も多いのは、“C-18 1～2 週間の間に訪問や交流がある (民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)” 16.6%、次いで、“C-24 生活支援相談員訪問時に面会ができる” 13.2%と続いている。
- ・“C-18 1～2 週間の間に訪問や交流がある (民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)” “C-21 困った時に助けてくれる人 (民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等) がいる” 項目については、「不明」の割合が高く、把握しづらい状況もうかがえる。

(4) 震災に起因するストレス等

D-25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある 「ある」場合の該当人数

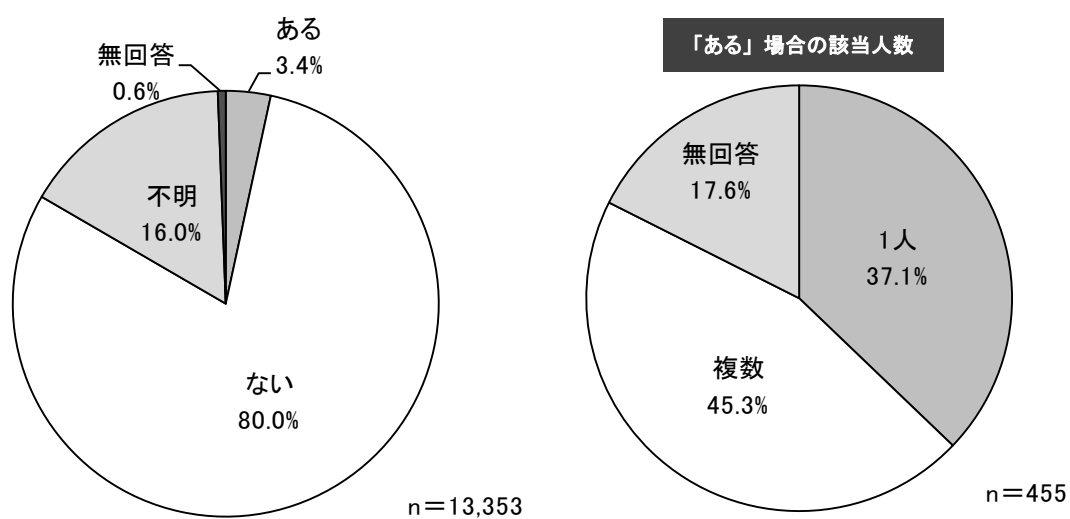
- ・ “震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある”の問に対して、「ある」と回答した世帯は 8.2%（1,099 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1人」が 51.4%である。



図表 40 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感(単数回答)

D-26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である
「ある」場合の該当人数

- ・ “仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である” の問に対して、「ある」と回答した世帯は 3.4%（455 世帯）である。その世帯における該当人数は、「複数」が 45.3%である。

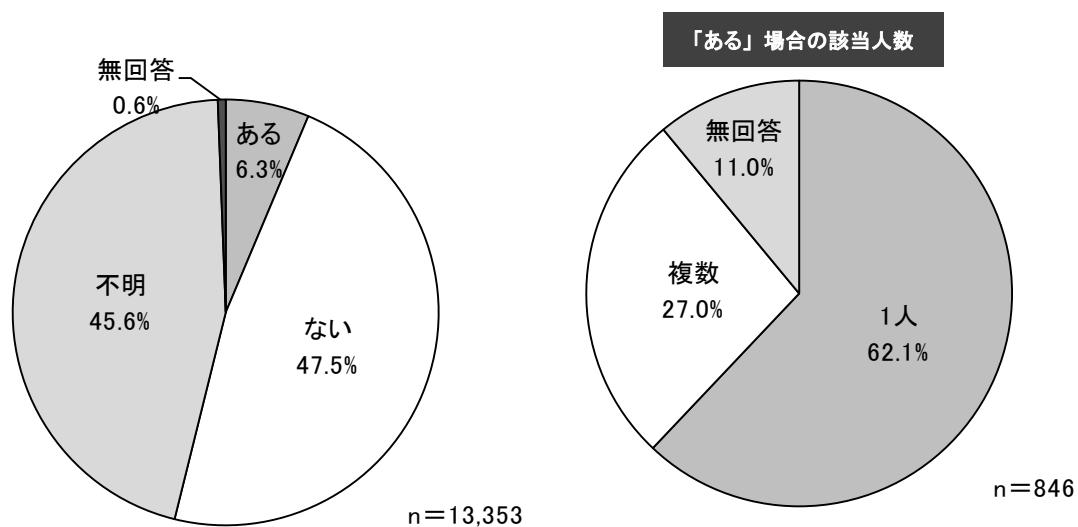


図表 41 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である (単数回答)

D-27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある 「ある」場合の該当人数

- “住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある”の問に対して、「ある」と回答した世帯は6.3%（846世帯）である。その世帯における該当人数は、「1人」が62.1%である。

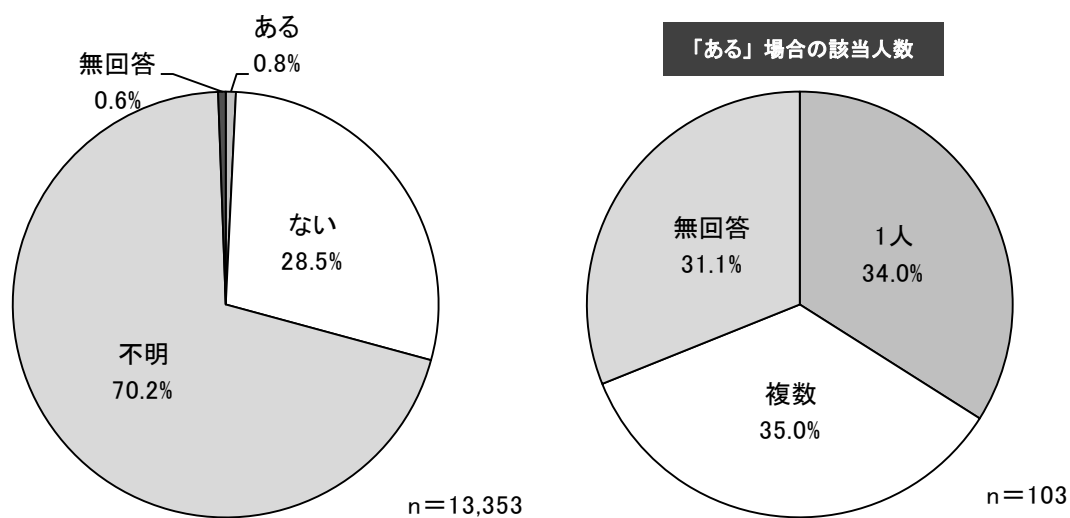
図表 42 住環境の変化や近隣住民との関係づくりの不安やストレス(単数回答)



D-28 震災で失った住宅や車のローンが残っている 「ある」場合の該当人数

- ・ “震災で失った住宅や車のローンが残っている” の問に対して、「ある」と回答した世帯は 0.8% (103 世帯) である。その世帯における該当人数は、「複数」が 35.0% である。

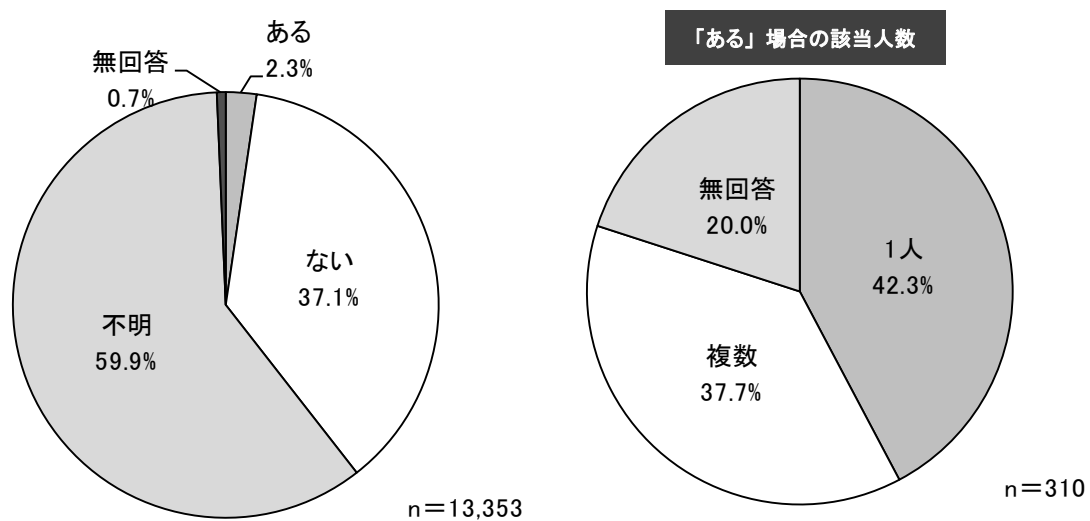
図表 43 震災で失った住宅や車のローン(単数回答)



D-29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある 「ある」場合の該当人数

- ・ “再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある” の問に対して、「ある」と回答した世帯は 2.3%（310 世帯）である。その世帯における該当人数は、「1 人」が 42.3%である。

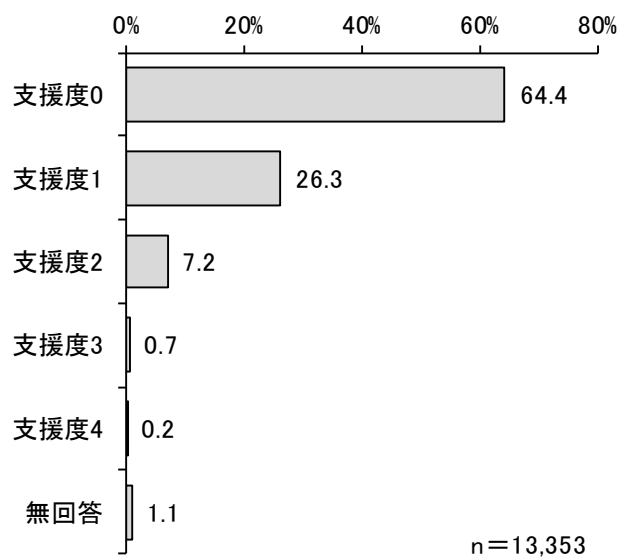
図表 44 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安(単数回答)

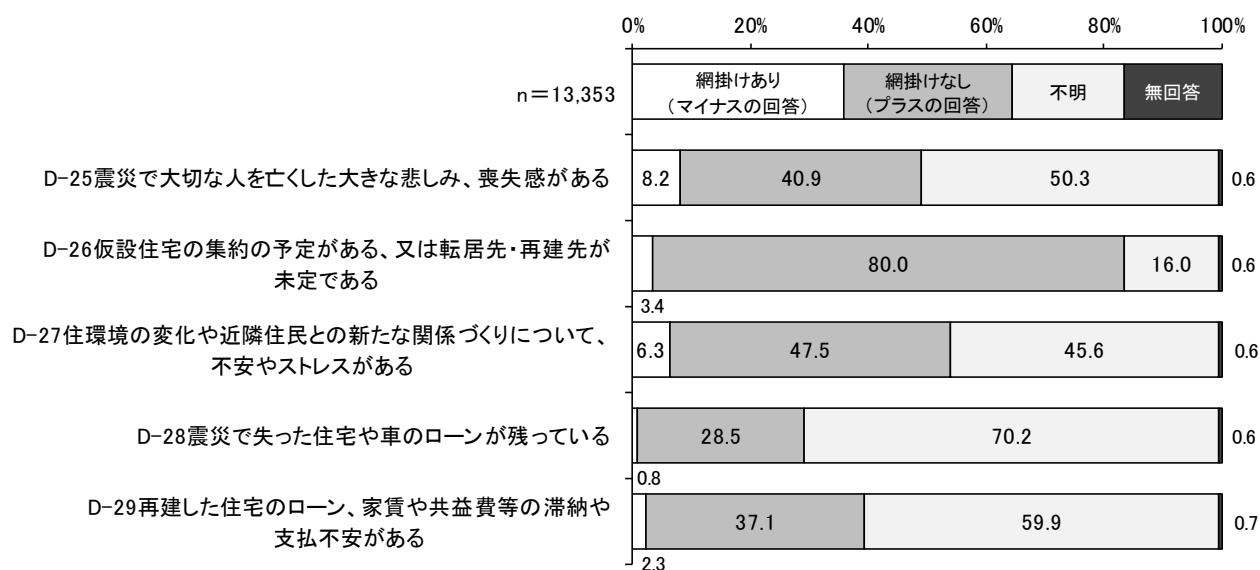


D:震災に起因するストレス等の支援度判断

- “震災に起因するストレス等の支援度判断”は「支援度0」64.4%、「支援度1」26.3%、「支援度2」7.2%、「支援度3」0.7%、「支援度4」0.2%である。

図表 45 D:震災に起因するストレス等の支援度判断【見守り区分】(単数回答)





図表 46 D: 震災に起因するストレス等のまとめ【再掲】(単数回答)

※「ある」「ない」の選択肢だが、質問に対して「プラスの回答」「マイナスの回答」に分けています

- ・『震災に起因するストレス等』の項目について、「網掛けあり（マイナスの回答）」が最も多いのは、“D-25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある” 8.2%、次いで、“D-27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある” 6.3%と続いている。
- ・“D-28” “震災で失った住宅や車のローンが残っている” 項目については、「不明」の割合が高く、把握しづらい状況がうかがえる。

2 支援が必要な理由（自由記載）

E-30 A～D以外に生活支援相談員による支援が必要な事項

または関係機関との調整により支援が必要な理由等（自由記述）

- ・ 住まいで支援が必要な理由をみると、応急仮設住宅と災害公営住宅で、他の住まいより割合が高くなっている。
- ・ 応急仮設住宅では“居住形態に関すること” 56.7%（312 件）、災害公営住宅では“病気に関すること” 37.7%（300 件）“周囲との交流に関すること” 36.2%（75 件）が、特に割合が高くなっている。

図表 47 支援が必要な理由（自由記述）

	応急仮設住宅	みなし仮設住宅	災害公営住宅	修繕再建	移住再建	住宅被災無し	その他	住まいの無回答	総計
(1) 家族に関すること	267 25.5	41 3.9	317 30.3	66 6.3	178 17.0	116 11.1	34 3.3	27 2.6	1,046 100.0
(2) 病気に関すること	102 12.8	27 3.4	300 37.7	65 8.2	153 19.2	108 13.6	24 3.0	17 2.1	796 100.0
(3) アセスメントできない要因に関すること	253 41.1	39 6.3	214 34.7	11 1.8	45 7.3	14 2.3	17 2.8	23 3.7	616 100.0
(4) 居住形態に関すること	312 56.7	133 24.2	36 6.5	4 0.7	25 4.5	7 1.3	23 4.2	10 1.8	550 100.0
(5)引き続き経過観察、意思確認がとれるまで訪問、など	198 45.9	18 4.2	155 36.0	7 1.6	15 3.5	10 2.3	10 2.3	18 4.2	431 100.0
(6) 感情に関すること	59 18.2	28 8.6	91 28.1	17 5.2	80 24.7	19 5.9	27 8.3	3 0.9	324 100.0
(7) お金・就労に関すること	87 34.5	25 9.9	49 19.4	5 2.0	52 20.6	4 1.6	29 11.5	1 0.4	252 100.0
(8) 周囲との交流に関すること	38 18.4	8 3.9	75 36.2	9 4.3	40 19.3	17 8.2	13 6.3	7 3.4	207 100.0
(9) 公的サービスに関すること	39 18.9	18 8.7	51 24.8	16 7.8	40 19.4	20 9.7	16 7.8	6 2.9	206 100.0
(10) 精神疾患に関すること	14 14.0	5 5.0	51 51.0	5 5.0	18 18.0	3 3.0	2 2.0	2 2.0	100 100.0
(11) 本人情報（職業や立場など）	36 59.0	4 6.6	13 21.3	1 1.6	5 8.2	1 1.6	1 1.6	0 0.0	61 100.0
(12) 情報不足	7 14.6	1 2.1	36 75.0	0 0.0	3 6.3	0 0.0	0 0.0	1 2.1	48 100.0
(13) 行政の判断に従った事案	3 0.3	3 0.3	1,130 97.1	5 0.4	4 0.3	16 1.4	1 0.1	2 0.2	1,164 100.0
(14) その他	27 33.3	4 4.9	14 17.3	11 13.6	12 14.8	8 9.9	3 3.7	2 2.5	81 100.0

※上段は件数、下段は%

(1) 家族に関すること(1,046 件)

- 夫を被災の年に亡くしている。・長男家族と同居しているが、食事は別。話したり活動しないと「うつ」になりそうとのこと。配慮必要。【移住再建】
- 80 代女性、昼夜逆転、尿失禁による尿臭があり認知症の症状も見受けられるので、定期的に関与し、変化があるか気に掛ける必要がある。家族の介護疲れが見られる。【みなし仮設住宅】
- 89 歳、高齢独居。部屋内外の汚れがひどく、近隣が迷惑している。【災害公営住宅】
- 93 歳の母の在宅介護を行っており、介護疲れもみられる。訪問時大変になっていることを聞き、介護サービスへつなぐ実際の方法についてアドバイスしている。【移住再建】
- A さん (97)、B さん (88) の世話をしている妹 (86) 老老介護の大変さを訴える。【その他】
- ネコ屋敷。息子障がい者。【修繕再建】
- ひとり親世帯であり、働いているさまで面会ができないので経過観察が必要。【災害公営住宅】
- ベッドで横になっていることが多い。日中独居、デイサービスでトラブルがあった為【住宅被災無し】
- 一人暮らし高齢者で昨年転倒し、足を悪くしている為見守り必要。【修繕再建】
- 遠方に住む娘さんより見守り訪問依頼があった。【移住再建】
- 仮設生活中に離婚、独居となり、体調を崩し入院して休職していた。【移住再建】
- 嫁ぎ先から娘が来たり、近隣の親戚、嫁が毎日の様に見守ってくれている。また関東に住む嫁も時々来ているが、高齢独居の為時々の訪問を民生委員より言われ訪問している。【住宅被災無し】
- 家族内でのトラブルでストレスが有る。【住宅被災無し】
- 近隣の娘による支援はあるが、「高齢なため訪問して欲しい。」との申出があった。【移住再建】
- 元地区に再建後、親と同居予定。【応急仮設住宅】
- 元地区再建。同居の息子 2 人の就労確認。母訪問拒否。【応急仮設住宅】
- 高齢であり、息子は障害を持っているため、気に掛ける必要がある。【修繕再建】
- 高齢の親と息子世帯。収入は安定しているものの、たびたび電気が止まる。親、認知。息子、介護拒否傾向あり。【災害公営住宅】
- 高齢夫婦であり、自宅再建先についての情報も定まっていないため。【応急仮設住宅】
- 親、子、孫のそれぞれに問題あり。世帯分離する予定があり、親は単身高齢世帯。母子世帯 3 人となる。精神的にも不安定な様子あり。継続的に支援が必要（就労、家計）。【その他】
- 震災で妻、娘、孫を亡くしている。【移住再建】
- 震災後、弟が自死、両親が離婚。本人と母は連絡を取り合っているが、本人は実家とは絶縁している。【みなし仮設住宅】
- 息子が就労していない、母親が高齢のため、経過観察が必要。【災害公営住宅】
- 孫と 2 人暮らし、自身高齢であり男孫との生活で家事全般をしている。【移住再建】
- 男性の独居のため、見守りが必要である。【災害公営住宅】
- 父子家庭のため、見守り訪問が必要。【災害公営住宅】
- 母子家庭、18 歳以下の子がいるため。
- 娘が介護サービスを利用しながら母を在宅介護しているので、娘と母の両方の見守りが必要である。【災害公営住宅】

(2) 病気に関すること(796 件)

- がん治療中。体が弱く、肺炎、脊椎管狭窄症でリハビリしている。【修繕再建】
- ストーマ使用。【災害公営住宅】
- パーキンソン、糖尿（インスリン1日2回）。【住宅被災無し】
- ひとりで自立した生活を営んでいるが、明らかに助けが必要な状態であっても我慢してしまうことがある。【みなし仮設住宅】
- ペースメーカー使用の障がい者手帳1級。安定剤服用しているなど体調面を見守る必要がある。【災害公営住宅】
- 胃がん、脳出血、心筋梗塞、心不全、不整脈、肺炎、カリエス。安楽死を考えたりする。【災害公営住宅】
- 奥様すごく腰が曲がっており、杖をつきながらやっと歩いている。自立のギリギリのラインで生活している。【災害公営住宅】
- 幻覚、幻聴などの症状があり安定剤を出されている。【災害公営住宅】
- 視力障害による障害者年金の相談が包括にある。相談員は現在不定期で訪問している。【応急仮設住宅】
- 持病が多いため、見守り必要。【災害公営住宅】
- 自律神経失調症により今後も経過をみていく。【災害公営住宅】
- 主がアルツハイマー、徘徊あり（夜間）。介護認定申請をしていない。【災害公営住宅】
- 障がいにより車イスで生活を送っている。【災害公営住宅】
- 息子、アルコール依存で入院していた。金銭管理に問題がある。行政と保健師も関わっている。【応急仮設住宅】
- 難病疾患患者独居のため定期的な見守りが必要である。【災害公営住宅】
- 認知症で高齢独居であり他機関と共有する必要がある。【住宅被災無し】
- 脳梗塞の後遺症により、公的な書類の仕分け等が困難になったため、包括より訪問依頼有り。【住宅被災無し】
- 本人に視覚障害（1級）があり、行政情報手続にサポートが必要。夫はうつ症状やパニック障害があることから、夫によるサポートが難しいときもあるため、継続した見守り支援を要する。【移住再建】
- 本人パーキンソン病、夫婦ともに不眠有り、心療内科通院している。【移住再建】
- 末期の胆管ガンで余命宣告を受けている。体調も悪く、介護している奥さんが大変。年金もかけてなく無収入。【災害公営住宅】

(3) アセスメントできない要因に関すること(616 件)

- 1年以上面談ができていない。【応急仮設住宅】
- インターホン越しの面談のため引き続き経過の観察が必要。【災害公営住宅】
- お会いしたことがないため、詳細・状況不明である。【応急仮設住宅】
- ご夫婦高齢者であり夫はペースメーカー使用。訪問をしたいが本人より要らないと話された。【災害公営住宅】
- シート不明。確認するまで全戸対象。【応急仮設住宅】

- シート不明。情報不足。目的外の可能性もある。仮設退去確認後処理する。【応急仮設住宅】
- ポスティングのみ希望。【災害公営住宅】
- ポスティング対応。住宅再建の目途が立っていないため、仮住まい。【みなし仮設住宅】
- 意志確認ができるまで訪問。【災害公営住宅】
- 一人暮らしで働いているため留守が多いが訪問をして下さいと言われてる。【災害公営住宅】
- 一度も面会でできていないが、避難生活にかかる調査で「不安を感じていない。」との返答あり。「支援度0」【その他】
- 居留守のため面会できない。【応急仮設住宅】
- 懸案世帯のため、訪問が必要。【応急仮設住宅】
- 自立による訪問不要世帯。店舗兼自宅を建設、住宅ローン・教育資金が心配される。【移住再建】
- 周りからの情報から孤立状態にないため。【移住再建】
- 就労していて面談できないこともあるが高齢者であり、再建先が不明なため見守りが必要。【応急仮設住宅】
- 母子家庭で仕事をしていて会う機会が少ない。【災害公営住宅】
- 訪問はしていないが、おげんき発信で見守り対応しているため。【災害公営住宅】
- 訪問拒否世帯。当センターへの拒否感有り。【移住再建】
- 本人から訪問不要の申出あり。【災害公営住宅】

(4) 居住形態に関すること(550 件)

- 3月に災害町営住宅に入居決定。入居後仕事に就くとのこと。【応急仮設住宅】
- 6年経っても修繕ができていない。家族も離ればなれ。【修繕再建】
- H30.3月再建予定であり新たな関係づくりが心配である。【応急仮設住宅】
- H30年10月に大槌町の災害公営に入居予定。転居に関する支援の案内が必要。【みなし仮設住宅】
- みなし終了後の住まいについての支援。【みなし仮設住宅】
- ようやく災害公営住宅へ申込みができた。【応急仮設住宅】
- 移住再建が遅れているため、訪問が必要。【応急仮設住宅】
- 移住再建したが、経済的及び周囲との関わり的に問題を抱え、転居も考えている。体調面、精神面の不安も大きい。定期的に関与し、経過観察する必要がある。【移住再建】
- 移住先に住宅再建地として進行中で近隣も少ないため、数か月に一度の声掛け。【移住再建】
- 飲食店を営んでいる。土地のかさ上げ工事が進まず、再建できず、内陸と沿岸を行き来しており、行政文書の確認、理解ができない場合あり、都度々の確認要する。【みなし仮設住宅】
- 区画整理で高台に再建予定。【災害公営住宅】
- 県外に中古物件購入済だが、元地区での再建も考えている。【応急仮設住宅】
- 現在入院中、退院後の住まい。住宅支援が必要。【みなし仮設住宅】
- 公営住宅入居しており、今後も経過観察が必要である。【災害公営住宅】

- 再建先が二転三転している。同居している息子と再建について話し合えているのか不明。配食サービス利用している。【応急仮設住宅】
- 妻子は仙台で生活。再建の件で関係機関ともにすり合わせ中。【応急仮設住宅】
- 災害公営に決まっているにもかかわらず、仮設から退去していない現状である。高齢者のひとり暮らしであることから見守りが必要である。【災害公営住宅】
- 施設入所のため、住所のみ仮設においている。【応急仮設住宅】
- 集合復興住宅へ入居予定。【応急仮設住宅】
- 住宅再建に向けて、引き続き経過観察が必要である。新築したばかりの自宅が被災している。【応急仮設住宅】
- 内陸に自力再建済との情報あり。要確認。【応急仮設住宅】
- 復興事業のため仮設生活を余儀なくされているので、転居まで定期的に気に掛ける必要あり。【応急仮設住宅】
- 防集に移転予定だがいまだ移転せず。【修繕再建】
- 民間賃貸を希望している。具体的ではない。【みなし仮設住宅】

(5) 引き続き経過観察、意思確認がとれるまで訪問など(431 件)

- 引き続き経過の観察をしていく。【災害公営住宅】
- 引き続き面会を重ねる。【応急仮設住宅】
- 仮設から転居するまで、経過観察が必要である。【応急仮設住宅】
- 家族の情報が少ない。再建先も分からない。訪問継続する。【応急仮設住宅】
- 区画整理のため仮設入居、高齢者のいる世帯。情報が少ない。【応急仮設住宅】
- 元地区に自立再建。再建まで見守り。【応急仮設住宅】
- 今後が見えていない方。訪問しながらお聞きしていく。【応急仮設住宅】
- 再建まで見守り。【応急仮設住宅】
- 最近の情報が少ないため経過観察とする。【応急仮設住宅】
- 災害公営住宅入居しているため、今後も経過観察を要する。【災害公営住宅】
- 若い世帯だが、子供さんがまだ小さいので見守り必要。【応急仮設住宅】
- 震災で家族が死亡。立ち直ってきている世帯ではあるが、今後も見守りが必要。【応急仮設住宅】
- 世帯状況が分かりづらい。経過観察要。【応急仮設住宅】
- 世帯全員が 65 才以上。本人希望により、定期的訪問を行っている。【移住再建】
- 地元の方ではないため、見守り必要。【災害公営住宅】
- 定期的な関与は不要だが、経過の観察が必要。【災害公営住宅】
- 日中自宅に高齢者一人のため訪問継続が望ましい。【応急仮設住宅】
- 母子家庭の為、定期的な訪問が必要である。【災害公営住宅】
- 本人の意思の確認がとれるまで訪問。【災害公営住宅】
- 夜間の仕事をしており、体調を崩された時期もあったため、経過観察を行う。【災害公営住宅】
- 郵便物があふれている。現状確認必要。【応急仮設住宅】

(6) 感情に関すること(324 件)

- 1 日 2 回の電話がかかってくる。孤独感が強い。【災害公営住宅】
- 24 時間介護が必要な親族がおり、肉体的・精神的な面でも負担になっている。ストレスにより健康面が不安。【みなし仮設住宅】
- アルコール摂取の経過の観察は必要。【移住再建】
- この頃、被害妄想を話すようになってきた。【災害公営住宅】
- ストレスを感じやすく、抱え込むタイプで体調を崩しやすい。【応急仮設住宅】
- 家族それぞれがストレスを抱えていて、肉体的・精神的な不安要素があり、継続的見守りが必要。【その他】
- 原発事故によるふるさとの喪失、家はあるのになかなか戻れない。戻る戻らないの家族・親族内での意見の違いによるストレスは、かなりのものがある。【みなし仮設住宅】
- 高齢者の一人暮らし、住環境の変化にストレスを感じている。同じ事を繰り返し話す。【災害公営住宅】
- 高齢住居、体調とメンタルが不安定であり、継続的な見守りを要する。【災害公営住宅】
- 再建に向けたメンタル面に対しての傾聴。【応急仮設住宅】
- 妻と子どもが震災による PTSD の症状を訴えているが、妻は医療機関にかかっていない。【みなし仮設住宅】
- 妻の介護疲れがみられるため、経過観察を行う。【災害公営住宅】
- 妻は震災によるストレスが大きく、その影響で気持ちに波がある。自宅再建は済み、訪問に拒否的な対応のときもあるが、今後も定期的に関わった方がよい。【移住再建】
- 社協に対しての不満あり (H28.9 月)。町内に娘世帯が住んでいる。【応急仮設住宅】
- 心身ともに注意。行政に対する不満・不信感有り、行政手続き、やりとりに不安が残る。クレーマー気味のところも有り。【みなし仮設住宅】
- 親族からの援助は厳しい状態。母子 3 人世帯。福島県からの避難者という事で不快な思いをしてきたことへの不満。行政への不満を話され、傾聴が必要と思われる。訪問不要世帯のため、生活状況が分からない。電話のみ対応。【その他】
- 生活支援相談員に対して攻撃的な一面もあるので定期的に気に掛ける必要がある。【災害公営住宅】
- 独居、不眠、覇気がない状況で定期的に気に掛ける必要がある。【応急仮設住宅】
- 亡夫の両親が住む沿岸か県央部の実家か、住まいを決められない。息子の学校のこともあって悩んでいる。震災のことは両親にも話しづらい。内陸の人との温度差を感じている。【その他】
- 隣人からの情報で、風除室からも入室されないように錠がかかっているが、部屋に引きこもっており壁を叩いたり、昼夜逆転しているとのこと。定期的訪問と関係機関と情報共有が必要である。【応急仮設住宅】

(7) お金・就労に関すること(252 件)

- みなし仮設終了後の住宅支援。今後の住宅ローンの返済が心配される。【みなし仮設住宅】
- 金銭的な不安を訴え、貸付等の相談がある。【災害公営住宅】
- 現在は無職。仕事について悩みがあると相談を受けた。精神障害。【災害公営住宅】
- 仕事が（収入も）不安定で将来に不安を感じている。【災害公営住宅】

- 住宅ローン、子ども2人の教育資金が重なり、心配される。【移住再建】
- 震災前のローンと、現自宅のローンの二重ローン。私的ガイドラインかFPにつなげる事の検討を要する必要がある。【移住再建】
- 生活困窮し、社協から借入れあり。その返済が滞っているため、家計管理と借入返済支援が必要。【その他】
- 生活費についての不安がある。【応急仮設住宅】
- 多重債務を告白しており、弁護士・消費者センターにつなげたが、解決したか未確認。相談員を避けている。【みなし仮設住宅】
- 本人から働きたいとの希望有り。シルバー・生協たすけあい等、案内しているが就労につなげていない。本人年金、妻の給与で生活している。FP相談も受けている。【移住再建】

(8) 周囲との交流に関すること(207 件)

- アルコール摂取が適切でなく、警察とトラブルを起こしている。【応急仮設住宅】
- イベント等での避難者間交流を希望。【移住再建】
- サロンへの参加が多いが、夫婦が高齢であるため経過観察を要する。【応急仮設住宅】
- ひきこもり。【応急仮設住宅】
- 以前、近隣トラブルがあり、経過観察が必要。【応急仮設住宅】
- 仮設内でのトラブルがあり、近隣関係が心配。【応急仮設住宅】
- 近隣の住民に不満がある。【災害公営住宅】
- 市外から入居され、家族も遠隔地にいるため、近隣に知り合いがいない。【災害公営住宅】
- 息子のひきこもりがあるため、今後も経過観察していく。【移住再建】
- 日中独居であるが、本人の社会的なつながりがない。見守り・声掛け等を行っていく。【その他】

(9) 公的サービスに関すること(206 件)

- 要介護。【移住再建】
- お元気見守りシステム利用しているため定期的に訪問。【住宅被災無し】
- ケースワーカー、就労移行支援につながっている。当センターのイベントにも参加。人間関係の不満を抱えており、来館時は傾聴などの対応必要な為。金銭管理に注意必要。【みなし仮設住宅】
- スクールソーシャルワーカー、こども課の関わりあり。再建確認。【応急仮設住宅】
- ヘルパー、デイサービス利用。高齢者独居。見守り必要と思われる。【応急仮設住宅】
- 移送サービス利用。
- 飲酒のため保健師が入っている。【災害公営住宅】
- 介護サービスを利用しているが、サービス利用外での見守りを要する。【災害公営住宅】
- 共生財団が関わっている。【応急仮設住宅】
- 健康推進班が関わっているが心配。【住宅被災無し】

- 権利擁護が関わっているため情報共有している。【災害公営住宅】
- 高齢者の一人暮らしだが、シルバーサポーターが週一回訪問している。【住宅被災無し】
- 生活福祉資金貸付担当による支援があり不定期とした。【移住再建】
- 生活保護、民生委員の見守りあり。まごころ宅配便利用。
- 配食サービスを利用。定期的な経過観察が必要。【災害公営住宅】

(10) 精神疾患に関すること(100 件)

- 40 代男性独居。不安障害、パニック障害の既往があるため。【災害公営住宅】
- アルコール依存の疑いがあるので経過の観察が必要。【移住再建】
- うつで病院に定期受診している。【移住再建】
- 妻は統合失調症。衣服の汚れや家の乱雑さが気になる。
- 子どもたちが発達障害と思われるため、定期的に訪問が必要。【応急仮設住宅】
- 精神科通院。定期的に傾聴希望している。【住宅被災無し】
- 知的障がいあり。経過観察要。【災害公営住宅】
- 統合失調症で入退院を繰り返している。母親も精神不安定。【災害公営住宅】
- 本人はうつ病、娘は発達障害有り。本人はいろいろな相談機関へ相談するが、全て不信を抱き、現在は拒否状態である。【みなし仮設住宅】

(11) 本人情報(職業や立場など)(61 件)

- 市役所職員。再建まで見守り。【応急仮設住宅】
- 自営業。再建まで見守り。【応急仮設住宅】
- 自治会長を務めており、仮設内の情報共有を行うため。【応急仮設住宅】
- 社協職員。【応急仮設住宅】
- 出稼ぎ。【応急仮設住宅】
- 世帯主。市役所職員。【応急仮設住宅】
- 役場勤務。仮設入居の間は見守りを行う。【応急仮設住宅】
- 町議会議員。震災時町外に居たため公営住宅に入居できず再建先不明。【応急仮設住宅】
- 美容師の仕事をしているが、仮設店舗である。その後の経過観察が必要。【災害公営住宅】
- 民生委員職をしているが、高齢独居のため。【災害公営住宅】
- 旅館自営。社会的つながり、家族関係のつながりあり。【応急仮設住宅】

(12) 情報不足(48 件)

- 不明なことが多いことから情報が必要である。【災害公営住宅】
- 面談できてはいるが、情報が少ない。【応急仮設住宅】

- 面談少なく情報が少ない。【災害公営住宅】
- 両親は再建先に住んでいて、娘だけが仮設に住んでいるが不在が多く情報が少ない。【応急仮設住宅】

(13) 行政の判断に従った事案(1,164 件)

- 市との協定による支援度ランク。【災害公営住宅】
- 保健師と繋がり、再建は行政主導で関わり。【応急仮設住宅】
- 母親と娘に不安要素あり。専門機関も関与しているため未訪問。【移住再建】
- 包括が訪問行っているので相談員訪問は不要。【住宅被災無し】
- 民生委員から定期訪問依頼を受ける。【住宅被災無し】

(14) その他(81 件)

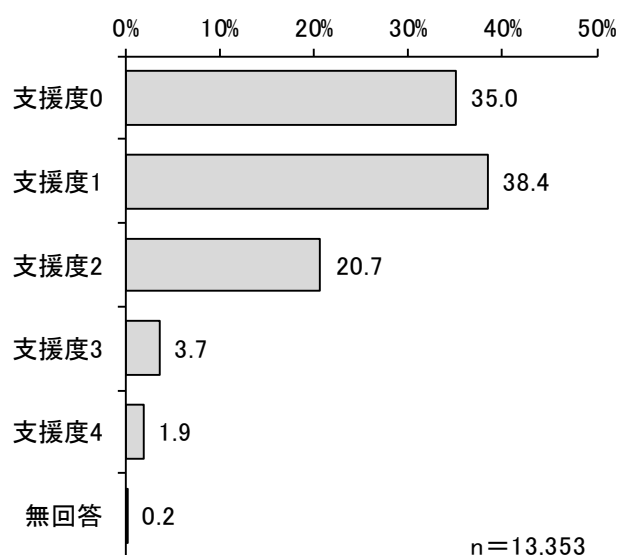
- サービス利用が始まっていないので、引き続き訪問。
- 以前の訪問担当が対応の際、家の中が汚く乱雑だった報告を受けている。【災害公営住宅】
- 見守り希望のため。【移住再建】
- 行方不明になったことがある。【修繕再建】
- 高齢者夫婦。夫の車の運転も不安。定期的に訪問する。【災害公営住宅】
- 対象外だが会議等よく上ってくる。【住宅被災無し】
- 同居の娘の体調は落ち着いているが、本人は度々民生委員から気になるケースとして共有される。【住宅被災無し】
- 日本語の読み書き、会話に不安。様々な書類作成困難、生活費・就労不安、社会とのつながりがほとんどないなど困難多い。他機関と連携し継続支援が必要。【災害公営住宅】
- 母子家庭で養育面の問題があり、支援機関と情報共有する必要がある。【応急仮設住宅】
- 目的外。詳細が不明である。【応急仮設住宅】

3 総合的な支援度判断

総合的な支援度判断(原則:A~E の各支援度判断で一番高い支援度を記入)

※他機関との連携・調整結果に基づき支援度が下がる場合有

- ・ “総合的な支援度判断”は「支援度 0」35.0%、「支援度 1」38.4%、「支援度 2」20.7%、「支援度 3」3.7%、「支援度 4」1.9%である。
- ・ 総合的な支援度判断別に世帯員の状況をみると、“総合支援度 3 (491 世帯)” “総合支援度 4 (260 世帯)” において、日常生活の心身と健康の項目は、「網掛けあり (マイナス回答)」の割合が他の総合支援度に比べて高くなっている。
- ・ また、近隣住民との関わりのない割合、1~2 週間に通い先(勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等)がない割合も高くなっている。(第 3 章総括表 85 ~87 ページ)

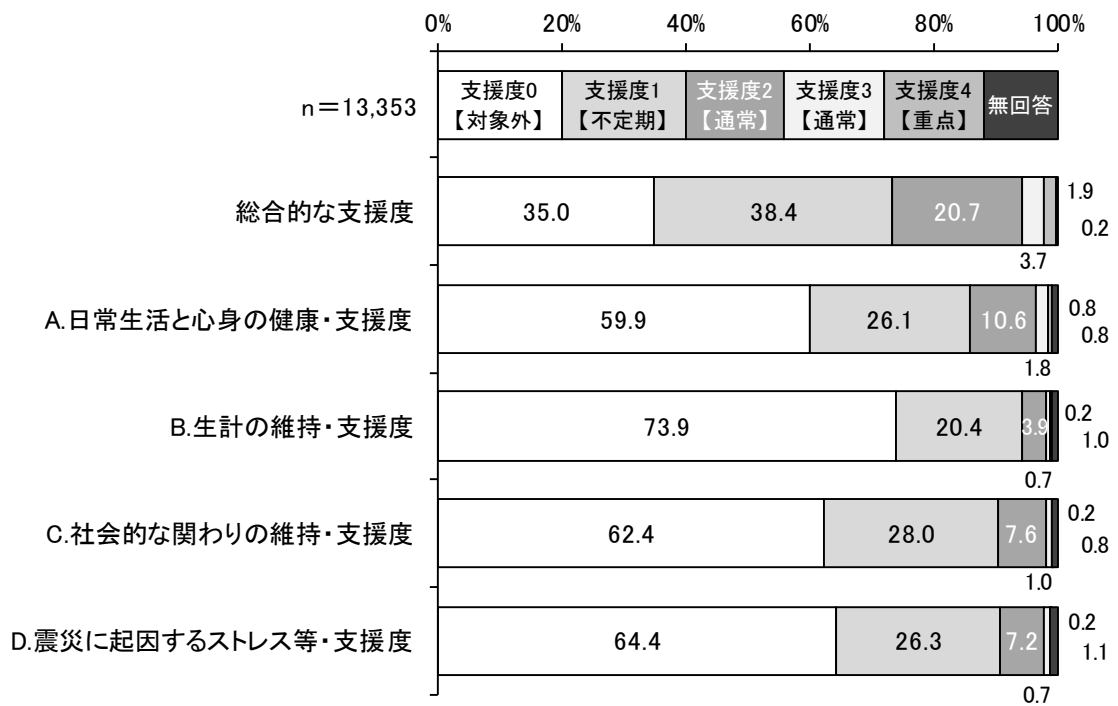


図表 48 総合的な支援度判断【見守り区分】(単数回答)

※総合的な支援度判断は原則として、A~E のカテゴリの支援度で一番高い支援度を記入している。

※ただし、生活支援相談員が判断した各カテゴリの支援度が高くても、他機関との連携・調整結果に基づき支援度を低く設定するケースなど、社協単体での判断とは異なる場合は、他機関との連携・調整の理由を「E」自由記述欄に記載し、「E」の支援度判断を調整結果と同等に設定した上で、「総合的な支援度判断」には「E」と同じ支援度を記入している。

図表 49 A～Eの支援度判断のまとめ【見守り区分】(単数回答)



- ・ A～Dの項目別にみると、「支援度0【対象外】」は6～7割、支援の必要な世帯（支援度1～支援度4）は3～4割となっている。
- ・ 一方、総合的な支援度は、「支援度0【対象外】」35.0%にとどまり、支援の必要な世帯（支援度1～支援度4）は64.7%となっている。

(1) 支援度(世帯構成別)

図表 50 A. 日常生活と心身の健康・支援度／世帯構成別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	59.9	26.1	10.6	1.8	0.8	0.8	12.4
世帯	複数	8,446	64.8	24.0	8.8	1.4	0.4	0.5	10.2
	単身	4,648	50.6	30.1	14.1	2.7	1.6	0.9	16.8
複数の 場合	高齢者(65歳以上)のみ	1,805	59.5	26.7	11.2	1.9	0.6	0.2	13.1
	ひとり親(18歳未満の子がいる)	244	48.0	40.6	7.8	1.2	0.4	2.0	9.0
	高齢(65歳以上)の親とその単身の子ども	1,458	54.0	27.8	14.4	2.5	0.8	0.4	16.9
	核家族(上記以外の夫婦や親子のみ)	2,709	71.0	21.8	5.5	0.7	0.2	0.8	6.2
	どれにもあてはまらない	2,019	71.3	19.5	7.3	1.1	0.3	0.4	8.4

図表 51 B. 生計の維持・支援度／世帯構成別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	73.9	20.4	3.9	0.7	0.2	1.0	4.6
世帯	複数	8,446	78.9	16.7	3.1	0.4	0.1	0.7	3.5
	単身	4,648	64.8	27.2	5.6	1.1	0.3	1.1	6.7
複数の 場合	高齢者(65歳以上)のみ	1,805	75.1	22.2	2.0	0.2	0.1	0.3	2.2
	ひとり親(18歳未満の子がいる)	244	53.7	34.8	6.6	1.2	0.8	2.9	7.8
	高齢(65歳以上)の親とその単身の子ども	1,458	73.2	20.1	5.2	0.8	0.3	0.5	6.0
	核家族(上記以外の夫婦や親子のみ)	2,709	81.4	14.2	3.1	0.3	0.0	1.0	3.4
	どれにもあてはまらない	2,019	86.6	10.2	2.1	0.5	0.1	0.5	2.6

図表 52 C. 社会的な関わりの維持・支援度／世帯構成別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	62.4	28.0	7.6	1.0	0.2	0.8	8.6
世帯	複数	8,446	67.4	25.2	6.1	0.7	0.1	0.6	6.8
	単身	4,648	53.1	33.3	10.7	1.6	0.4	0.9	12.3
複数の 場合	高齢者(65歳以上)のみ	1,805	63.7	27.4	7.8	0.8	0.0	0.2	8.6
	ひとり親(18歳未満の子がいる)	244	47.1	44.3	5.3	1.2	0.0	2.0	6.5
	高齢(65歳以上)の親とその単身の子ども	1,458	59.5	28.4	10.3	1.2	0.3	0.4	11.5
	核家族(上記以外の夫婦や親子のみ)	2,709	69.8	24.4	4.5	0.2	0.0	1.0	4.7
	どれにもあてはまらない	2,019	75.5	19.5	4.0	0.6	0.0	0.3	4.6

図表 53 D. 震災に起因するストレス等・支援度／世帯構成別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	64.4	26.3	7.2	0.7	0.2	1.1	7.9
世帯	複数	8,446	67.9	23.7	6.7	0.6	0.1	0.9	7.3
	単身	4,648	57.7	31.3	8.4	1.0	0.4	1.2	9.4
複数の 場合	高齢者(65歳以上)のみ	1,805	66.0	25.9	6.9	0.5	0.2	0.6	7.4
	ひとり親(18歳未満の子がいる)	244	45.1	44.3	7.0	1.2	0.0	2.5	8.2
	高齢(65歳以上)の親とその単身の子ども	1,458	61.0	28.9	8.4	0.8	0.2	0.7	9.2
	核家族(上記以外の夫婦や親子のみ)	2,709	68.7	22.4	7.1	0.6	0.0	1.3	7.7
	どれにもあてはまらない	2,019	76.0	17.4	5.1	0.6	0.2	0.6	5.7

図表 54 E. 調整により支援が必要な理由・支援度／世帯構成別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	25.8	23.1	11.9	2.7	1.5	35.0	14.6
世帯	複数	8,446	29.9	22.0	10.2	2.0	0.9	35.0	12.2
	単身	4,648	17.4	25.3	15.2	4.1	2.5	35.4	19.3
複数の 場合	高齢者(65歳以上)のみ	1,805	26.3	21.6	15.6	2.7	1.6	32.3	18.3
	ひとり親(18歳未満の子がいる)	244	12.3	25.4	7.4	0.8	1.2	52.9	8.2
	高齢(65歳以上)の親とその単身の子ども	1,458	24.1	22.6	12.6	3.6	1.5	35.6	16.2
	核家族(上記以外の夫婦や親子のみ)	2,709	29.5	26.8	7.3	0.9	0.3	35.1	8.2
	どれにもあてはまらない	2,019	39.0	15.5	8.3	1.8	0.8	34.5	10.1

図表 55 総合支援度／世帯構成別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	35.0	38.4	20.7	3.7	1.9	0.2	24.4
世帯	複数	8,446	41.3	36.6	18.1	2.7	1.2	0.1	20.8
	単身	4,648	22.7	41.8	26.1	5.6	3.4	0.3	31.7
複数の 場合	高齢者(65歳以上)のみ	1,805	34.5	34.8	25.4	3.3	1.8	0.1	28.7
	ひとり親(18歳未満の子がいる)	244	20.9	60.2	15.6	2.0	1.2	0.0	17.6
	高齢(65歳以上)の親とその単身の子ども	1,458	31.8	37.2	23.8	4.9	2.1	0.1	28.7
	核家族(上記以外の夫婦や親子のみ)	2,709	43.0	41.4	13.7	1.4	0.3	0.2	15.1
	どれにもあてはまらない	2,019	53.6	28.7	14.3	2.4	1.0	0.0	16.7

(2) 支援度(単身世帯年齢別)

図表 55 A. 日常生活と心身の健康・支援度／単身世帯年齢別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	59.9	26.1	10.6	1.8	0.8	0.8	12.4
単身 の 場 合 ・ 年 齢	20 歳代以下	66	65.2	24.2	4.5	4.5	1.5	0.0	9.0
	30 歳代	180	57.2	31.1	9.4	1.1	0.6	0.6	10.5
	40 歳代	302	56.6	28.8	9.9	2.6	1.3	0.7	12.5
	50 歳代	519	55.9	30.8	9.4	2.7	0.4	0.8	12.1
	60 歳代	933	50.4	32.7	13.6	1.9	1.2	0.2	15.5
	70 歳代	1,049	47.1	31.7	15.9	3.1	1.2	0.9	19.0
	80 歳代	1,013	42.9	28.5	21.3	3.8	3.0	0.5	15.1
	90 歳代以上	149	40.9	24.2	22.8	4.7	6.0	1.3	27.5

図表 57 B. 生計の維持・支援度／単身世帯年齢別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	73.9	20.4	3.9	0.7	0.2	1.0	4.6
単身 の 場 合 ・ 年 齢	20 歳代以下	66	68.2	15.2	10.6	6.1	0.0	0.0	16.7
	30 歳代	180	65.6	26.1	6.7	0.6	0.6	0.6	7.3
	40 歳代	302	65.2	24.2	7.0	2.0	0.7	1.0	9.0
	50 歳代	519	65.1	26.4	6.0	1.3	0.4	0.8	7.3
	60 歳代	933	62.6	28.6	6.4	1.4	0.5	0.4	7.8
	70 歳代	1,049	63.3	29.3	5.6	0.9	0.0	1.0	6.5
	80 歳代	1,013	66.2	27.3	4.7	0.8	0.2	0.7	5.5
	90 歳代以上	149	58.4	31.5	6.0	1.3	0.0	2.7	7.3

図表 56 C. 社会的な関わりの維持・支援度／単身世帯年齢別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	62.4	28.0	7.6	1.0	0.2	0.8	8.6
単身 の 場 合 ・ 年 齢	20 歳代以下	66	54.5	27.3	13.6	4.5	0.0	0.0	18.1
	30 歳代	180	54.4	32.8	10.6	1.7	0.0	0.6	12.3
	40 歳代	302	52.3	35.1	10.9	1.0	0.3	0.3	11.9
	50 歳代	519	53.0	34.7	8.9	2.3	0.2	1.0	11.2
	60 歳代	933	50.4	36.8	10.8	1.3	0.4	0.3	12.1
	70 歳代	1,049	50.6	34.2	12.2	1.5	0.5	1.0	13.7
	80 歳代	1,013	54.5	31.6	10.7	2.2	0.6	0.5	12.9
	90 歳代以上	149	47.0	30.2	20.1	0.7	0.7	1.3	20.8

図表 57 D. 震災に起因するストレス等・支援度／単身世帯年齢別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	64.4	26.3	7.2	0.7	0.2	1.1	7.9
単身 の 場 合 ・ 年 齢	20 歳代以下	66	57.6	30.3	12.1	0.0	0.0	0.0	12.1
	30 歳代	180	51.1	32.8	13.3	1.7	0.0	1.1	15.0
	40 歳代	302	55.0	32.1	9.9	1.3	0.7	1.0	11.2
	50 歳代	519	54.5	34.3	8.7	1.2	0.4	1.0	9.9
	60 歳代	933	57.0	31.9	9.3	1.0	0.3	0.4	10.3
	70 歳代	1,049	55.9	32.5	8.9	1.0	0.5	1.2	8.9
	80 歳代	1,013	59.4	30.7	7.8	0.9	0.5	0.7	8.7
	90 歳代以上	149	61.1	26.2	8.7	0.7	2.0	1.3	9.4

図表 58 E. 調整により支援が必要な理由・支援度／単身世帯年齢別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	25.8	23.1	11.9	2.7	1.5	35.0	14.6
単身 の 場 合 ・ 年 齢	20 歳代以下	66	12.1	30.3	12.1	7.6	1.5	36.4	19.7
	30 歳代	180	10.6	30.6	11.7	2.8	0.0	44.4	14.5
	40 歳代	302	12.3	36.8	11.3	1.0	2.0	36.8	12.3
	50 歳代	519	16.4	28.7	8.9	2.7	1.3	42.0	11.6
	60 歳代	933	16.7	29.3	13.0	2.8	1.7	36.5	15.8
	70 歳代	1,049	15.1	23.7	18.5	4.5	3.0	35.3	23.0
	80 歳代	1,013	13.5	19.5	22.2	7.2	4.3	33.2	29.4
	90 歳代以上	149	24.8	14.1	18.8	6.7	6.0	29.5	25.5

図表 59 総合支援度／単身世帯年齢別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	35.0	38.4	20.7	3.7	1.9	0.2	24.4
単身 の 場 合 ・ 年 齢	20 歳代以下	66	25.8	51.5	12.1	7.6	3.0	0.0	19.7
	30 歳代	180	20.6	51.7	22.2	4.4	0.6	0.6	26.6
	40 歳代	302	19.5	53.0	22.5	2.0	2.6	0.3	24.5
	50 歳代	519	25.0	51.6	17.5	3.9	1.7	0.2	21.4
	60 歳代	933	21.5	47.5	24.5	4.2	2.1	0.1	28.7
	70 歳代	1,049	18.8	40.7	30.0	6.3	3.8	0.4	36.3
	80 歳代	1,013	18.3	29.9	36.3	9.2	6.1	0.2	45.5
	90 歳代以上	149	29.5	20.8	30.9	9.4	9.4	0.0	40.3

(3) 支援度(住まい別)

図表 60 A. 日常生活と心身の健康・支援度／住まい別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	59.9	26.1	10.6	1.8	0.8	0.8	12.4
住 ま い	応急仮設住宅	2,199	53.3	29.8	13.9	2.2	0.5	0.2	16.1
	みなし仮設住宅	637	60.3	23.7	11.9	3.1	0.3	0.6	15.0
	災害公営住宅	4,336	47.5	34.2	13.3	2.2	1.3	1.5	15.5
	修繕再建	1,595	81.1	12.3	4.0	1.3	0.6	0.7	5.3
	移住再建	2,917	71.6	20.8	6.2	0.7	0.3	0.3	6.9
	住宅被災無し	928	55.3	26.0	13.7	2.8	1.4	0.9	16.5
	その他	476	66.0	17.4	13.0	2.3	1.1	0.2	15.3

図表 61 B. 生計の維持・支援度／住まい別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	73.9	20.4	3.9	0.7	0.2	1.0	4.6
住 ま い	応急仮設住宅	2,199	68.4	24.4	6.0	0.8	0.0	0.4	6.8
	みなし仮設住宅	637	70.0	16.8	9.7	2.4	0.6	0.5	12.1
	災害公営住宅	4,336	59.0	33.6	4.6	0.8	0.3	1.7	5.4
	修繕再建	1,595	93.4	5.0	0.4	0.3	0.0	0.9	0.7
	移住再建	2,917	88.5	9.4	1.5	0.2	0.0	0.3	1.7
	住宅被災無し	928	75.3	19.1	3.9	0.5	0.2	1.0	4.4
	その他	476	77.5	11.6	9.2	1.3	0.2	0.2	10.5

図表 62 C. 社会的な関わりの維持・支援度／住まい別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	62.4	28.0	7.6	1.0	0.2	0.8	8.6
住 ま い	応急仮設住宅	2,199	53.0	33.4	11.9	1.0	0.2	0.5	12.9
	みなし仮設住宅	637	58.1	30.1	8.9	2.0	0.2	0.6	10.9
	災害公営住宅	4,336	49.6	37.7	9.6	1.4	0.2	1.5	11.0
	修繕再建	1,595	87.6	8.7	2.6	0.2	0.1	0.7	2.8
	移住再建	2,917	75.9	20.2	3.1	0.6	0.0	0.2	3.7
	住宅被災無し	928	60.8	26.7	10.1	1.1	0.5	0.8	11.2
	その他	476	62.6	25.2	10.5	1.1	0.2	0.4	11.6

図表 63 D. 震災に起因するストレス等・支援度／住まい別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	64.4	26.3	7.2	0.7	0.2	1.1	7.9
住 ま い	応急仮設住宅	2,199	49.3	32.9	16.3	0.9	0.1	0.6	49.2
	みなし仮設住宅	637	53.7	27.9	13.5	3.6	0.5	0.8	41.4
	災害公営住宅	4,336	52.2	38.1	6.8	0.6	0.4	1.9	44.9
	修繕再建	1,595	88.3	9.3	1.5	0.1	0.0	0.7	10.8
	移住再建	2,917	77.6	17.1	3.8	0.7	0.2	0.5	20.9
	住宅被災無し	928	80.7	15.9	2.0	0.0	0.1	1.2	17.9
	その他	476	60.7	23.3	12.6	1.9	0.4	1.1	35.9

図表 64 E. 調整により支援が必要な理由・支援度／住まい別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	25.8	23.1	11.9	2.7	1.5	35.0	14.6
住 ま い	応急仮設住宅	2,199	11.5	39.4	14.9	2.4	1.0	30.8	17.3
	みなし仮設住宅	637	12.1	27.8	13.5	3.6	0.8	42.2	17.1
	災害公営住宅	4,336	5.7	33.1	14.1	4.2	2.6	40.2	18.3
	修繕再建	1,595	58.1	4.5	5.3	0.9	0.9	30.3	6.2
	移住再建	2,917	46.0	9.6	7.9	1.1	0.6	34.8	9.0
	住宅被災無し	928	45.5	11.4	16.1	3.3	1.8	21.9	19.4
	その他	476	19.7	18.9	11.6	4.2	1.3	44.3	15.8

図表 65 総合支援度／住まい別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	35.0	38.4	20.7	3.7	1.9	0.2	24.7
住 ま い	応急仮設住宅	2,199	14.8	51.9	28.3	3.7	1.2	0.0	32.0
	みなし仮設住宅	637	17.1	47.1	28.9	5.7	1.3	0.0	34.6
	災害公営住宅	4,336	10.0	56.1	24.7	5.4	3.2	0.5	30.1
	修繕再建	1,595	77.5	11.5	8.5	1.1	1.1	0.3	9.6
	移住再建	2,917	62.9	21.6	12.9	1.6	1.0	0.0	14.5
	住宅被災無し	928	49.1	19.9	23.5	4.4	2.9	0.1	27.9
	その他	476	36.1	35.3	21.6	5.3	1.7	0.0	26.9

(4) 支援度(地域別)

図表 66 A. 日常生活と心身の健康・支援度／地域別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	59.9	26.1	10.6	1.8	0.8	0.8	12.4
地 域	沿岸北部	1,028	77.2	15.3	5.1	1.4	0.1	1.0	6.5
	沿岸南部	11,016	57.8	28.1	10.6	1.8	0.9	0.9	12.4
	内陸	1,309	64.3	17.4	14.8	2.9	0.4	0.2	17.7

図表 67 B. 生計の維持・支援度／地域別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	73.9	20.4	3.9	0.7	0.2	1.0	4.6
地 域	沿岸北部	1,028	92.3	5.3	0.8	0.3	0.1	1.3	1.1
	沿岸南部	11,016	71.7	23.1	3.4	0.6	0.1	1.0	4.0
	内陸	1,309	77.5	9.5	10.7	1.8	0.4	0.2	12.5

図表 68 C. 社会的な関わりの維持・支援度／地域別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	62.4	28.0	7.6	1.0	0.2	0.8	8.6
地域	沿岸北部	1,028	85.2	10.6	2.8	0.3	0.0	1.1	3.1
	沿岸南部	11,016	60.5	29.9	7.7	0.9	0.2	0.9	8.6
	内陸	1,309	60.7	25.8	10.9	2.3	0.1	0.2	13.1

図表 69 D. 震災に起因するストレス等・支援度／地域別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	64.4	26.3	7.2	0.7	0.2	1.1	7.9
地域	沿岸北部	1,028	86.6	10.6	1.4	0.2	0.1	1.2	1.6
	沿岸南部	11,016	62.6	28.6	6.9	0.5	0.2	1.2	7.4
	内陸	1,309	61.7	19.6	14.4	3.2	0.5	0.5	17.6

図表 70 E. 調整により支援が必要な理由・支援度／地域別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	25.8	23.1	11.9	2.7	1.5	35.0	14.6
地域	沿岸北部	1,028	38.5	9.0	5.2	1.2	0.1	46.0	6.4
	沿岸南部	11,016	26.7	24.5	12.2	2.7	1.7	32.2	14.7
	内陸	1,309	7.9	22.8	14.6	4.0	0.8	50.0	18.6

図表 71 総合支援度／地域別

		合計	支援度 0	支援度 1	支援度 2	支援度 3	支援度 4	無回答	支援度 2・3
全 体		13,353	35.0	38.4	20.7	3.7	1.9	0.2	24.4
地域	沿岸北部	1,028	75.5	14.9	7.6	1.7	0.1	0.3	9.3
	沿岸南部	11,016	32.2	40.8	21.0	3.6	2.2	0.3	24.6
	内陸	1,309	27.2	36.6	28.9	6.0	1.4	0.0	34.9

(5) 困窮支援因子

- * 「全世帯数」は縦軸の該当世帯数(母数)。
- * B10～D29 は「全世帯数」に対する割合(%)。
- * 複数回答のため、横軸を足しても100%にはならない。

図表 72 困窮支援因子／世帯構成別

		全世帯数	B10 就労収入「ない」	B11 就労収入以外 「ない」	B12 生活保護等 「ない」	B13 生活費の不安 「ある」	D29 ローン、家賃等の 滞納等「ある」
全 体		13,353	24.5	8.1	28.3	4.4	2.3
世帯	複数	8,446	14.9	8.2	30.0	3.3	2.4
	単身	4,648	42.8	8.4	26.3	6.6	2.2
複数の場合	高齢者(65歳以上)のみ	1,805	43.2	0.8	29.0	2.9	1.4
	ひとり親(18歳未満の子がいる)	244	3.7	22.5	21.7	6.6	1.6
	高齢(65歳以上)の親とその単身の子ども	1,458	14.8	0.7	31.7	4.5	2.7
	核家族(上記以外の夫婦や親子のみ)	2,709	4.0	18.6	28.9	2.8	2.9
	どれにもあてはまらない	2,019	5.8	4.3	32.3	2.8	2.3

- * 「全世帯数」は縦軸の該当世帯数(母数)。
- * B10～D29 は「全世帯数」に対する割合(%)。
- * 複数回答のため、横軸を足しても100%にはならない。

図表 73 困窮支援因子／住まい別

		全世帯数	B10 就労収入「ない」	B11 就労収入以外 「ない」	B12 生活保護等 「ない」	B13 生活費の不安 「ある」	D29 ローン、家賃等の 滞納等「ある」
全 体		13,353	24.5	8.1	28.3	4.4	2.3
住 まい	応急仮設住宅	2,199	18.1	6.9	16.8	2.8	1.8
	みなし仮設住宅	637	22.8	16.5	32.5	8.3	6.0
	災害公営住宅	4,336	31.9	8.8	28.5	5.8	2.4
	修繕再建	1,595	18.3	6.3	27.3	2.2	0.8
	移住再建	2,917	18.3	8.2	34.6	2.5	2.6
	住宅被災無し	928	33.6	2.3	28.3	5.6	0.3
	その他	476	28.8	13.0	38.0	10.5	6.5

図表 74 困窮支援因子／単身世帯年代別

		全世帯数	B10 就労収入「ない」	B11 就労収入以外 「ない」	B12 生活保護等 「ない」	B13 生活費の不安 「ある」	D29 ローン、家賃等の 滞納等「ある」
全 体		13,353	24.5	8.1	28.3	4.4	2.3
単身世帯全体		4,648	42.8	8.4	26.3	6.6	2.2
単 身 の 場 合 ・ 年 齢	20 歳代以下	66	9.1	28.8	18.2	12.1	6.1
	30 歳代	180	6.1	28.3	26.7	6.1	2.2
	40 歳代	302	7.6	25.2	25.5	7.6	3.3
	50 歳代	519	16.8	22.4	23.7	6.6	3.5
	60 歳代	933	31.3	8.6	27.1	7.9	3.3
	70 歳代	1,049	61.5	1.2	31.5	5.7	1.8
	80 歳代	1,013	73.3	1.1	30.4	6.9	0.8
	90 歳代以上	149	71.1	1.3	17.4	8.1	0.7

* 「全世帯数」は縦軸の該当世帯数（母数）。
 * B10～D29 は「全世帯数」に対する割合（％）。
 * 複数回答のため、横軸を足しても 100%にはならない。

図表 75 困窮支援因子／現状の生計別

		全世帯数	B10 就労収入「ない」	B11 就労収入以外 「ない」	B12 生活保護等 「ない」	B13 生活費の不安 「ある」	D29 ローン、家賃等の 滞納等「ある」
全 体		13,353	24.5	8.1	28.3	4.4	2.3
B-10 現状 就労収入	ある	7,076	0.0	13.4	34.0	3.2	2.7
	ない	3,271	100.0	3.6	38.6	9.4	3.2
	不明	2,934	0.0	0.6	3.7	1.6	0.6
B-11 現状 就労以外収入	ある	6,467	43.3	0.0	41.3	6.0	2.9
	ない	1,085	11.0	100.0	67.6	9.0	6.8
	不明	5,725	6.1	0.0	6.4	1.7	0.9
B-12 現状 生活保護等	ある	974	41.5	13.7	0.0	10.7	4.8
	ない	3,777	33.5	19.4	100.0	7.0	4.1
	不明	8,504	18.8	2.5	0.0	2.5	1.3
B-13 現状 生活費の不安等	ある	583	52.5	16.8	45.1	100.0	20.4
	ない	8,681	29.8	10.5	39.7	0.0	1.9
	不明	4,004	9.3	1.8	1.5	0.0	0.5
D-29 現状 ローン等の滞納・ 支払いの不安	ある	310	33.5	23.9	50.0	38.4	100.0
	ない	4,958	38.4	14.3	55.2	5.1	0.0
	不明	7,996	15.7	3.8	10.9	2.6	0.0

* 「全世帯数」は縦軸の該当世帯数（母数）。
 * B10～D29 は「全世帯数」に対する割合（％）。
 * 複数回答のため、横軸を足しても 100%にはならない。

(6) マイナス回答

- * 「全世帯数」は縦軸の該当世帯数(母数)。
- * A1～9 は「全世帯数」に対する割合(%)。
- * 複数回答のため、横軸を足しても100%にはならない。

図表 76 A マイナス回答／C マイナス回答

※総合支援度が1～4の世帯のみ。

	全世帯数	A1 福祉・医療サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与「ない」	A2 日常生活に支障が出るほどのストレス「ある」	A3 清潔感や身だしなみへの配慮「ない」	A4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭「ある」	A5 アルコール摂取の適切さ(量・時間・場所)「ない」	A6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰え「ある」	A7 身体的・精神的理由による引きこもりや閉じこもり「ある」	A8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話しづらい家庭内の悩み「ある」	A9 行政情報の理解や手続き「ない」
全 体	8,642	15.1	11.9	2.6	4.0	1.8	12.7	6.9	10.6	4.8
C-14 近隣との関わりの有無「ない」	782	20.2	26.7	7.7	9.8	5.0	29.2	24.7	21.7	9.5
C-15 通い先の有無「ない」	459	27.7	29.8	10.2	11.8	6.1	34.6	36.4	23.3	13.7
C-16 移動手段の有無「ない」	241	10.0	27.8	7.5	8.7	2.1	31.5	23.7	17.4	29.9
C-17 訪問・交流の有無(友人等)「ない」	319	18.8	33.9	10.3	11.9	6.0	35.7	26.3	29.5	12.5
C-18 訪問・交流の有無(支援者等)「ない」	1,532	34.7	21.8	3.7	4.6	2.8	20.3	13.3	19.8	5.9
C-19 相談相手や相談先の把握の有無「ない」	162	30.9	24.1	11.7	13.0	8.6	28.4	22.8	25.9	11.1
C-20 困った時に助けてくれる人の有無(友人等)「ない」	148	18.9	34.5	10.8	13.5	8.1	33.8	23.6	33.8	12.8
C-21 困った時に助けてくれる人の有無(支援者等)「ない」	736	35.3	25.1	4.1	4.3	3.0	19.2	8.4	17.4	4.6
C-22 行政等への不満・拒否感の有無「ある」	279	15.4	33.7	6.8	10.0	7.2	32.3	18.6	29.0	7.5
C-23 行政等への不信・怒りの有無「ある」	236	14.0	35.6	6.8	10.6	6.8	32.6	14.8	28.8	8.5
C-24 訪問時に面会できる「ない」	1,206	17.9	8.8	2.2	3.2	1.6	6.0	5.6	7.0	2.8

- * 「全世帯数」は縦軸の該当世帯数(母数)。
- * B10～13 は「全世帯数」に対する割合(%)。
- * 複数回答のため、横軸を足しても 100%にはならない。

図表 77 B マイナス回答／C マイナス回答

※総合支援度が 1～4 の世帯のみ。

	全世帯数	B10 就労収入「ない」	B11 就労以外の収入「ない」	B12 生活保護や親族による金 銭的支援「ない」	B13 生活費の不安の訴え、家 計管理ができない「ある」
全 体	8,642	31.5	7.6	28.4	6.0
C-14 近隣との関わりの有無「ない」	782	46.2	19.8	39.9	16.1
C-15 通い先の有無「ない」	459	72.5	8.9	45.3	14.2
C-16 移動手段の有無「ない」	241	75.1	4.6	46.5	17.4
C-17 訪問・交流の有無(友人等)「ない」	319	59.2	14.1	59.2	18.8
C-18 訪問・交流の有無(支援者等)「ない」	1,532	45.3	17.0	68.7	9.8
C-19 相談相手や相談先の把握の有無 「ない」	162	55.6	13.0	55.6	22.2
C-20 困った時に助けてくれる人の有無 (友人等)「ない」	148	60.1	16.2	59.5	26.4
C-21 困った時に助けてくれる人の有無 (支援者等)「ない」	736	45.5	20.8	78.3	8.6
C-22 行政等への不満・拒否感の有無「ある」	279	45.5	15.1	35.5	15.8
C-23 行政等への不信・怒りの有無「ある」	236	51.7	14.8	40.3	18.2
C-24 訪問時に面会できる「ない」	1,206	10.7	15.0	25.3	4.9

- * 「全世帯数」は縦軸の該当世帯数(母数)。
- * C14～24 は「全世帯数」に対する割合(%)。
- * 複数回答のため、横軸を足しても100%にはならない。

図表 78 C マイナス回答／C マイナス回答

※総合支援度が1～4の世帯のみ。

	全世帯数	C14 近隣との関わりの有無「ない」	C15 通い先の有無「ない」	C16 移動手段の有無「ない」	C17 訪問・交流の有無(友人等)「ない」	C18 訪問・交流の有無(支援者等) 「ない」	C19 相談相手や相談先の把握の有無 「ない」	C20 困った時に助けてくれる人の有無 (友人等)「ない」	C21 困った時に助けてくれる人の有無 (支援者等)「ない」	C22 行政等への不満・拒否感の有無 「ある」	C23 行政等への不信・怒りの有無 「ある」	C24 訪問時に面会できる「ない」
全 体	8,642	9.0	5.3	2.8	3.7	17.7	1.9	1.7	8.5	3.2	2.7	14.0
C-14 近隣との関わりの有無「ない」	782	100.0	23.0	6.6	19.6	35.7	7.8	7.0	17.0	9.3	6.6	27.2
C-15 通い先の有無「ない」	459	39.2	100.0	11.8	25.1	51.0	9.8	6.5	24.4	9.8	7.2	9.6
C-16 移動手段の有無「ない」	241	21.6	22.4	100.0	13.7	29.9	6.2	5.4	13.3	3.7	2.5	7.5
C-17 訪問・交流の有無(友人等)「ない」	319	48.0	36.1	10.3	100.0	66.1	17.9	21.3	32.3	14.7	11.0	15.0
C-18 訪問・交流の有無(支援者等)「ない」	1,532	18.2	15.3	4.7	13.8	100.0	6.8	4.7	45.4	5.5	4.6	13.5
C-19 相談相手や相談先の把握の有無「ない」	162	37.7	27.8	9.3	35.2	64.2	100.0	34.6	46.3	13.6	11.7	13.0
C-20 困った時に助けてくれる人の有無(友人等)「ない」	148	37.2	20.3	8.8	45.9	48.6	37.8	100.0	38.5	16.9	14.9	13.5
C-21 困った時に助けてくれる人の有無(支援者等)「ない」	736	18.1	15.2	4.3	14.0	94.4	10.2	7.7	100.0	5.8	5.2	15.4
C-22 行政等への不満・拒否感の有無「ある」	279	26.2	16.1	3.2	16.8	30.1	7.9	9.0	15.4	100.0	61.3	25.1
C-23 行政等への不信・怒りの有無「ある」	236	22.0	14.0	2.5	14.8	29.7	8.1	9.3	16.1	72.5	100.0	19.1
C-24 訪問時に面会できる「ない」	1,206	17.7	3.6	1.5	4.0	17.2	1.7	1.7	9.4	5.8	3.7	100.0

- * 「全世帯数」は縦軸の該当世帯数(母数)。
- * D25～29 は「全世帯数」に対する割合(%)。
- * 複数回答のため、横軸を足しても100%にはならない。

図表 79 D マイナス回答／C マイナス回答

※総合支援度が1～4の世帯のみ。

	全世帯数	D25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感「ある」	D26 仮設住宅の集約予定、再建先未定「ある」	D27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについての不安やストレス「ある」	D28 震災で失った住宅や車のローンが残っている「ある」	D29 再建した住宅ローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安「ある」
全 体	8,642	9.4	4.8	9.1	0.9	3.0
C-14 近隣との関わりの有無「ない」	782	12.9	9.8	19.9	1.3	7.4
C-15 通い先の有無「ない」	459	12.6	4.6	18.7	0.4	7.4
C-16 移動手段の有無「ない」	241	9.1	5.0	13.7	1.2	3.3
C-17 訪問・交流の有無(友人等)「ない」	319	15.4	8.5	21.9	2.8	8.8
C-18 訪問・交流の有無(支援者等)「ない」	1,532	13.7	7.4	16.4	1.9	6.6
C-19 相談相手や相談先の把握の有無「ない」	162	14.8	9.9	21.0	2.5	13.6
C-20 困った時に助けてくれる人の有無(友人等)「ない」	148	18.2	12.8	24.3	2.7	16.9
C-21 困った時に助けてくれる人の有無(支援者等)「ない」	736	14.3	6.0	17.3	2.3	7.7
C-22 行政等への不満・拒否感の有無「ある」	279	17.2	14.3	29.0	3.2	10.0
C-23 行政等への不信・怒りの有無「ある」	236	18.6	12.3	31.8	3.4	12.7
C-24 訪問時に面会できる「ない」	1,206	7.0	6.7	5.5	0.8	2.5

第3章 総括表

1 全体

		全体				
		全体	ある	ない	不明	無回答
A 日常生活と心身の健康	1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある	13,353	60.5	14.3	24.6	0.6
	2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある	13,353	8.5	58.9	31.8	0.7
	3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている	13,353	72.0	1.9	25.6	0.6
	4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある	13,353	2.9	67.6	28.8	0.6
	5 アルコール摂取が適切(量・時間・場所)である	13,353	47.2	1.3	50.6	0.9
	6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある	13,353	9.2	54.6	35.5	0.6
	7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある	13,353	5.0	71.4	23.0	0.5
	8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある	13,353	7.8	30.7	60.9	0.6
	9 行政情報の理解や手続きができる	13,353	76.2	3.5	19.5	0.8
B 生計の維持	10 就労収入がある	13,353	53.0	24.5	22.0	0.5
	11 就労以外の収入(年金、不動産収入、遺産等)がある	13,353	48.4	8.1	42.9	0.6
	12 生活保護や親族による金銭的支援がある	13,353	7.3	28.3	63.7	0.7
	13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない	13,353	4.4	65.0	30.0	0.6
C 社会的な関わり の維持	14 近隣住民との関わりがある	13,353	57.5	6.8	35.1	0.6
	15 1～2 週間の間に通い先(勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等)がある	13,353	70.8	3.9	24.6	0.6
	16 買い物や通院等の移動手段がある	13,353	82.4	2.0	15.1	0.5
	17 1～2 週間の間に訪問や交流がある(別世帯の親族、友人・知人)	13,353	62.0	2.9	34.6	0.6
	18 1～2 週間の間に訪問や交流がある(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)	13,353	27.5	16.6	55.2	0.7
	19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している	13,353	54.1	1.5	43.8	0.6
	20 困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)がいる	13,353	63.3	1.2	34.9	0.6
	21 困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)がいる	13,353	41.8	8.0	49.4	0.7
	22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある	13,353	2.5	65.2	31.7	0.5
	23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある	13,353	2.1	64.8	32.5	0.6
	24 生活支援相談員訪問時に面会ができる	13,353	68.1	13.2	18.0	0.7
D 震災に起因する ストレス等	25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある	13,353	8.2	40.9	50.3	0.6
	26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である	13,353	3.4	80.0	16.0	0.6
	27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある	13,353	6.3	47.5	45.6	0.6
	28 震災で失った住宅や車のローンが残っている	13,353	0.8	28.5	70.2	0.6
	29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある	13,353	2.3	37.1	59.9	0.7

2 住まい別

		1.応急仮設住宅					2.みなし仮設住宅				
		全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
A 日常生活と心身の健康	1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある	2,199	53.5	14.8	30.0	1.6	637	54.8	17.1	27.9	0.2
	2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある	2,199	6.7	54.8	36.8	1.7	637	7.7	68.9	23.4	0.0
	3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている	2,199	73.4	1.7	23.2	1.6	637	76.6	1.1	22.1	0.2
	4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある	2,199	4.3	69.6	24.2	1.8	637	2.8	71.7	25.4	0.0
	5 アルコール摂取が適切(量・時間・場所)である	2,199	36.9	1.5	59.7	1.9	637	37.0	0.5	62.0	0.5
	6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある	2,199	8.1	48.7	41.5	1.7	637	11.3	61.1	27.6	0.0
	7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある	2,199	4.1	70.8	23.6	1.6	637	6.6	74.9	18.5	0.0
	8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある	2,199	7.1	20.0	71.3	1.6	637	9.3	42.9	47.9	0.0
	9 行政情報の理解や手続ができる	2,199	76.5	2.3	19.2	2.0	637	81.2	5.2	13.3	0.3
B 生計の維持	10 就労収入がある	2,199	60.8	18.1	19.6	1.5	637	60.6	22.8	16.5	0.2
	11 就労以外の収入(年金、不動産収入、遺産等)がある	2,199	29.7	6.9	61.8	1.6	637	40.0	16.5	43.3	0.2
	12 生活保護や親族による金銭的支援がある	2,199	3.7	16.8	77.8	1.7	637	11.6	32.5	55.7	0.2
	13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない	2,199	2.8	63.6	31.8	1.8	637	8.3	67.5	24.2	0.0
C 社会的な関わりの維持	14 近隣住民との関わりがある	2,199	48.7	9.0	40.7	1.6	637	40.8	12.2	46.6	0.3
	15 1～2 週間の間に通い先(勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等)がある	2,199	71.1	2.5	24.8	1.6	637	75.5	5.0	19.5	0.0
	16 買い物や通院等の移動手段がある	2,199	81.2	1.4	15.9	1.5	637	87.0	2.7	10.4	0.0
	17 1～2 週間の間に訪問や交流がある(別世帯の親族、友人・知人)	2,199	58.9	2.2	37.2	1.6	637	60.1	6.0	33.8	0.2
	18 1～2 週間の間に訪問や交流がある(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)	2,199	26.7	7.9	63.7	1.6	637	16.2	28.6	55.1	0.2
	19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している	2,199	37.0	1.0	60.3	1.6	637	58.2	2.5	38.9	0.3
	20 困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)がいる	2,199	55.8	0.8	41.7	1.7	637	64.7	2.5	32.8	0.0
	21 困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)がいる	2,199	36.0	3.1	59.2	1.7	637	42.7	11.9	45.4	0.0
	22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある	2,199	2.9	52.5	42.9	1.7	637	4.7	69.9	25.4	0.0
	23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある	2,199	2.4	52.5	43.6	1.5	637	5.0	70.2	24.8	0.0
	24 生活支援相談員訪問時に面会ができる	2,199	63.9	20.5	13.9	1.7	637	69.9	19.3	10.7	0.2
D 震災に起因するストレス等	25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある	2,199	9.7	27.1	61.4	1.8	637	12.4	50.5	37.0	0.0
	26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である	2,199	10.5	50.0	37.6	1.9	637	15.4	60.1	24.2	0.3
	27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある	2,199	8.0	20.9	69.3	1.8	637	8.9	49.1	41.8	0.2
	28 震災で失った住宅や車のローンが残っている	2,199	0.4	7.5	90.4	1.8	637	2.8	43.0	54.2	0.0
	29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある	2,199	1.8	11.7	84.5	2.0	637	6.0	44.6	49.5	0.0

3.災害公営住宅					4.修繕再建					5.移住再建				
全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
4,336	63.4	14.5	21.8	0.3	1,595	61.9	10.2	27.3	0.6	2,917	62.1	14.8	22.9	0.2
4,336	11.1	56.9	31.3	0.7	1,595	5.2	64.7	29.7	0.4	2,917	7.0	63.4	29.3	0.3
4,336	71.8	2.5	25.2	0.4	1,595	63.4	1.3	34.9	0.3	2,917	76.8	0.9	22.2	0.2
4,336	3.0	64.9	31.7	0.4	1,595	1.9	58.7	39.1	0.3	2,917	1.1	75.4	23.2	0.2
4,336	48.8	2.2	48.2	0.7	1,595	45.5	0.6	53.4	0.6	2,917	54.7	0.7	44.1	0.5
4,336	10.6	55.2	33.8	0.4	1,595	6.4	51.7	41.6	0.4	2,917	7.4	59.6	32.8	0.2
4,336	6.0	70.9	22.8	0.3	1,595	2.8	71.0	25.8	0.3	2,917	3.6	77.0	19.3	0.1
4,336	8.6	31.8	59.1	0.6	1,595	5.5	19.9	74.3	0.4	2,917	7.0	38.5	54.2	0.2
4,336	74.0	5.0	20.4	0.6	1,595	74.2	2.0	23.4	0.4	2,917	84.2	1.3	14.1	0.4
4,336	44.3	31.9	23.5	0.3	1,595	56.5	18.3	25.0	0.3	2,917	63.1	18.3	18.3	0.3
4,336	52.1	8.8	38.8	0.3	1,595	44.3	6.3	48.9	0.5	2,917	55.5	8.2	36.1	0.2
4,336	6.2	28.5	64.7	0.6	1,595	3.9	27.3	68.4	0.4	2,917	11.3	34.6	53.7	0.5
4,336	5.8	63.4	30.3	0.4	1,595	2.2	57.1	40.4	0.4	2,917	2.5	73.0	24.2	0.3
4,336	59.8	9.2	30.6	0.4	1,595	60.9	1.6	37.2	0.3	2,917	64.1	2.9	32.8	0.1
4,336	71.4	4.8	23.5	0.4	1,595	68.2	2.6	28.9	0.3	2,917	76.3	2.5	20.9	0.3
4,336	84.3	2.0	13.5	0.2	1,595	82.6	0.8	16.3	0.3	2,917	86.3	1.6	12.0	0.2
4,336	59.6	3.5	36.5	0.3	1,595	69.3	1.1	29.2	0.3	2,917	69.7	1.8	28.3	0.3
4,336	27.1	18.8	53.6	0.5	1,595	27.6	13.5	58.5	0.3	2,917	31.6	17.6	50.6	0.2
4,336	55.4	2.1	42.1	0.4	1,595	48.2	1.1	50.4	0.4	2,917	65.9	1.2	32.6	0.3
4,336	61.7	1.9	36.1	0.3	1,595	64.9	0.4	34.4	0.3	2,917	71.9	0.9	27.0	0.2
4,336	38.0	11.3	50.1	0.7	1,595	36.6	7.8	55.1	0.5	2,917	50.0	7.6	42.0	0.3
4,336	3.0	69.0	27.6	0.3	1,595	1.1	58.7	39.9	0.3	2,917	1.5	70.6	27.9	0.1
4,336	2.4	68.7	28.5	0.3	1,595	1.0	57.9	40.7	0.4	2,917	1.3	69.8	28.7	0.2
4,336	71.5	16.2	11.9	0.4	1,595	58.6	5.6	35.3	0.5	2,917	72.9	6.2	20.5	0.3
4,336	6.3	35.3	58.2	0.3	1,595	7.0	60.0	32.8	0.3	2,917	10.5	45.0	44.3	0.2
4,336	0.7	81.9	17.1	0.3	1,595	0.2	97.0	2.6	0.3	2,917	0.7	95.0	4.0	0.2
4,336	9.3	42.1	48.2	0.3	1,595	2.3	68.2	29.2	0.3	2,917	3.9	54.9	41.1	0.2
4,336	0.5	26.6	72.6	0.3	1,595	0.8	30.0	69.0	0.3	2,917	0.8	29.1	69.9	0.2
4,336	2.4	43.3	54.0	0.3	1,595	0.8	33.6	65.2	0.4	2,917	2.6	35.2	61.9	0.2

		6.住宅被災無し					7.その他				
		全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
A 日常生活と心身の健康	1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある	928	57.7	17.0	25.1	0.2	476	69.7	11.6	18.3	0.4
	2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある	928	11.3	47.2	41.3	0.2	476	9.9	65.5	23.7	0.8
	3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている	928	64.3	4.3	30.8	0.5	476	79.2	2.1	18.3	0.4
	4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある	928	6.5	62.3	30.9	0.3	476	3.8	73.9	21.6	0.6
	5 アルコール摂取が適切(量・時間・場所)である	928	53.4	1.1	45.2	0.3	476	38.7	1.3	59.2	0.8
	6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある	928	14.9	47.1	37.7	0.3	476	12.4	63.9	23.3	0.4
	7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある	928	9.5	57.1	33.1	0.3	476	7.1	77.5	14.9	0.4
	8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある	928	9.6	28.2	61.9	0.3	476	11.8	46.2	41.2	0.8
	9 行政情報の理解や手続きができる	928	61.4	7.0	31.1	0.4	476	84.2	5.5	9.5	0.8
B 生計の維持	10 就労収入がある	928	33.2	33.6	32.9	0.3	476	60.7	28.8	10.1	0.4
	11 就労以外の収入(年金、不動産収入、遺産等)がある	928	62.5	2.3	34.9	0.3	476	59.9	13.0	26.7	0.4
	12 生活保護や親族による金銭的支援がある	928	7.1	28.3	64.0	0.5	476	17.6	38.0	43.9	0.4
	13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない	928	5.6	59.2	34.9	0.3	476	10.5	74.4	14.7	0.4
C 社会的な関わりとの維持	14 近隣住民との関わりがある	928	58.8	6.0	34.9	0.2	476	51.9	9.7	37.8	0.6
	15 1～2 週間の間に通い先(勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等)がある	928	52.7	8.8	38.1	0.3	476	79.8	5.5	14.1	0.6
	16 買い物や通院等の移動手段がある	928	65.1	5.4	29.3	0.2	476	85.3	5.3	8.8	0.6
	17 1～2 週間の間に訪問や交流がある(別世帯の親族、友人・知人)	928	52.9	3.9	42.7	0.5	476	56.5	6.1	37.0	0.4
	18 1～2 週間の間に訪問や交流がある(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)	928	29.2	17.3	52.8	0.6	476	23.3	24.4	51.9	0.4
	19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している	928	50.3	1.3	48.1	0.3	476	74.8	1.3	23.5	0.4
	20 困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)がいる	928	55.7	0.6	43.2	0.4	476	73.9	2.3	23.3	0.4
	21 困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)がいる	928	46.9	1.8	50.6	0.6	476	60.3	10.1	29.0	0.6
	22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある	928	2.5	63.9	33.3	0.3	476	4.6	77.7	17.2	0.4
	23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある	928	2.5	62.0	35.2	0.3	476	2.7	79.2	17.4	0.6
	24 生活支援相談員訪問時に面会ができる	928	65.4	8.0	26.1	0.5	476	68.1	22.3	9.0	0.6
D 震災に起因するストレス等	25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある	928	5.5	40.5	53.3	0.6	476	11.6	55.3	32.4	0.8
	26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である	928	0.4	86.4	12.6	0.5	476	13.2	73.1	13.2	0.4
	27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある	928	1.1	69.0	29.3	0.6	476	8.4	64.1	27.1	0.4
	28 震災で失った住宅や車のローンが残っている	928	0.4	59.1	40.0	0.5	476	2.7	56.3	40.5	0.4
	29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある	928	0.3	65.5	33.4	0.8	476	6.5	59.7	33.4	0.4

3 世帯構成別

		1.単身					2.複数				
		全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
A 日常生活と心身の健康	1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある	4,648	60.2	14.6	24.7	0.6	8,446	61.6	14.5	23.7	0.2
	2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある	4,648	10.2	55.7	33.2	0.8	8,446	7.8	61.8	30.1	0.3
	3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている	4,648	70.3	3.0	26.0	0.7	8,446	74.2	1.3	24.3	0.2
	4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある	4,648	4.5	64.9	29.8	0.8	8,446	2.1	70.4	27.4	0.2
	5 アルコール摂取が適切(量・時間・場所)である	4,648	47.9	2.1	49.1	0.9	8,446	47.7	0.9	50.9	0.5
	6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある	4,648	11.2	52.9	35.3	0.6	8,446	8.3	56.6	34.8	0.2
	7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある	4,648	5.3	70.6	23.5	0.6	8,446	5.0	73.2	21.7	0.1
	8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある	4,648	7.2	34.3	57.7	0.8	8,446	8.2	29.4	62.3	0.2
	9 行政情報の理解や手続ができる	4,648	66.7	7.9	24.5	0.9	8,446	82.8	1.1	15.7	0.4
B 生計の維持	10 就労収入がある	4,648	31.9	42.8	24.7	0.6	8,446	65.4	14.9	19.5	0.2
	11 就労以外の収入(年金、不動産収入、遺産等)がある	4,648	50.3	8.4	40.7	0.5	8,446	48.3	8.2	43.3	0.2
	12 生活保護や親族による金銭的支援がある	4,648	7.6	26.3	65.4	0.7	8,446	7.3	30.0	62.4	0.4
	13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない	4,648	6.6	60.9	31.9	0.7	8,446	3.3	68.4	28.1	0.2
C 社会的な関わり方の維持	14 近隣住民との関わりがある	4,648	54.1	10.9	34.4	0.6	8,446	60.5	4.6	34.7	0.2
	15 1～2 週間の間に通い先(勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等)がある	4,648	65.2	5.7	28.5	0.6	8,446	75.2	3.1	21.6	0.2
	16 買い物や通院等の移動手段がある	4,648	77.7	3.7	18.1	0.5	8,446	86.4	1.1	12.3	0.1
	17 1～2 週間の間に訪問や交流がある(別世帯の親族、友人・知人)	4,648	59.4	3.9	36.0	0.6	8,446	64.5	2.3	33.0	0.2
	18 1～2 週間の間に訪問や交流がある(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)	4,648	27.4	17.3	54.6	0.7	8,446	28.1	16.6	55.0	0.3
	19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している	4,648	54.2	2.3	42.8	0.7	8,446	54.9	1.2	43.7	0.2
	20 困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)がいる	4,648	64.7	1.9	32.7	0.6	8,446	63.5	0.9	35.4	0.2
	21 困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)がいる	4,648	41.0	9.2	49.2	0.6	8,446	43.0	7.5	49.0	0.5
	22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある	4,648	3.1	65.0	31.3	0.6	8,446	2.2	66.6	31.1	0.1
	23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある	4,648	2.7	64.9	31.9	0.6	8,446	1.8	65.9	32.1	0.2
	24 生活支援相談員訪問時に面会ができる	4,648	66.7	17.2	15.4	0.7	8,446	70.0	11.2	18.6	0.2
D 震災に起因するストレス等	25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある	4,648	9.7	37.9	51.7	0.7	8,446	7.6	43.3	49.0	0.2
	26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である	4,648	3.6	76.5	19.2	0.6	8,446	3.4	83.0	13.5	0.2
	27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある	4,648	7.9	44.0	47.3	0.8	8,446	5.6	50.3	43.9	0.1
	28 震災で失った住宅や車のローンが残っている	4,648	0.3	31.2	67.8	0.6	8,446	1.0	27.5	71.3	0.2
	29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある	4,648	2.2	38.9	58.2	0.8	8,446	2.4	36.9	60.4	0.2

4 家族の種類別（複数世帯）

		1.高齢者のみ					2.ひとり親				
		全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
A 日常生活と心身の健康	1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある	1,805	73.1	12.0	14.7	0.2	244	56.1	16.4	26.6	0.8
	2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある	1,805	9.4	65.7	24.7	0.3	244	8.6	51.6	38.9	0.8
	3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている	1,805	80.0	1.1	18.7	0.2	244	70.5	0.8	27.9	0.8
	4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある	1,805	2.1	75.1	22.7	0.2	244	1.6	64.3	33.2	0.8
	5 アルコール摂取が適切（量・時間・場所）である	1,805	50.2	1.5	47.7	0.6	244	46.7	0.0	52.5	0.8
	6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある	1,805	9.3	61.6	29.0	0.2	244	6.6	51.6	41.0	0.8
	7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある	1,805	4.9	77.6	17.3	0.2	244	2.0	70.5	26.6	0.8
	8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある	1,805	7.1	33.7	58.9	0.2	244	7.0	25.4	66.4	1.2
	9 行政情報の理解や手続ができる	1,805	77.2	1.9	20.6	0.3	244	81.1	0.4	17.2	1.2
B 生計の維持	10 就労収入がある	1,805	30.2	43.2	26.4	0.2	244	79.1	3.7	16.4	0.8
	11 就労以外の収入（年金、不動産収入、遺産等）がある	1,805	71.9	0.8	27.2	0.2	244	18.0	22.5	58.6	0.8
	12 生活保護や親族による金銭的支援がある	1,805	5.5	29.0	65.2	0.2	244	6.6	21.7	70.5	1.2
	13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない	1,805	2.9	71.3	25.7	0.1	244	6.6	60.7	31.6	1.2
C 社会的な関わり方の維持	14 近隣住民との関わりがある	1,805	72.5	3.6	23.8	0.1	244	43.0	7.8	48.0	1.2
	15 1～2 週間の間に通い先（勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等）がある	1,805	69.2	4.4	26.2	0.2	244	79.5	0.4	18.9	1.2
	16 買い物や通院等の移動手段がある	1,805	83.4	2.0	14.4	0.2	244	84.8	0.0	14.3	0.8
	17 1～2 週間の間に訪問や交流がある（別世帯の親族、友人・知人）	1,805	69.4	2.1	28.4	0.1	244	61.1	1.2	36.9	0.8
	18 1～2 週間の間に訪問や交流がある（民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等）	1,805	31.5	16.4	51.9	0.2	244	26.2	17.2	55.7	0.8
	19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している	1,805	58.1	1.1	40.6	0.2	244	48.8	2.0	48.4	0.8
	20 困った時に助けてくれる人（別世帯の親族、友人・知人）がいる	1,805	70.0	0.8	29.0	0.2	244	61.9	0.8	36.5	0.8
	21 困った時に助けてくれる人（民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等）がいる	1,805	46.3	6.9	46.4	0.4	244	41.4	9.8	48.0	0.8
	22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある	1,805	2.6	72.1	25.2	0.1	244	2.0	59.8	36.9	1.2
	23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある	1,805	2.2	71.8	26.0	0.1	244	1.6	58.6	38.5	1.2
	24 生活支援相談員訪問時に面会ができる	1,805	80.7	4.2	14.8	0.3	244	46.7	34.0	18.4	0.8
D 震災に起因するストレス等	25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある	1,805	4.7	46.4	48.6	0.2	244	9.4	29.5	60.2	0.8
	26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である	1,805	2.4	90.2	7.3	0.2	244	2.5	65.6	31.1	0.8
	27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある	1,805	6.9	55.4	37.7	0.1	244	4.9	35.7	58.2	1.2
	28 震災で失った住宅や車のローンが残っている	1,805	0.7	30.6	68.6	0.1	244	0.8	21.7	76.6	0.8
	29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある	1,805	1.4	41.6	56.8	0.1	244	1.6	37.3	60.2	0.8

3.高齢の親と単身の子ども					4.核家族					5.どれにもあてはまらない				
全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
1,458	70.9	13.2	15.8	0.1	2,709	49.9	17.0	32.8	0.3	2,019	62.5	13.8	23.5	0.2
1,458	11.8	59.4	28.3	0.5	2,709	4.9	61.5	33.3	0.3	2,019	6.8	62.9	30.1	0.2
1,458	77.3	3.0	19.6	0.1	2,709	70.2	0.8	28.9	0.1	2,019	73.8	1.2	24.9	0.0
1,458	3.4	73.5	23.0	0.1	2,709	1.8	65.7	32.3	0.2	2,019	1.5	72.2	26.2	0.1
1,458	48.5	1.2	49.9	0.5	2,709	44.2	0.4	55.0	0.4	2,019	50.1	0.9	48.6	0.4
1,458	13.5	55.6	30.8	0.1	2,709	4.9	55.2	39.6	0.3	2,019	8.0	57.0	34.8	0.1
1,458	10.4	71.7	17.9	0.1	2,709	2.6	72.3	25.0	0.1	2,019	4.8	73.1	22.0	0.1
1,458	14.7	27.6	57.6	0.1	2,709	4.8	27.5	67.5	0.2	2,019	9.0	29.0	61.9	0.1
1,458	84.6	2.1	12.8	0.5	2,709	84.0	0.6	15.1	0.4	2,019	86.4	0.7	12.4	0.4
1,458	66.5	14.8	18.6	0.1	2,709	80.3	4.0	15.5	0.1	2,019	75.1	5.8	18.9	0.1
1,458	71.8	0.7	27.4	0.1	2,709	19.2	18.6	61.9	0.3	2,019	53.6	4.3	42.0	0.1
1,458	7.5	31.7	60.5	0.3	2,709	5.7	28.9	64.9	0.4	2,019	10.7	32.3	56.6	0.3
1,458	4.5	71.2	24.1	0.1	2,709	2.8	65.9	31.0	0.3	2,019	2.8	69.7	27.3	0.2
1,458	63.9	7.3	28.8	0.1	2,709	51.6	4.5	43.7	0.1	2,019	61.8	3.5	34.4	0.2
1,458	74.1	5.4	20.4	0.1	2,709	79.6	1.1	19.0	0.2	2,019	76.2	2.8	20.9	0.1
1,458	88.3	1.9	9.7	0.1	2,709	87.5	0.2	12.1	0.1	2,019	87.8	1.1	11.0	0.0
1,458	62.7	4.3	32.8	0.2	2,709	63.3	1.4	35.2	0.2	2,019	64.6	2.3	32.9	0.1
1,458	30.0	17.3	52.5	0.2	2,709	23.3	17.2	59.2	0.3	2,019	30.8	15.4	53.7	0.1
1,458	55.3	1.9	42.5	0.2	2,709	51.9	0.8	47.1	0.2	2,019	57.0	0.9	41.9	0.1
1,458	60.5	1.7	37.7	0.1	2,709	61.6	0.7	37.4	0.3	2,019	63.2	0.5	36.2	0.1
1,458	46.5	7.0	46.0	0.5	2,709	37.1	8.5	54.0	0.5	2,019	46.2	6.3	47.3	0.2
1,458	2.7	73.5	23.7	0.0	2,709	2.2	60.1	37.5	0.2	2,019	1.3	67.1	31.6	0.0
1,458	2.7	72.1	25.2	0.0	2,709	1.3	59.5	38.9	0.3	2,019	1.3	66.8	31.8	0.0
1,458	78.6	7.2	13.9	0.3	2,709	61.4	17.8	20.6	0.3	2,019	70.3	7.4	22.3	0.0
1,458	9.9	44.0	46.0	0.2	2,709	7.3	39.5	53.0	0.2	2,019	8.6	46.5	44.8	0.0
1,458	3.1	87.7	9.1	0.1	2,709	4.8	73.7	21.3	0.1	2,019	2.6	88.4	8.8	0.2
1,458	8.1	54.3	37.5	0.1	2,709	4.2	43.2	52.3	0.2	2,019	4.7	54.9	40.5	0.0
1,458	0.9	29.8	69.2	0.1	2,709	1.1	23.4	75.1	0.3	2,019	1.1	29.0	69.9	0.0
1,458	2.7	40.1	57.1	0.2	2,709	2.9	33.1	63.6	0.4	2,019	2.3	36.1	61.5	0.1

5 男女別（単身世帯）

		1. 男性					2. 女性				
		全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
A 日常生活と心身の健康	1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある	1,994	50.0	16.8	32.6	0.7	2,485	68.9	13.3	17.4	0.4
	2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある	1,994	9.7	50.7	38.9	0.8	2,485	11.1	60.4	27.7	0.8
	3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている	1,994	61.7	4.4	33.1	0.8	2,485	78.2	2.0	19.3	0.5
	4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある	1,994	6.0	56.3	36.9	0.9	2,485	3.3	72.7	23.4	0.6
	5 アルコール摂取が適切（量・時間・場所）である	1,994	40.4	4.2	54.7	0.7	2,485	54.5	0.5	44.1	0.9
	6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある	1,994	9.7	47.5	42.1	0.7	2,485	12.7	58.1	28.7	0.5
	7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある	1,994	5.4	66.0	28.0	0.6	2,485	5.4	75.3	19.0	0.4
	8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある	1,994	6.5	31.1	61.7	0.7	2,485	8.0	37.7	53.5	0.7
	9 行政情報の理解や手続ができる	1,994	67.6	5.3	26.1	1.0	2,485	66.4	10.3	22.7	0.6
B 生計の維持	10 就労収入がある	1,994	43.5	32.4	23.6	0.6	2,485	22.6	52.3	24.7	0.4
	11 就労以外の収入（年金、不動産収入、遺産等）がある	1,994	37.2	12.3	49.9	0.6	2,485	61.9	5.5	32.4	0.3
	12 生活保護や親族による金銭的支援がある	1,994	6.4	26.7	66.3	0.7	2,485	8.7	26.8	63.9	0.5
	13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない	1,994	7.3	54.9	37.2	0.7	2,485	6.0	66.8	26.7	0.5
C 社会的な関わりとの維持	14 近隣住民との関わりがある	1,994	41.4	15.3	42.6	0.7	2,485	65.0	7.8	26.9	0.3
	15 1～2 週間の間に通い先（勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等）がある	1,994	62.9	6.2	30.2	0.7	2,485	68.0	5.4	26.2	0.4
	16 買い物や通院等の移動手段がある	1,994	77.6	2.0	19.9	0.5	2,485	78.7	5.4	15.6	0.3
	17 1～2 週間の間に訪問や交流がある（別世帯の親族、友人・知人）	1,994	49.3	5.9	44.1	0.7	2,485	68.6	2.5	28.5	0.4
	18 1～2 週間の間に訪問や交流がある（民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等）	1,994	22.3	18.2	58.9	0.7	2,485	31.5	17.1	50.8	0.5
	19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している	1,994	44.5	3.3	51.4	0.9	2,485	62.7	1.5	35.4	0.4
	20 困った時に助けてくれる人（別世帯の親族、友人・知人）がいる	1,994	54.2	3.2	42.0	0.6	2,485	74.4	1.0	24.2	0.4
	21 困った時に助けてくれる人（民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等）がいる	1,994	35.5	8.8	55.1	0.6	2,485	45.9	9.8	43.9	0.4
	22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある	1,994	4.3	56.3	38.8	0.7	2,485	2.1	72.8	24.7	0.4
	23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある	1,994	3.7	56.3	39.4	0.6	2,485	2.0	72.7	24.9	0.4
	24 生活支援相談員訪問時に面会ができる	1,994	57.2	23.6	18.5	0.8	2,485	75.4	11.9	12.2	0.5
D 震災に起因するストレス等	25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある	1,994	10.0	33.7	55.7	0.6	2,485	9.7	42.4	47.4	0.5
	26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である	1,994	4.6	70.7	24.1	0.7	2,485	2.9	82.2	14.4	0.5
	27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある	1,994	6.4	38.9	53.9	0.8	2,485	9.6	49.1	40.7	0.6
	28 震災で失った住宅や車のローンが残っている	1,994	0.5	25.1	73.8	0.7	2,485	0.2	37.3	61.9	0.5
	29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある	1,994	2.7	33.3	63.2	0.9	2,485	1.8	44.5	53.1	0.5

6 年代別（単身世帯）

		1. 20 歳代以下					2. 30 歳代				
		全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
A 日常生活と心身の健康	1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある	66	47.0	13.6	39.4	0.0	180	38.9	18.3	41.7	1.1
	2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある	66	10.6	39.4	50.0	0.0	180	6.1	46.7	46.1	1.1
	3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている	66	51.5	4.5	43.9	0.0	180	50.6	1.7	46.1	1.7
	4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある	66	10.6	45.5	43.9	0.0	180	2.2	47.2	49.4	1.1
	5 アルコール摂取が適切（量・時間・場所）である	66	25.8	3.0	71.2	0.0	180	30.6	1.1	66.7	1.7
	6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある	66	9.1	31.8	59.1	0.0	180	6.1	37.2	55.6	1.1
	7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある	66	7.6	60.6	31.8	0.0	180	3.9	58.9	36.1	1.1
	8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある	66	6.1	16.7	77.3	0.0	180	7.8	23.9	67.2	1.1
	9 行政情報の理解や手続ができる	66	60.6	10.6	28.8	0.0	180	73.3	0.6	25.0	1.1
B 生計の維持	10 就労収入がある	66	77.3	9.1	13.6	0.0	180	71.1	6.1	21.7	1.1
	11 就労以外の収入（年金、不動産収入、遺産等）がある	66	4.5	28.8	66.7	0.0	180	6.7	28.3	63.9	1.1
	12 生活保護や親族による金銭的支援がある	66	7.6	18.2	72.7	1.5	180	4.4	26.7	66.7	2.2
	13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない	66	12.1	36.4	51.5	0.0	180	6.1	48.9	43.9	1.1
C 社会的な関わりとの維持	14 近隣住民との関わりがある	66	18.2	27.3	54.5	0.0	180	26.7	17.8	54.4	1.1
	15 1～2 週間の間に通い先（勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等）がある	66	72.7	6.1	21.2	0.0	180	68.3	1.7	28.9	1.1
	16 買い物や通院等の移動手段がある	66	77.3	1.5	21.2	0.0	180	75.0	0.0	23.9	1.1
	17 1～2 週間の間に訪問や交流がある（別世帯の親族、友人・知人）	66	48.5	1.5	50.0	0.0	180	48.3	1.7	48.9	1.1
	18 1～2 週間の間に訪問や交流がある（民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等）	66	19.7	16.7	63.6	0.0	180	11.7	18.3	68.3	1.7
	19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している	66	48.5	1.5	50.0	0.0	180	41.1	0.6	56.7	1.7
	20 困った時に助けてくれる人（別世帯の親族、友人・知人）がいる	66	63.6	1.5	34.8	0.0	180	58.3	0.6	40.0	1.1
	21 困った時に助けてくれる人（民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等）がいる	66	33.3	9.1	57.6	0.0	180	28.3	10.0	60.6	1.1
	22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある	66	3.0	47.0	50.0	0.0	180	2.2	44.4	52.2	1.1
	23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある	66	1.5	48.5	50.0	0.0	180	2.2	45.6	51.1	1.1
	24 生活支援相談員訪問時に面会ができる	66	37.9	45.5	16.7	0.0	180	31.1	41.1	26.1	1.7
D 震災に起因するストレス等	25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある	66	9.1	21.2	69.7	0.0	180	10.6	27.8	60.0	1.7
	26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である	66	3.0	60.6	36.4	0.0	180	8.3	53.3	36.7	1.7
	27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある	66	3.0	31.8	65.2	0.0	180	6.7	26.1	64.4	2.8
	28 震災で失った住宅や車のローンが残っている	66	0.0	25.8	74.2	0.0	180	1.1	19.4	77.2	2.2
	29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある	66	6.1	27.3	66.7	0.0	180	2.2	26.1	69.4	2.2

		3.40 歳代					4.50 歳代				
		全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
A 日常生活と心身の健康	1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある	302	41.1	19.9	39.1	0.0	519	44.3	18.3	37.0	0.4
	2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある	302	8.3	45.7	46.0	0.0	519	10.0	50.3	39.5	0.2
	3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている	302	58.6	3.0	38.1	0.3	519	61.7	3.5	34.7	0.2
	4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある	302	3.3	56.6	40.1	0.0	519	4.2	57.0	38.5	0.2
	5 アルコール摂取が適切(量・時間・場所)である	302	36.1	1.7	61.9	0.3	519	39.1	3.3	57.0	0.6
	6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある	302	7.9	40.4	51.7	0.0	519	7.9	46.2	45.7	0.2
	7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある	302	5.3	63.6	30.8	0.3	519	6.0	64.9	28.9	0.2
	8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある	302	7.9	25.8	65.9	0.3	519	5.8	28.9	65.1	0.2
	9 行政情報の理解や手続きができる	302	75.5	3.0	20.9	0.7	519	75.1	3.7	20.4	0.8
B 生計の維持	10 就労収入がある	302	72.5	7.6	19.9	0.0	519	64.7	16.8	18.1	0.4
	11 就労以外の収入(年金、不動産収入、遺産等)がある	302	7.9	25.2	66.6	0.3	519	9.8	22.4	67.4	0.4
	12 生活保護や親族による金銭的支援がある	302	8.6	25.5	65.9	0.0	519	7.5	23.7	68.4	0.4
	13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない	302	7.6	53.0	39.4	0.0	519	6.6	57.0	36.0	0.4
C 社会的な関わりとの維持	14 近隣住民との関わりがある	302	26.8	18.9	54.3	0.0	519	36.4	16.2	47.2	0.2
	15 1～2 週間の間に通い先(勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等)がある	302	71.9	3.6	24.2	0.3	519	68.2	5.2	26.2	0.4
	16 買い物や通院等の移動手段がある	302	82.5	0.7	16.9	0.0	519	81.3	1.2	17.3	0.2
	17 1～2 週間の間に訪問や交流がある(別世帯の親族、友人・知人)	302	47.7	5.0	47.0	0.3	519	46.8	6.7	46.1	0.4
	18 1～2 週間の間に訪問や交流がある(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)	302	19.5	18.5	61.9	0.0	519	20.2	18.5	60.9	0.4
	19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している	302	44.7	1.7	53.3	0.3	519	45.9	2.5	50.9	0.8
	20 困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)がいる	302	52.0	1.3	46.7	0.0	519	51.3	3.3	45.1	0.4
	21 困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)がいる	302	33.8	9.6	56.6	0.0	519	35.6	8.5	55.7	0.2
	22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある	302	4.0	49.7	46.4	0.0	519	4.2	54.3	41.2	0.2
	23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある	302	2.6	49.7	47.7	0.0	519	3.3	54.5	42.0	0.2
	24 生活支援相談員訪問時に面会ができる	302	41.4	38.7	19.5	0.3	519	50.5	30.8	18.7	0.0
D 震災に起因するストレス等	25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある	302	8.3	26.5	65.2	0.0	519	10.6	30.6	58.6	0.2
	26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である	302	7.6	57.6	34.1	0.7	519	6.4	65.7	27.7	0.2
	27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある	302	5.3	25.8	68.9	0.0	519	6.2	34.3	59.2	0.4
	28 震災で失った住宅や車のローンが残っている	302	0.3	20.2	79.5	0.0	519	0.2	24.1	75.5	0.2
	29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある	302	3.3	25.8	70.2	0.7	519	3.5	31.4	64.7	0.4

5. 60 歳代					6. 70 歳代					80 歳代				
全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
933	51.4	19.0	29.4	0.2	1,049	71.1	15.5	13.2	0.2	1,013	84.0	10.4	5.2	0.4
933	11.6	52.9	35.3	0.2	1,049	11.7	65.8	22.1	0.4	1,013	11.6	66.1	20.8	1.4
933	69.3	3.2	27.4	0.0	1,049	82.4	3.3	13.6	0.7	1,013	85.7	3.1	10.7	0.6
933	4.7	62.5	32.5	0.3	1,049	4.6	77.0	17.3	1.0	1,013	5.6	77.7	16.2	0.5
933	42.9	4.8	52.1	0.2	1,049	57.9	1.3	40.1	0.7	1,013	62.6	1.1	35.4	0.9
933	10.0	52.3	37.6	0.1	1,049	13.9	64.5	21.2	0.4	1,013	15.6	63.8	19.9	0.7
933	4.4	70.7	24.9	0.0	1,049	5.3	81.2	13.2	0.3	1,013	6.5	81.4	11.5	0.5
933	6.5	33.0	60.2	0.2	1,049	8.2	41.8	49.1	0.9	1,013	8.8	44.2	46.4	0.6
933	74.4	3.0	22.3	0.3	1,049	75.3	6.9	17.3	0.5	1,013	58.2	17.1	23.9	0.8
933	42.9	31.3	25.8	0.0	1,049	17.3	61.5	21.0	0.3	1,013	4.6	73.3	21.4	0.6
933	40.4	8.6	51.0	0.0	1,049	78.6	1.2	20.0	0.2	1,013	83.6	1.1	14.8	0.5
933	6.2	27.1	66.7	0.0	1,049	8.3	31.5	60.1	0.2	1,013	8.7	30.4	60.3	0.6
933	7.9	60.0	32.0	0.0	1,049	5.7	72.6	21.2	0.5	1,013	6.9	70.8	21.7	0.6
933	49.2	13.0	37.6	0.2	1,049	70.2	8.5	21.1	0.3	1,013	77.2	6.6	15.7	0.5
933	64.3	4.8	30.9	0.0	1,049	67.3	7.2	25.0	0.5	1,013	71.5	7.1	20.9	0.5
933	79.8	2.3	17.9	0.0	1,049	85.0	4.0	10.7	0.3	1,013	81.2	7.4	11.0	0.4
933	52.4	4.8	42.6	0.2	1,049	69.3	4.1	26.4	0.2	1,013	78.1	3.0	18.2	0.8
933	18.6	19.6	61.5	0.2	1,049	31.2	19.0	49.6	0.3	1,013	42.4	17.4	39.5	0.7
933	45.7	3.8	50.2	0.4	1,049	62.4	2.2	35.1	0.3	1,013	73.1	1.7	24.9	0.4
933	58.0	2.9	39.0	0.1	1,049	74.4	2.2	23.3	0.2	1,013	85.2	1.2	12.9	0.7
933	32.3	10.9	56.6	0.2	1,049	46.0	9.8	43.9	0.3	1,013	56.7	9.5	33.3	0.6
933	4.6	60.9	34.4	0.1	1,049	3.2	76.9	19.5	0.3	1,013	1.9	82.1	15.2	0.8
933	4.4	60.3	35.3	0.0	1,049	2.8	77.2	19.8	0.2	1,013	1.7	82.4	15.2	0.7
933	65.3	18.9	15.4	0.4	1,049	83.9	6.8	8.7	0.7	1,013	88.2	4.8	6.6	0.4
933	10.3	36.1	53.6	0.0	1,049	12.0	44.3	43.4	0.3	1,013	8.4	49.6	41.2	0.9
933	4.0	79.6	16.4	0.0	1,049	3.1	85.6	11.1	0.3	1,013	1.5	90.3	7.5	0.7
933	9.3	39.9	50.6	0.2	1,049	9.7	53.5	36.4	0.4	1,013	9.3	59.3	30.6	0.8
933	0.4	26.4	73.2	0.0	1,049	0.2	37.2	62.2	0.4	1,013	0.4	44.4	54.5	0.7
933	3.3	35.6	61.0	0.1	1,049	1.8	45.1	52.7	0.4	1,013	0.8	53.4	45.0	0.8

		8.90 歳代以上				
		全体	ある	ない	不明	無回答
A 日常生活と心身の健康	1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある	149	82.6	6.7	9.4	1.3
	2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある	149	11.4	64.4	22.8	1.3
	3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている	149	75.8	3.4	19.5	1.3
	4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある	149	5.4	73.8	19.5	1.3
	5 アルコール摂取が適切(量・時間・場所)である	149	61.1	0.0	36.9	2.0
	6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある	149	17.4	58.4	22.8	1.3
	7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある	149	11.4	68.5	18.8	1.3
	8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある	149	10.7	36.9	51.0	1.3
	9 行政情報の理解や手続きができる	149	37.6	32.2	28.9	1.3
B 生計の維持	10 就労収入がある	149	4.0	71.1	23.5	1.3
	11 就労以外の収入(年金、不動産収入、遺産等)がある	149	78.5	1.3	18.8	1.3
	12 生活保護や親族による金銭的支援がある	149	14.8	17.4	65.1	2.7
	13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない	149	8.1	63.8	26.2	2.0
C 社会的な関わり の維持	14 近隣住民との関わりがある	149	65.1	12.8	20.8	1.3
	15 1～2 週間の間に通い先(勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等)がある	149	60.4	13.4	24.8	1.3
	16 買い物や通院等の移動手段がある	149	65.1	14.8	18.8	1.3
	17 1～2 週間の間に訪問や交流がある(別世帯の親族、友人・知人)	149	76.5	0.7	21.5	1.3
	18 1～2 週間の間に訪問や交流がある(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)	149	49.0	14.1	35.6	1.3
	19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している	149	70.5	1.3	26.8	1.3
	20 困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)がいる	149	81.9	0.7	16.1	1.3
	21 困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)がいる	149	59.1	8.1	31.5	1.3
	22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある	149	0.0	78.5	20.1	1.3
	23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある	149	2.0	77.2	19.5	1.3
	24 生活支援相談員訪問時に面会ができる	149	79.2	2.7	16.1	2.0
D 震災に起因する ストレス等	25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある	149	9.4	52.3	36.9	1.3
	26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である	149	2.7	87.2	8.7	1.3
	27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある	149	7.4	61.1	30.2	1.3
	28 震災で失った住宅や車のローンが残っている	149	0.7	51.0	47.0	1.3
	29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある	149	0.7	53.7	44.3	1.3

7 総合支援度別

		総合支援度 0					総合支援度 1				
		全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
A 日常生活と心身の健康	1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある	4,678	52.8	13.0	33.2	1.0	5,125	61.1	12.3	26.4	0.3
	2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある	4,678	2.4	58.7	38.0	0.9	5,125	4.6	61.4	33.4	0.6
	3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている	4,678	61.4	0.6	37.1	0.9	5,125	71.5	1.1	27.0	0.4
	4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある	4,678	1.0	59.0	39.0	1.0	5,125	2.1	65.4	32.2	0.3
	5 アルコール摂取が適切(量・時間・場所)である	4,678	44.9	0.4	53.4	1.3	5,125	39.8	1.0	58.5	0.6
	6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある	4,678	2.9	51.0	45.2	0.9	5,125	5.4	55.7	38.6	0.3
	7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある	4,678	1.5	66.2	31.4	0.9	5,125	3.0	72.2	24.6	0.2
	8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある	4,678	2.5	28.8	67.7	1.0	5,125	5.5	28.2	66.0	0.3
	9 行政情報の理解や手続きができる	4,678	72.0	1.1	25.8	1.1	5,125	76.8	2.2	20.3	0.7
B 生計の維持	10 就労収入がある	4,678	59.2	11.8	28.0	1.0	5,125	56.4	20.2	23.1	0.3
	11 就労以外の収入(年金、不動産収入、遺産等)がある	4,678	36.7	9.1	53.2	1.0	5,125	44.3	7.9	47.6	0.3
	12 生活保護や親族による金銭的支援がある	4,678	7.7	28.2	63.0	1.2	5,125	5.5	23.5	70.6	0.5
	13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない	4,678	1.3	58.8	38.9	1.0	5,125	3.2	65.2	31.2	0.4
C 社会的な関わりとの維持	14 近隣住民との関わりがある	4,678	53.7	2.6	42.7	1.0	5,125	54.7	6.3	38.7	0.3
	15 1～2 週間の間に通い先(勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等)がある	4,678	66.0	1.4	31.7	0.9	5,125	72.4	2.7	24.5	0.3
	16 買い物や通院等の移動手段がある	4,678	75.3	0.6	23.1	0.9	5,125	84.4	1.0	14.4	0.2
	17 1～2 週間の間に訪問や交流がある(別世帯の親族、友人・知人)	4,678	60.6	1.4	37.1	0.9	5,125	59.2	2.0	38.5	0.3
	18 1～2 週間の間に訪問や交流がある(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)	4,678	25.0	14.6	59.4	1.0	5,125	24.6	13.1	62.0	0.4
	19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している	4,678	50.5	0.9	47.6	1.0	5,125	50.3	1.3	48.1	0.3
	20 困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)がいる	4,678	60.3	0.4	38.3	0.9	5,125	60.5	1.1	38.1	0.3
	21 困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)がいる	4,678	36.7	7.1	55.2	1.1	5,125	37.8	6.0	55.6	0.5
	22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある	4,678	1.2	54.9	43.1	0.9	5,125	2.2	68.3	29.3	0.2
	23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある	4,678	0.9	54.0	44.0	1.0	5,125	1.7	68.0	30.1	0.2
	24 生活支援相談員訪問時に面会ができる	4,678	53.3	11.9	33.6	1.2	5,125	68.6	16.5	14.6	0.3
D 震災に起因するストレス等	25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある	4,678	6.1	47.6	45.4	0.9	5,125	8.1	32.3	59.3	0.4
	26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である	4,678	0.8	85.8	12.4	1.0	5,125	3.0	74.2	22.5	0.2
	27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある	4,678	1.3	52.8	45.0	0.9	5,125	4.6	40.9	54.2	0.3
	28 震災で失った住宅や車のローンが残っている	4,678	0.5	28.9	69.6	1.0	5,125	0.8	22.2	76.7	0.2
	29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある	4,678	1.1	34.9	62.9	1.1	5,125	1.9	33.8	64.0	0.3

		総合支援度 2					総合支援度 3				
		全体	ある	ない	不明	無回答	全体	ある	ない	不明	無回答
A 日常生活と心身の健康	1 福祉・医療等サービス利用、公的機関や親族等による支援・関与がある	2,766	67.4	20.2	12.1	0.3	491	82.3	13.0	4.5	0.2
	2 日常生活に支障が出るほどのストレスがある	2,766	17.9	59.2	22.5	0.4	491	34.0	49.3	15.3	1.4
	3 清潔感や身だしなみへの配慮がされている	2,766	89.3	2.7	7.8	0.3	491	79.6	11.0	8.6	0.8
	4 家の内外の汚れや乱雑さ、異臭がある	2,766	4.3	85.8	9.5	0.4	491	13.4	70.9	14.9	0.8
	5 アルコール摂取が適切(量・時間・場所)である	2,766	63.0	1.7	34.8	0.5	491	51.3	7.1	40.9	0.6
	6 気分の落ち込みや疲労感、生活意欲の衰えがある	2,766	17.7	63.0	18.9	0.4	491	41.3	43.0	15.3	0.4
	7 身体的・精神的な理由により引きこもりや閉じこもりがある	2,766	8.7	80.8	10.2	0.3	491	26.3	66.4	6.9	0.4
	8 世帯員間での口論や遠慮、萎縮、他人に話づらい家庭内の悩みがある	2,766	14.3	40.2	45.0	0.5	491	31.0	25.7	43.0	0.4
	9 行政情報の理解や手続きができる	2,766	85.2	5.4	9.0	0.4	491	71.1	16.7	11.6	0.6
B 生計の維持	10 就労収入がある	2,766	44.1	44.4	11.2	0.2	491	29.5	57.0	13.2	0.2
	11 就労以外の収入(年金、不動産収入、遺産等)がある	2,766	68.9	6.9	23.9	0.3	491	72.5	9.0	18.3	0.2
	12 生活保護や親族による金銭的支援がある	2,766	8.1	36.0	55.5	0.3	491	14.9	30.5	54.2	0.4
	13 生活費の不安の訴えがある、または、家計管理ができない	2,766	6.6	77.8	15.3	0.3	491	19.8	60.9	19.1	0.2
C 社会的な関わり の維持	14 近隣住民との関わりがある	2,766	69.1	10.0	20.6	0.3	491	58.9	22.4	18.5	0.2
	15 1～2 週間の間に通い先(勤務先、病院、サロン、趣味活動、デイサービス利用等)がある	2,766	77.3	6.7	15.7	0.3	491	68.2	15.9	15.3	0.6
	16 買い物や通院等の移動手段がある	2,766	90.5	4.1	5.1	0.3	491	86.8	9.0	4.1	0.2
	17 1～2 週間の間に訪問や交流がある(別世帯の親族、友人・知人)	2,766	69.5	4.8	25.3	0.4	491	64.0	10.4	25.1	0.6
	18 1～2 週間の間に訪問や交流がある(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)	2,766	32.7	25.8	41.1	0.4	491	42.8	18.7	38.1	0.4
	19 生活上の相談事を話せる相手がいる、又は相談先を把握している	2,766	64.1	2.1	33.5	0.3	491	63.5	4.3	31.4	0.8
	20 困った時に助けてくれる人(別世帯の親族、友人・知人)がいる	2,766	71.7	1.6	26.4	0.4	491	68.6	6.7	24.4	0.2
	21 困った時に助けてくれる人(民生委員・ケアマネ・公的機関の支援者等)がいる	2,766	51.7	13.2	34.5	0.5	491	62.7	7.5	29.5	0.2
	22 行政や民生委員等、支援制度活用への不満や拒否感がある	2,766	3.3	74.2	22.2	0.3	491	10.0	78.8	11.0	0.2
	23 行政や支援者等関係者に対する不信や怒りがある	2,766	3.1	74.1	22.6	0.2	491	7.9	79.6	12.0	0.4
	24 生活支援相談員訪問時に面会ができる	2,766	86.2	11.2	2.3	0.3	491	90.8	7.9	1.0	0.2
D 震災に起因する ストレス等	25 震災で大切な人を亡くした大きな悲しみ、喪失感がある	2,766	11.2	43.0	45.5	0.4	491	12.8	46.2	40.3	0.6
	26 仮設住宅の集約の予定がある、又は転居先・再建先が未定である	2,766	7.1	80.2	12.3	0.4	491	10.8	81.9	6.9	0.4
	27 住環境の変化や近隣住民との新たな関係づくりについて、不安やストレスがある	2,766	13.8	51.7	34.0	0.5	491	22.2	42.8	34.4	0.6
	28 震災で失った住宅や車のローンが残っている	2,766	1.0	36.4	62.2	0.4	491	1.0	33.8	64.8	0.4
	29 再建した住宅のローン、家賃や共益費等の滞納や支払不安がある	2,766	3.6	45.4	50.5	0.5	491	7.1	40.1	51.9	0.8

総合支援度 4				
全体	ある	ない	不明	無回答
260	80.0	18.5	1.5	0.0
260	48.8	36.9	14.2	0.0
260	80.4	15.8	3.8	0.0
260	20.0	73.5	5.8	0.8
260	64.6	8.5	26.2	0.8
260	48.5	38.8	11.5	1.2
260	29.6	67.3	3.1	0.0
260	34.2	29.2	35.8	0.8
260	65.0	26.2	8.1	0.8
260	18.5	66.9	14.6	0.0
260	83.8	6.5	9.6	0.0
260	13.5	41.2	45.0	0.4
260	28.8	53.8	16.5	0.8
260	64.6	27.7	7.7	0.0
260	71.2	21.9	6.9	0.0
260	85.8	11.9	2.3	0.0
260	65.0	12.7	22.3	0.0
260	50.8	21.5	27.3	0.4
260	75.0	6.9	18.1	0.0
260	78.1	5.4	16.5	0.0
260	73.5	10.4	16.2	0.0
260	10.8	77.3	11.9	0.0
260	9.2	77.3	13.5	0.0
260	94.2	4.6	0.8	0.4
260	11.5	61.5	26.9	0.0
260	4.2	92.3	3.5	0.0
260	23.1	52.3	24.6	0.0
260	1.5	51.2	47.3	0.0
260	9.6	53.1	36.9	0.4